

令和6年度 第2回 山形県渋滞対策推進協議会

令和7年3月17日
山形県渋滞対策推進協議会

目次

1. 開催概要と山形県内の主要渋滞箇所の現状報告等
2. 主要渋滞箇所のモニタリング報告
3. ピンポイント渋滞対策の取り組み
4. TDM施策の取り組み
5. 観光渋滞対策の取り組み
6. 山形都市圏の道路交通課題
7. 来年度の予定

1. 開催概要と山形県内の 主要渋滞箇所の現状報告等

1-1. 開催主旨等

■渋滞対策推進協議会の開催主旨

- 効率的・効果的に渋滞対策を推進していくために、**年2回**開催することを基本とする（平成30年度～）
 - ・1回目：当該年度に実施する対策の報告等
 - ・2回目：当該年度に実施した対策を振り返る等、1年間の取り組みを総括

■令和6年度渋滞対策推進協議会及び地域WG（2回目）での主なポイント

- 令和4年度に東北中央自動車道が開通し、首都圏～最上地方まで直結
 - 東北中央自動車道の並行現道等における主要渋滞箇所の渋滞状況の把握・分析
 - 解除審議（解除か継続かの審議）
- ピンポイント対策・TDM施策の対策結果報告
- 観光渋滞対策検討（ゴールデンウィークの交通状況の把握・分析等）について意見交換

▼協議会・地域WGのスケジュール

令和6年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
											
				第1回協議会 (8/7)※書面開催							第2回協議会 (3/17)
											
			第1回地域WG 村山(7/24) 置賜(7/24) 最上(7/24) 庄内(7/25)※書面開催								第2回地域WG 庄内(3/4) 村山(3/6) 置賜(3/6) 最上(3/6)

1-2. 第1回渋滞協・地域WGにおける主な意見

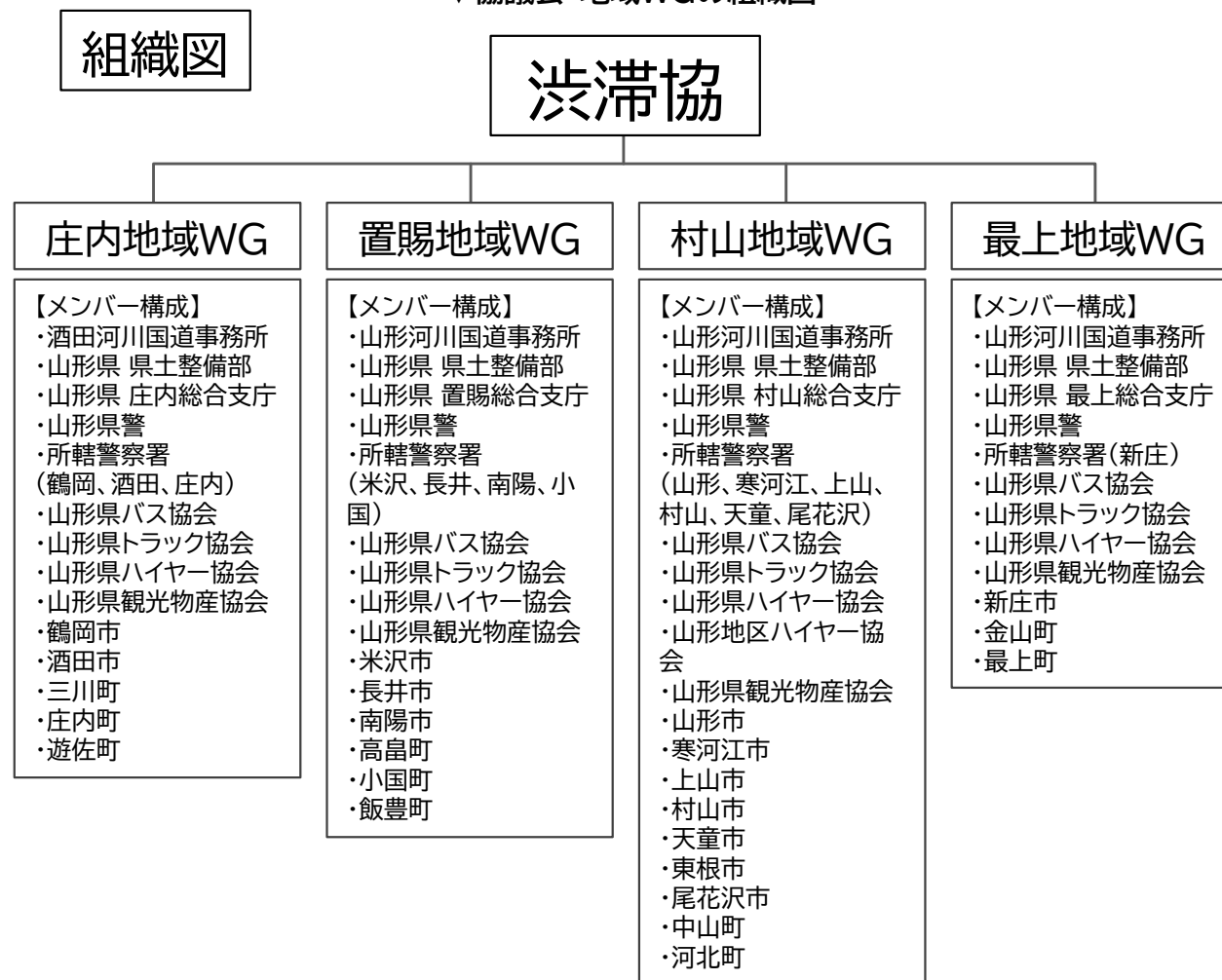
○令和6年度第1回渋滞協及び第1回地域WGでの主な意見は以下のとおり。

No.	項目	意見
1	現状報告等	・解除フローが分かりやすくなった。道路利用者の実感も重要な項目であると考えているので、主要渋滞箇所の解除にあたり、データや周辺環境の整理をお願いする。 ・冬期評価時の前提条件について、近年の暖冬傾向を踏まえ、柔軟な発想で、整理をお願いする。 ・泉田道路の開通に伴い、国道13号の渋滞緩和を感じているが、データや周辺環境の整理をお願いする。 ・山屋交差点について、県立新庄病院の開院による渋滞は発生していないと思われるが、開院影響など注視しモニタリングをお願いする。 ・蟹沢交差点について、国道13号側の渋滞は緩和したものの、東西方向の渋滞は引き続き発生していると思われるので、交差点周辺の開発状況も注視しモニタリングをお願いする。 ・門東町交差点について、交差点改良で渋滞が緩和されていると感じる。冬期にも注視しモニタリングをお願いする。
2	ピンポイント渋滞対策	・ピンポイント対策は、今後も現地状況を確認しながら実施して頂きたい。 ・本合海交差点については、今年度開通予定の新庄古口道路も注視しながら、改善状況を確認頂きたい。
3	TDM施策	・米沢市・山形市におけるTDMIは、取組の定着など、継続実施をお願いする。
4	観光渋滞対策	・さくらんぼ期及び赤川花火大会における渋滞対策は、いずれもリアルタイムの交通情報の発信等取り入れており、来訪者の方々へ有効な策と考えられるので、引き続きお願いする。
5	山形都市圏の道路交通課題	・山形南道路と山形中山道路が接続されると、山形市内の通過交通が転換し、渋滞緩和が大いに期待される。そのため、山形南道路においては、早期事業化に向けて取り組んで頂きたい。
6	冬期の道路交通課題	・国道47号及び国道113号においては、道路幅員が狭いことが速度低下の要因と考えられる。 ・課題を整理し、ネットワーク整備の推進をお願いする。

1-3. 地域WGの体制

- 協議会の下に4地域WGを設け、より一層、渋滞協の活性化を図る運営を行っていく。
- 令和5年度より年2回開催し、関係者間の連携を図り、対策の確実な推進、効果発現を目指す。
- 令和6年度は、ピンポイント対策・TDM施策の検討・実施に加え、令和5年度に見直しを行った解除基準に基づく主要渋滞箇所のモニタリング結果について意見交換を実施。

▼協議会・地域WGの組織図



▼地域WG対象エリア



1-4. 第2回地域WGでの主な意見

○第2回渋滞対策推進協議会資料(案)を基に意見交換。

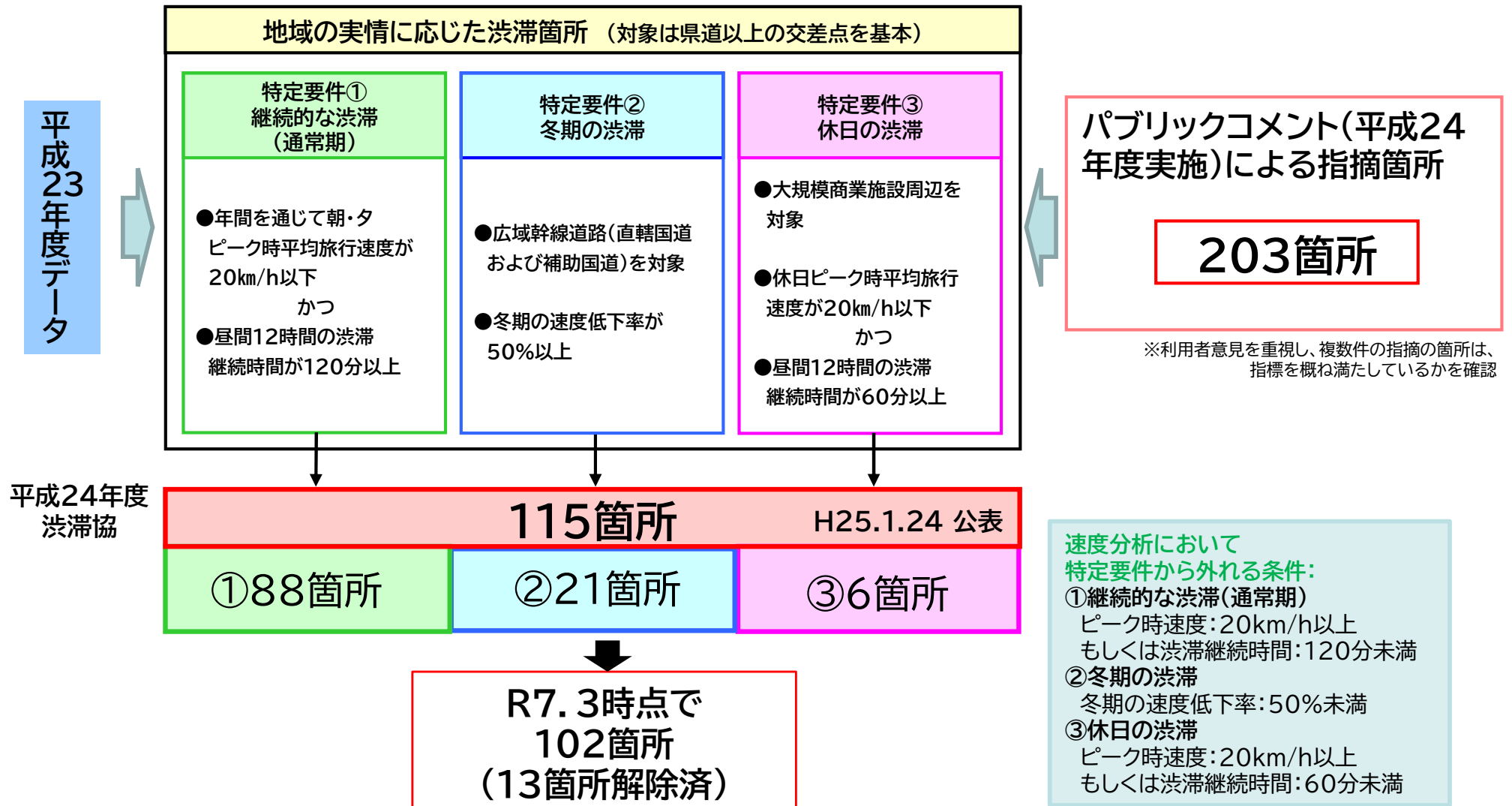
→今後も、渋滞原因・渋滞対策効果の共有、今後の対策推進等に向けて意見交換を行っていく予定。

No.	項目	意見
1	現状報告等	・解除審議について、解除フローに則り、速度のデータ分析と利用者実感の声を踏まえて判断されており、8交差点のうち、7箇所解除・1箇所継続について問題無いと思われる。【村山・最上・置賜WG】 ・東根市の蟹沢交差点について、近年は開発状況が著しいため、開発に伴う交通状況の把握に努めて頂きたい。【村山WG】 ・新庄市及び米沢市内の交差点において、渋滞は解消されており解除することで問題無い。【最上・置賜WG】
2	ピンポイント渋滞対策	・本合海交差点について、改善を実感しており地元の評判も良い。引き続きモニタリングを実施して頂きたい。【最上WG】 ・徳町交差点について、ピンポイント対策を実施して頂き大変有難い。しかし依然として渋滞は発生している状況であるため、来年度以降も引き続きモニタリングを実施して頂きたい。【置賜WG】 ・広野興屋交差点について、引き続き事業推進して頂きたい。改良によってスムーズな通行が期待される。【庄内WG】 ・酒田市三川町境の交通課題について、産業団地の拡大も予定されているため2車線区間の4車線化を強く要望。【庄内WG】
3	TDM施策	・TDM施策は、ハード対策が長期に及ぶ中、市街地部のソフト対策として非常に重要と感じていると同時に、難しい施策であるとも感じている。米沢TDMは、現時点取り組んでいる内容の定着も良いとも思うが、山形TDMのように、職員自ら取り組める内容に変更し、企業や市民等にもご協力頂く方が、運営していく上でも、うまくいくような気がする。是非ご検討頂きたい。【村山・置賜WG】 ・酒田市内でのTDM施策の今年度の検討内容と来年度の方針を報告。来年度は、今年度検討を行った箇所でTDM施策を実施予定。【庄内WG】
4	観光渋滞対策	・GW期の道の駅「鳥海」付近の渋滞について、道の駅前の区間において、昨年度開通した日沿道「遊佐鳥海IC」、「遊佐菅里IC」へ向かう通過交通量の増加や信号が連続していることが要因と感じる。【庄内WG】 ・GW等、観光期の交通状況の意見交換は重要と感じている。国道121号大峠は、峠部なので、やはり、片側交互通行の規制によるものと感じる。データをもって、渋滞原因が特定できるように、努めて頂ければと思う。【置賜WG】 ・赤川花火大会での観光渋滞について、国道112号での渋滞は以前より解消されてきているが、国道47号や国道345号でも渋滞が見受けられるため、広範囲な呼びかけをお願いしたい。【庄内WG】
5	山形都市圏の道路交通課題	・山形南道路の道路調査の現在の位置付けが、前回協議会提示より、進んでおり喜ばしい。山形南道路が新規事業化・完成となると、交通が転換され、国道112号の交通円滑化が図られると思う。但し、完成には時間がかかると思われるので、今回の銅町交差点の社会実験や公共交通施策とセットで山形市内の渋滞対策に努めて頂けると有り難い。【村山WG】
6	冬期の道路交通課題	・令和5年度は降雪量が少なく、今年度の分析を見送ったことは理解できる。今年度は降雪量が多かったと思われるので、引き続き、冬期の道路交通課題の整理をお願いしたい。【村山WG】

1-5. 山形県内の主要渋滞箇所

○「①継続的な渋滞(通常期)」、「②冬期の渋滞」、「③休日の渋滞」の3つの特定要件を設定し、該当する箇所を「主要渋滞箇所」として抽出・公表。

○H25.1.24公表時点で県内全体で115箇所が抽出され、R7. 3時点では102箇所(13箇所解除済)。



※冬期速度低下率は、
通常期速度に対する冬期速度の割合を表す

1-5. 山形県内の主要渋滞箇所

○対策を実施することにより、計13箇所の主要渋滞箇所の解除が進み、R7.3時点で、山形県内で102箇所となっている。

▼県内の主要渋滞箇所の解除状況

年度	主要渋滞箇所の動き	解除箇所	関係する道路事業	主要渋滞箇所数			
				通常期	冬期	休日	計
平成 24年度	主要渋滞箇所(115箇所) の公表			88	21	6	115
平成 27年度	主要渋滞箇所3箇所を解除	①大野目交差点(山形市、通常期) ②門伝交差点(山形市、冬期) ③今泉交差点(長井市、通常期)	①R13大野目交差点改良【H26.8完】 ②R458門伝交差点改良【H26.3完】 ③R113今泉交差点改良【H24.1完】、 R287長井南BP【H22.3部分開通】	86	20	6	112
平成 28年度	主要渋滞箇所4箇所を解除	①平京田交差点(鶴岡市、通常期) ②出羽大橋交差点(酒田市、通常期) ③道の駅「河北」前交差点(河北町、冬期) ④本町交差点(米沢市、通常期)	①R7鶴岡BP(4車線化)【H24.10完】 ②R112号酒田南拡幅【H24.12完】 ③R287連続交差点の集約化【H26.12完】 ④交差点改良【H25.3完】	83	19	6	108
平成 30年度	主要渋滞箇所1箇所を解除	①清池交差点(天童市、通常期)	①右折レーン延伸【H29.3完】	82	19	6	107
令和 1年度	主要渋滞箇所4箇所を解除	①中田町交差点 国道13号分岐(米沢市、冬期) ②中田町交差点 米沢浅川高畠線(米沢市、冬期) ③花沢交差点(米沢市、冬期) ④米沢駅東口入口交差点 (米沢市、通常期)	①②③④東北中央自動車道 (福島大笹生IC～米沢北IC) 【H29.11完】	81	16	6	103
令和 2年度	主要渋滞箇所1箇所を解除	①下新田交差点(尾花沢市、通常期)	①東北中央自動車道 (大石田村山IC～尾花沢IC) 【H30.4完】	80	16	6	102

1-5. 山形県内の主要渋滞箇所

○県内の主要渋滞箇所について、地域別の分布は以下のとおり。

▼県内の主要渋滞箇所

【特定要件別箇所数(県全体)】

H25.1 抽出時:

通常期88箇所、冬期21箇所、休日6箇所、合計115箇所

R7.3 現在:

通常期80箇所、冬期16箇所、休日6箇所、合計102箇所

【特定要件別箇所数 (庄内地域)】

H25.1 抽出時:

通常期 19箇所

冬期 3箇所

休日 3箇所

合計 25箇所

R7.3 現在:

通常期 17箇所

冬期 3箇所

休日 3箇所

合計 23箇所

【特定要件別箇所数 (置賜地域)】

H25.1 抽出時:

通常期 17箇所

冬期 6箇所

休日 1箇所

合計 24箇所

R7.3 現在:

通常期 14箇所

冬期 3箇所

休日 1箇所

合計 18箇所

【特定要件別箇所数 (最上地域)】

H25.1 抽出時:

通常期 2箇所

冬期 8箇所

休日 0箇所

合計 10箇所

R7.3 現在:

通常期 2箇所

冬期 8箇所

休日 0箇所

合計 10箇所

【特定要件別箇所数 (村山地域)】

H25.1 抽出時:

通常期 50箇所

冬期 4箇所

休日 2箇所

合計 56箇所

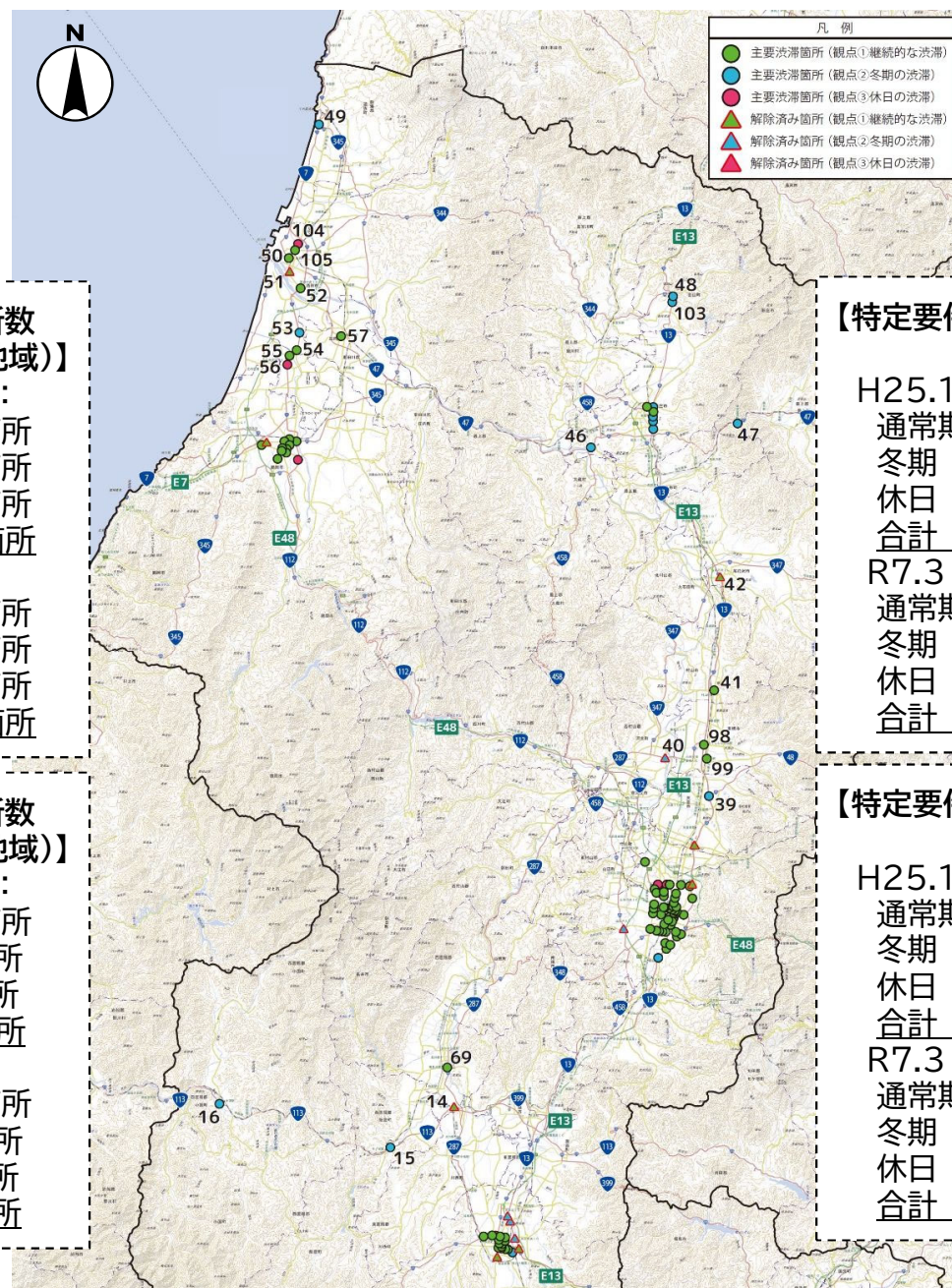
R7.3 現在:

通常期 47箇所

冬期 2箇所

休日 2箇所

合計 51箇所



1-6. 道路ネットワーク等の対策

○道路ネットワーク等の長期施策、交差点改良、TDM等の中・短期施策等、多様な道路事業を推進。
※ R47新庄古口道路がR6.12に開通。

▼県内における主要な道路事業と関連する主要渋滞箇所の有無

	路線	区間・事業名	開通時期(予定)	主要渋滞箇所の有無
道路ネットワーク等の対策 (長期施策、南北軸)	東北中央自動車道	東根～尾花沢	令和4年度	有(1交差点)
		泉田道路	令和4年度	有(5交差点)
		新庄金山道路	-	有(2交差点)
		金山道路	-	無
		真室川雄勝道路	-	無
	日本海沿岸東北自動車道	朝日温海道路	-	有(1交差点)
		酒田みなと～遊佐	令和5年度	無
		遊佐象潟道路	-	有(1交差点)
道路ネットワーク等の対策 (長期施策、東西軸)	新庄酒田道路	新庄古口道路	令和6年度	有(1交差点)
		高屋防災	-	無
		高屋道路	-	無
		戸沢立川道路	-	無
	新潟山形南部連絡道路	梨郷道路	令和5年度	無
		小国道路	-	有(1交差点)
	国道112号	山形中山道路	-	有(5交差点)
		霞城改良	令和元年度	有(5交差点)
交差点改良等の交通円滑化対策 (中・短期施策)	国道7号	興屋地区事故対策	-	有(1交差点)
		福岡交差点改良	-	無(上記と一体的に実施)
	国道112号	東原町地区事故対策	-	有(1交差点)
		朝陽町地区事故対策	令和3年度	無(上記と一体的に実施)
	国道113号	小国歩道整備	-	有(1交差点)
	県道2号	丸の内交差点改良	令和4年度	有(1交差点)
	県道308号	山屋交差点改良	令和4年度	有(1交差点)
	TDM	米沢市	-	有
		鶴岡市	-	有
		山形市	-	有

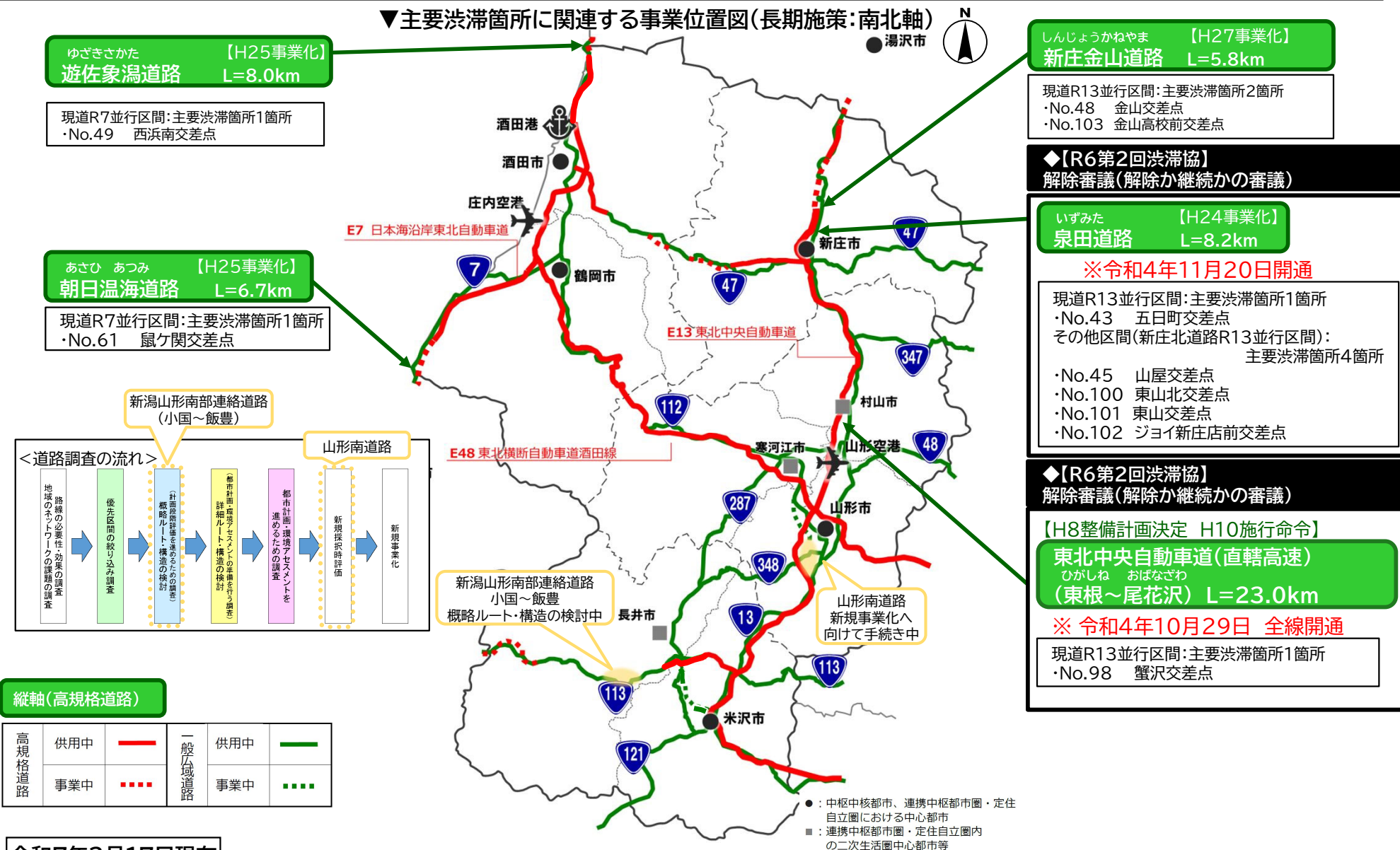
※主要渋滞箇所「有」の道路事業についてP11～P13に図示

1-7. 道路ネットワーク等の対策(長期施策:南北軸)

○南北軸では、東北中央自動車道等の道路ネットワーク整備等の対策を推進。

○山形南道路は新規事業化へ向けて手続き中。

▼主要渋滞箇所に関連する事業位置図(長期施策:南北軸)



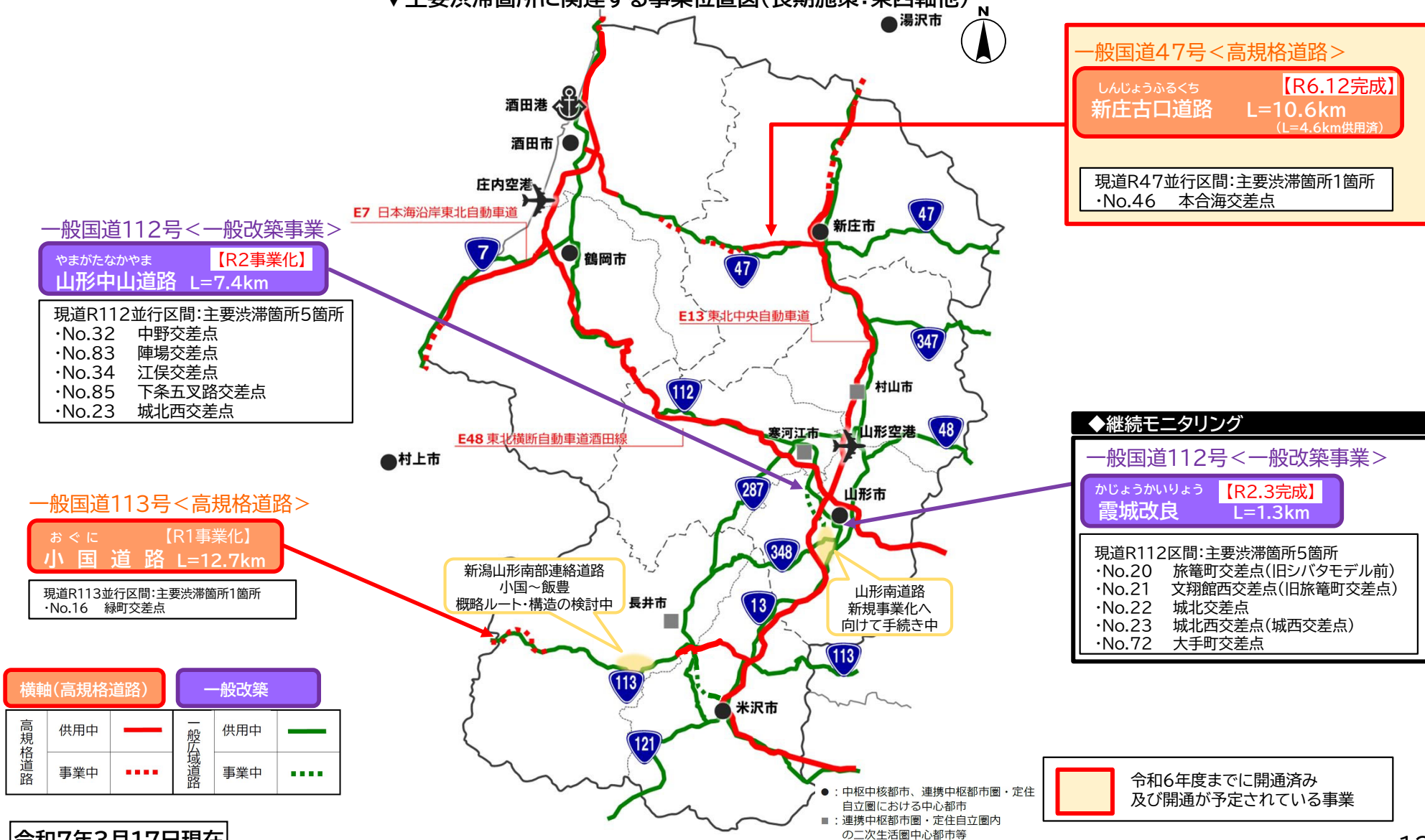
令和7年3月17日現在

※No.は参考資料1の箇所番号と対応

1-8. 道路ネットワーク等の対策(長期施策:東西軸)

- 東西軸では、山形中山道路等の道路ネットワーク整備等の対策を推進。
- 令和6年度に新庄古口道路が全線開通。

▼主要渋滞箇所に関連する事業位置図(長期施策:東西軸他)



※No.は参考資料1の箇所番号と対応

1-9. 交差点改良等の交通円滑化対策(中・短期施策)

○中・短期施策として、交通安全事業の交差点改良・付加車線整備のほか、TDM等のソフト施策を実施。

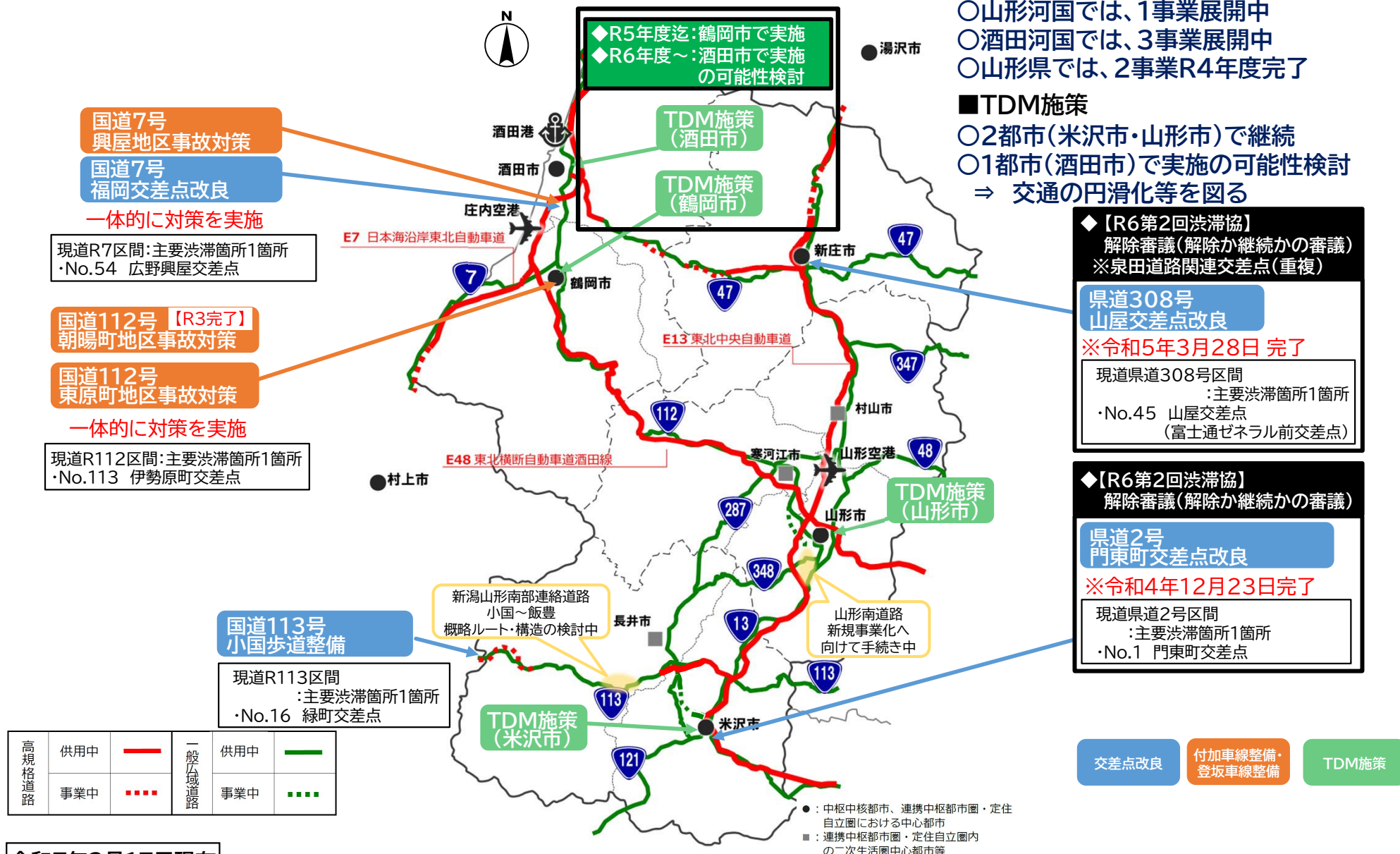
▼主要渋滞箇所に関連する事業位置図(中・短期施策:交通安全事業等)

■主要渋滞箇所に関連する交通安全事業

- 山形河国では、1事業展開中
- 酒田河国では、3事業展開中
- 山形県では、2事業R4年度完了

■TDM施策

- 2都市(米沢市・山形市)で継続
- 1都市(酒田市)で実施の可能性検討
⇒ 交通の円滑化等を図る



令和7年3月17日現在

2. 主要渋滞箇所のモニタリング報告

2-1. 現在の主要渋滞箇所の解除基準

- 主要渋滞箇所は平成24年度に県内115箇所を指定して以来、解消に向けた取組を実施してきたものの、令和7年3月時点で102箇所が残存。
- 主要渋滞箇所の渋滞状況については、指定当初からの周辺環境の変化等により、道路利用者や地域の実感と乖離が生じている箇所もあるため、実態に即した解除基準の再検討が必要。
- 上記の背景を受け、令和5年度に解除基準の見直しを行い、渋滞協にて了承を得た。
- 今年度、モニタリングを行った主要渋滞箇所8箇所において解除審議(解除か継続かの審議)を行う。

■山形県内の主要渋滞箇所

- ・平成24年度に115箇所を指定、令和7年3月時点で13箇所が解除されたが、102箇所が残存。
- ・全国情勢やR4年度渋滞対策推進協議会の道路利用者団体からの意見(利用者実感にあった見直し)も踏まえ、主要渋滞箇所の解除基準の見直し等の検討を実施。

■R5年度 第1回山形県渋滞対策推進協議会

解除基準の課題等を提示

■R5年度 第2回山形県渋滞対策推進協議会

課題を踏まえた解除見直し案の報告、承認
※但し、解除フローについては、わかりやすさの工夫が必要との意見有

■R6年度 第1回山形県渋滞対策推進協議会

前協議会での意見を踏まえた解除フローの再説明等

■R6年度 第2回山形県渋滞対策推進協議会

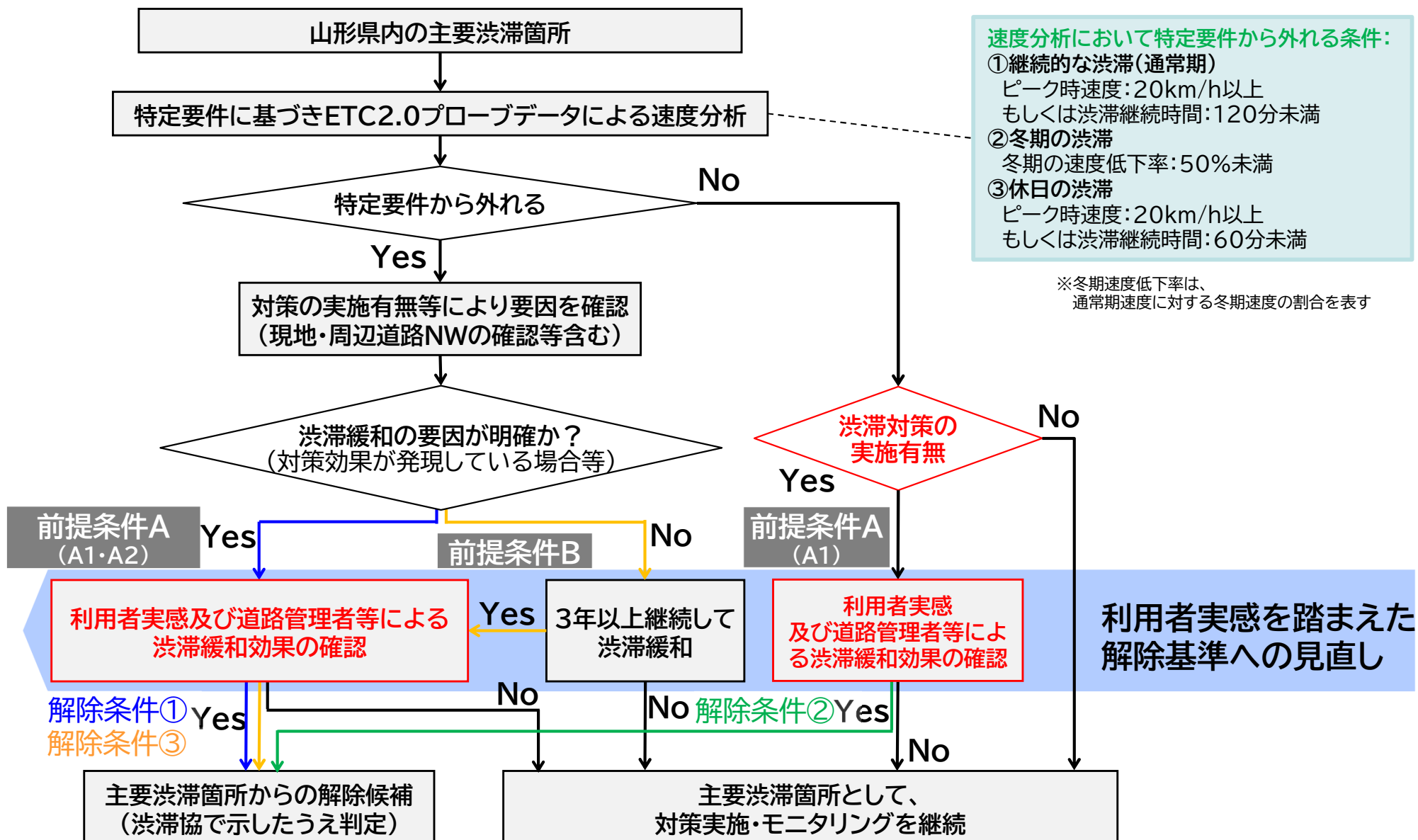
新たな解除フローを用いて、解除審議(解除か継続かの審議)

2-1. 現在の主要渋滞箇所の解除基準

○令和5年度第2回渋滞協で了承頂いた解除フローは以下のとおり。

■現在の主要渋滞箇所の解除判断のフロー(令和5年度第2回渋滞協にて承認)

※前提条件・解除条件は、次頁参照



2-1. 現在の主要渋滞箇所の解除基準

○主要渋滞箇所の解除基準は、以下の前提条件のうち、解除条件に該当する場合に解除することに見直し。

前提条件A:

- ・A1_渋滞対策実施箇所
- ・A2_周辺環境の変化箇所※1

※1 周辺道路の整備や大規模商業施設の移転・撤退等により交通量の減少が期待される箇所

・A1は解除条件①・②両方
・A2は解除条件①のみ

前提条件B:

未対策箇所のうちモニタリングにより3年以上継続して主要渋滞箇所の特定要件※2から外れた箇所（新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い再開）

解除条件①

○事業完了直後(もしくは周辺環境変化後)最新1年間のデータで特定要件※2から外れており、かつ利用者※3や道路管理者等が渋滞の緩和効果に合意※4

解除条件②

○特定要件※2に該当している場合においても、データと実際の渋滞状況の乖離要因が明確な場合は、利用者※3や道路管理者等の合意※4のうえ、解除可能

解除条件③

○利用者※3や道路管理者等が渋滞の緩和効果に合意※4

利用者実感を踏まえた解除基準への見直し

※2 特定要件 <評価方向>

- ・①通常期、③休日は全流入方向(但し、主道路と同様の機能が必要とされない方向は評価対象の是非を検討)
- ・②冬期は選定時の抽出方向。

<冬期評価時の前提条件> 直近5年の平均降雪量と同程度以上の累積降雪量となる年度を評価対象

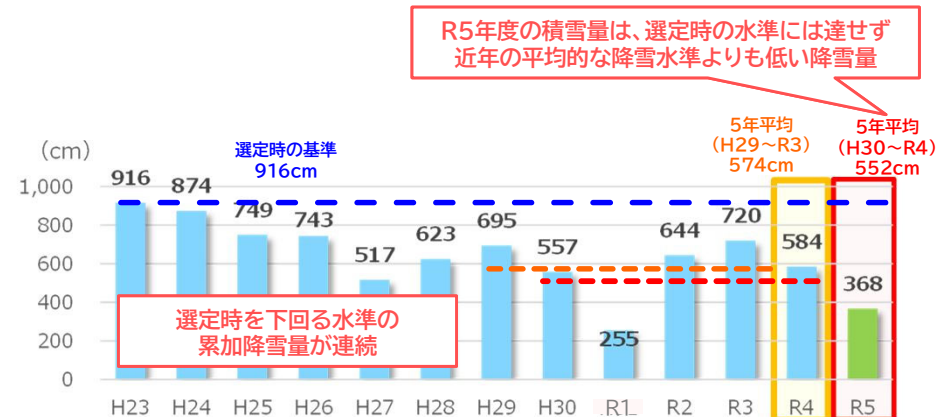
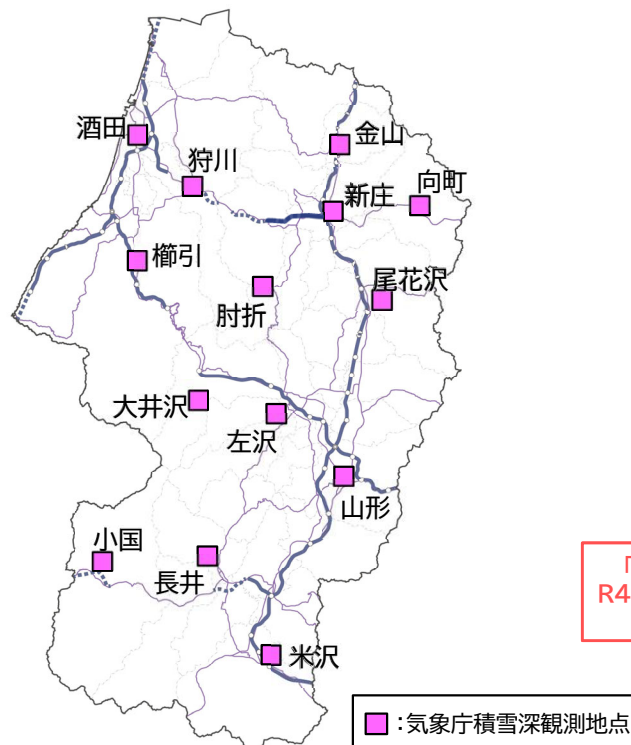
※3 利用者はWGの構成員(トラック協会、バス協会、タクシー・ハイヤー協会、観光協会)を基本とし、事業特性によっては必要に応じて適宜追加

※4 合意にあたっては、将来開発等に伴い想定される交通状況の変化等(例:新規開業予定の施設へ行き来する交通量の増加)も勘案

2-1. 現在の主要渋滞箇所の解除基準(冬期の渋滞)

- 冬期条件については、自然環境の変化を踏まえ、直近5年の平均降雪量と同程度以上の累積降雪量となる年度を評価対象とすることで決定(令和5年度第2回渋滞協)。
- 直近5年(H30～R4)における県内14地点の平均累加降雪量は552cmであり、最新(R5)の累加降雪量(368cm)は直近5年平均を下回る。ただし、R4の累加降雪量(584cm)は平均を上回る。
- コロナ禍の影響による交通量の推移を判断
 - ⇒泉田道路(R4.11整備完了)並行区間のうち、特定要件が冬期の4箇所については、近隣のトラカン交通量データを確認した結果、R4年度冬期とR5年度冬期の交通量が同程度である。
 - ⇒今年度の解除審議(解除か継続かの審議)ではR4年度データを用いる。

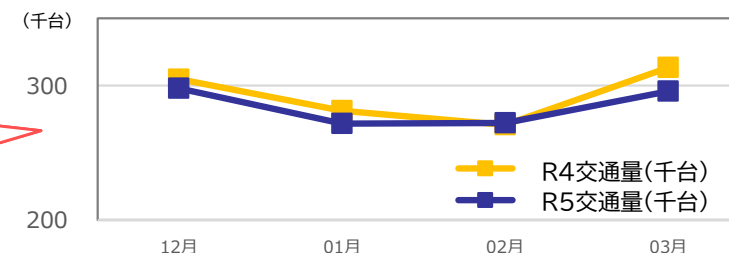
■山形県内気象庁積雪深観測地点(14地点)



▲山形県内14地点の累加降雪量(12月～3月、1箇所平均)

出典: 気象庁データ

※気象庁HP「年平均気温偏差」より5年を基準に設定



▲R4年度及びR5年度冬期の交通量の推移(国道13号新庄)

出典: トラフィックカウンター

2-2. 解除審議対象箇所の概要

○令和4年度、5年度に完了した各事業に関連する主要渋滞箇所について、現在の解除基準に基づき、今年度は箇所の状況に応じた速度分析によるモニタリングや現地確認、意見聴取等を実施。
⇒今回の渋滞協にて、主要渋滞箇所の解除審議(解除か継続かの審議)を行う。

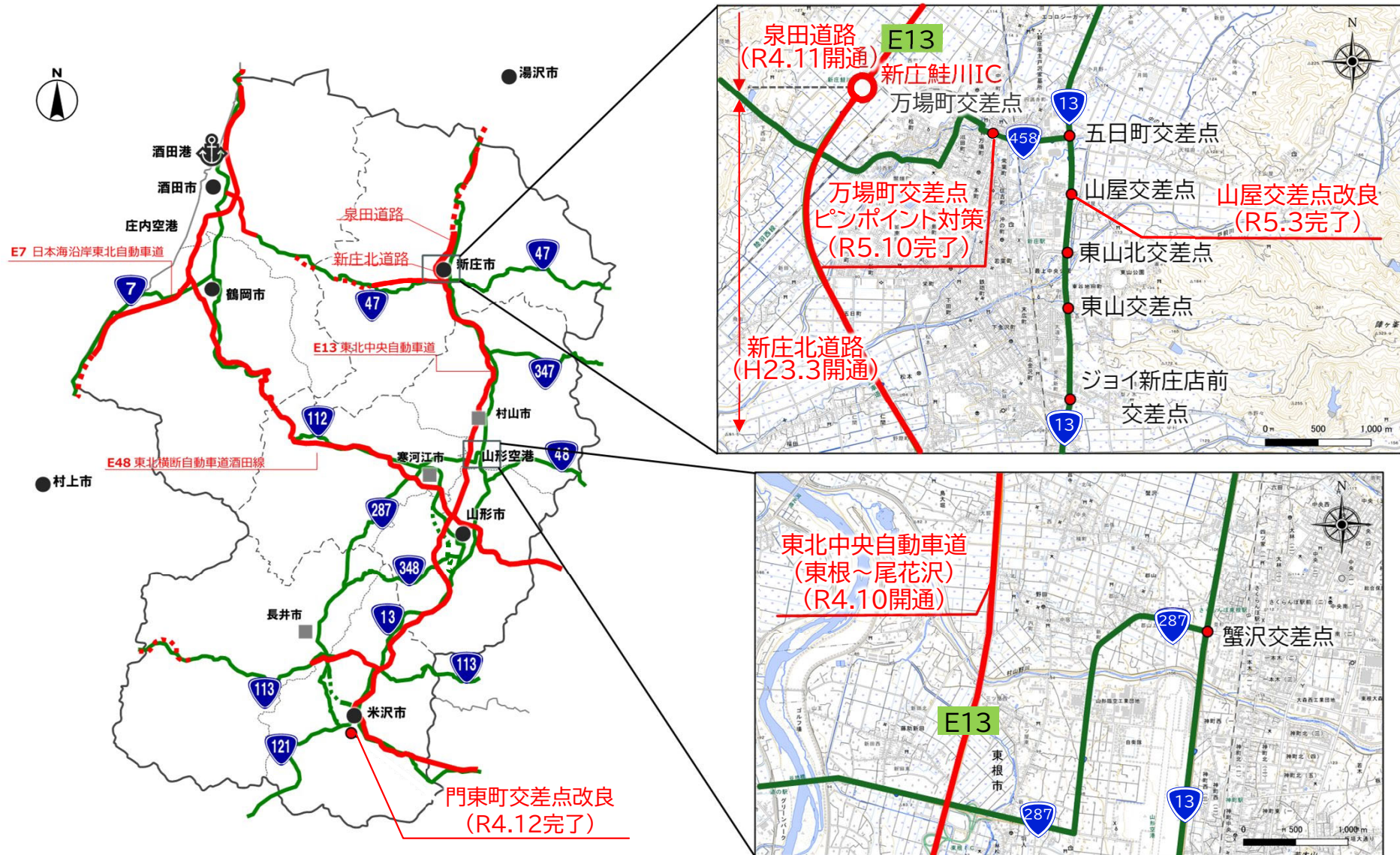
▼解除審議対象箇所に関するモニタリングの概要

事業		対象	特定要件	集計期間
東北中央自動車道	東根～尾花沢 R4.10開通	(1)国道13号蟹沢交差点(東根市)	通常期	R5.10～R6.9 ※コロナ5類移行後かつ最新1年間
	泉田道路 R4.11開通	(2)国道13号五日町交差点(新庄市)	冬期	R4.12～R5.11 <詳細> 冬期 :R4.12～R5.3 通常期:R5.4～R5.11 ※R4年度冬期期間
		(3)国道13号東山北交差点(新庄市)	冬期	
		(4)国道13号東山交差点(新庄市)	冬期	
		(5)国道13号ジョイ新庄店前交差点(新庄市)	冬期	
		(6)国道13号山屋交差点(新庄市)	通常期	R5.10～R6.9 ※県立新庄病院移転後
門東町交差点改良 R4.12完了		(7)門東町交差点(米沢市)	通常期	R5.10～R6.9 ※コロナ5類移行後かつ最新1年間
山屋交差点改良 R5.3完了		(8)国道13号山屋交差点(新庄市) ※(6)と同一交差点	通常期	(6)と同一
万場町交差点ピンポイント対策 R5.10完了		(9)国道458号万場町交差点(新庄市)	通常期	R5.11～R6.10

2-2. 解除審議対象箇所の概要

○東北中央自動車道東根～尾花沢区間が令和4年10月に、東北中央自動車道泉田道路が令和4年11月に開通。
また、門東町交差点、山屋交差点において右折レーン設置等の交差点改良を実施し、令和4年度に完了したほか、
万場町交差点においてピンポイント対策を実施し、R5年度に完了。

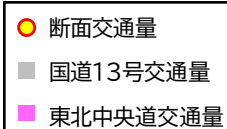
▼主要渋滞箇所のうち今年度解除審議対象箇所の位置図



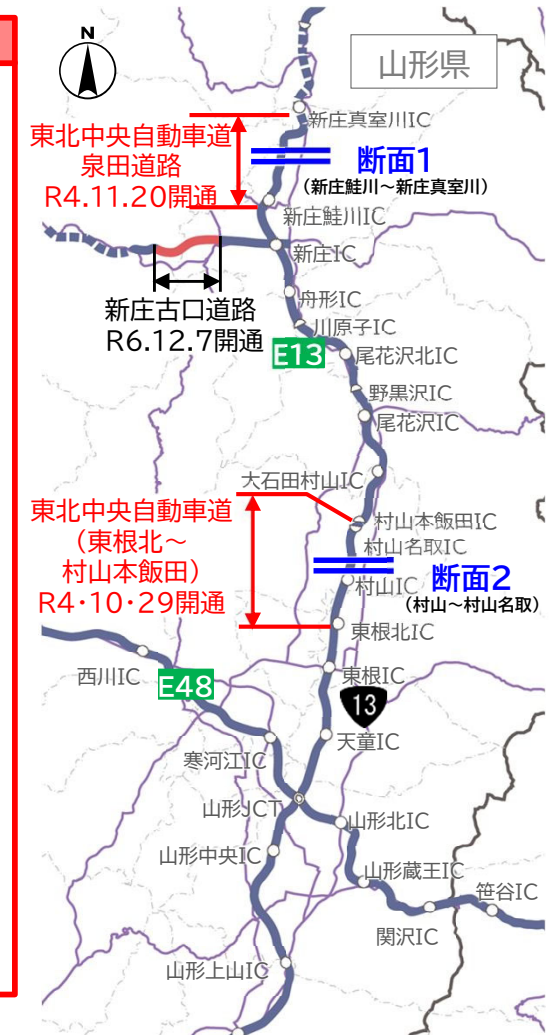
2-3. 東北中央自動車道開通による交通状況の変化

- 東北中央自動車道と並行現道(国道13号)を併せた断面交通量が増加し、交通流動が活性化。
- また、東北中央自動車道と国道13号の交通分担の適正化により、国道13号の交通量は減少。

▼東北中央自動車道・国道13号における断面交通量の変化



▼位置図



出典: (R3)全国道路・街路交通情勢調査
 (R6.10)トラフィックカウンターデータ

2-4. 主要渋滞箇所のモニタリング(蟹沢交差点)

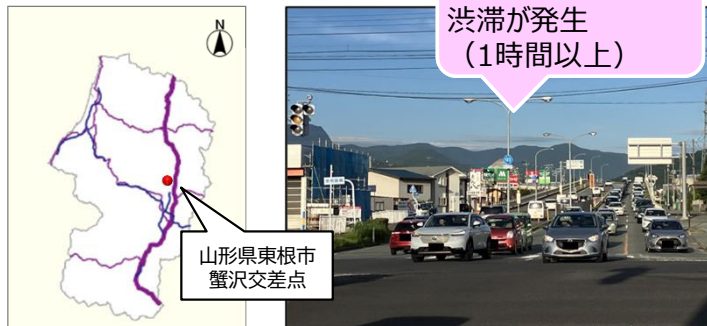
かにさわ

特定要件:通常期
要望有無:トラック協会
事業実施主体:山形河川国道事務所

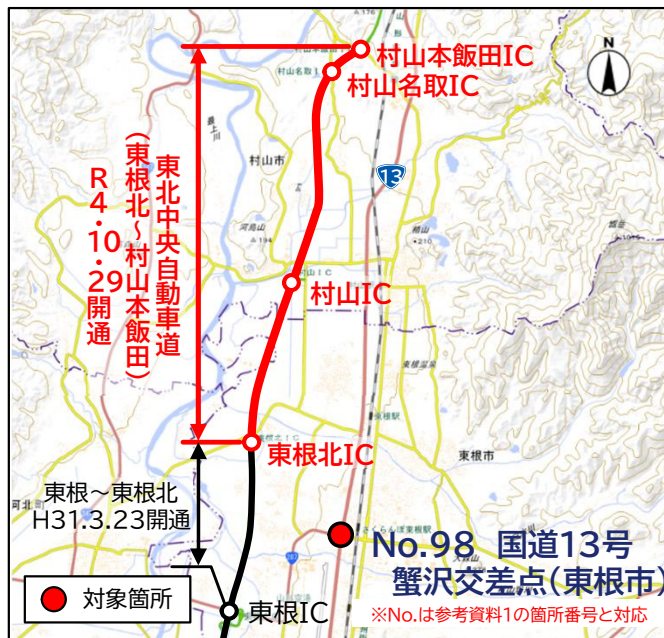
- 全流入方向で、速度、渋滞継続時間が速度分析において特定要件から外れる。
- 利用者実感では、東北中央自動車道「東根IC～尾花沢IC」の開通に伴い国道13号の渋滞が緩和したが、
②、④方向は依然渋滞するとの声があり、分析結果との乖離を確認。
- 利用者実感との乖離を確認すべく、詳細に分析・確認を行うなど、継続モニタリングとする方針。

位置図

現地踏査結果



《広域図》

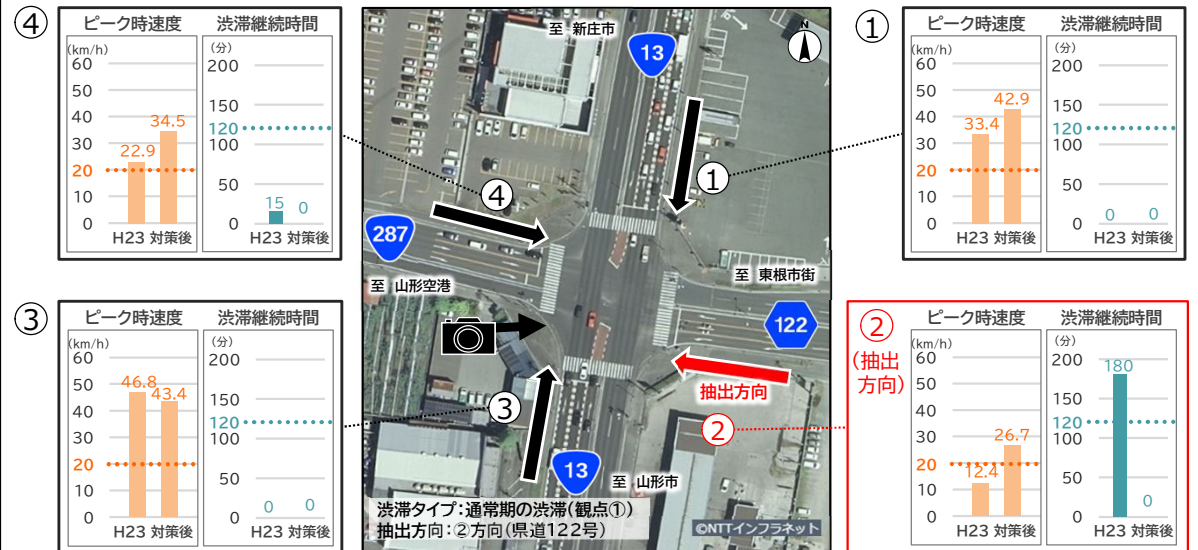


[対策前後における各方向のピーク時速度・渋滞継続時間]

R13蟹沢交差点(東根市)

速度分析において特定要件から外れる条件:

全方向において、ピーク時速度:20km/h以上もしくは渋滞継続時間:120分未満



【出典】プローブデータ(H23年度:H23.5~H24.4、対策後:R5.10~R6.9)

※H23年度(抽出時)の抽出方向を赤枠で表現

[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・対策後は、蟹沢交差点の渋滞は気にならなくなった。
その他の意見	・①、③方向(国道13号)は緩和されてきたが、②、④方向(国道287号・県道122号)は渋滞が発生する状況である。
	・②方向(県道122号西進)は夕方、④方向(国道287号東進)は朝に渋滞し、特に②方向の夕方の渋滞は毎日信号3回待ちが発生。
	・④方向(国道287号東進)については、交差点付近にスーパーができ、交通量が増え渋滞が発生する状況にある。

2-4.【参考】主要渋滞箇所のモニタリング(蟹沢交差点)^{かにさわ}

特定要件:通常期
要望有無:トラック協会
事業実施主体:山形河川国道事務所

<蟹沢交差点における周辺環境の変化>

○交差点近傍にスーパーマーケット(R5.10)、飲食店(R6.3)が開店。

⇒当該交差点周辺では近年開発が著しい。開発に伴う交通状況の把握に努める。

■蟹沢交差点における周辺環境の変化



2-5. 主要渋滞箇所のモニタリング(五日町交差点)

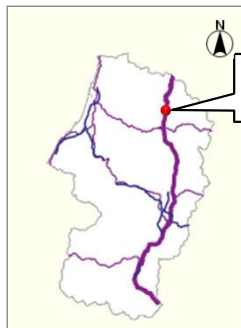
いつかまち

特定要件: 冬期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形河川国道事務所

- 対象の流入方向で冬期速度低下率が**速度分析において特定要件から外れる**。
⇒東北中央自動車道「泉田道路」の開通が冬期速度低下率改善の一因と考えられる。
- 利用者実感としても、**国道13号の交通量が減少し冬期の渋滞は改善した**という声を確認。
- データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

位置図

現地踏査結果



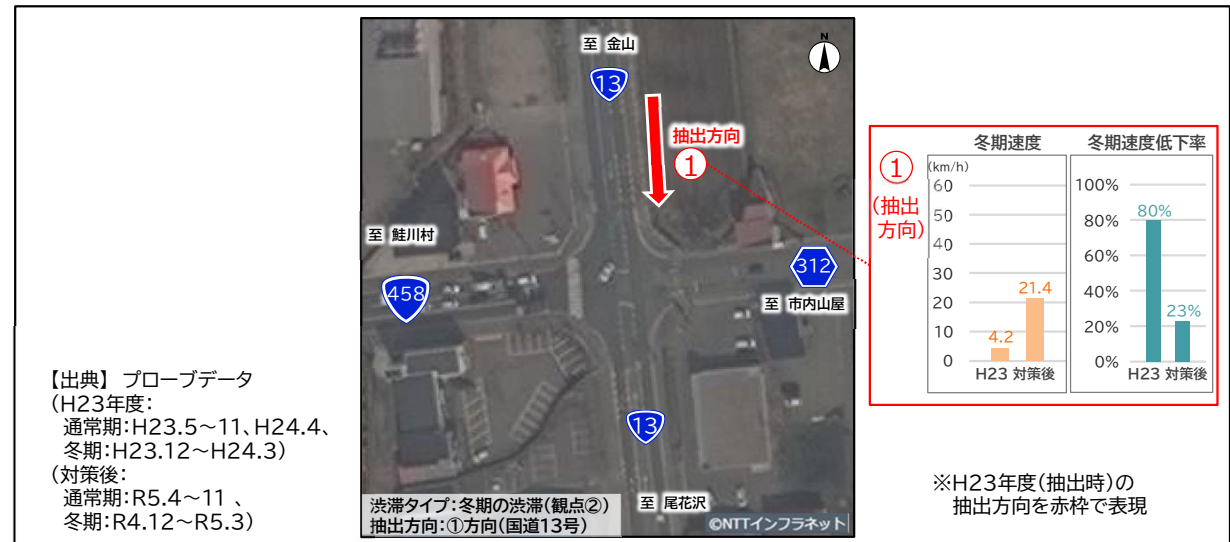
《広域図》



[対策前後における抽出方向の冬期速度・冬期速度低下率]

R13五日町交差点(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:
抽出方向において、冬期の速度低下率が50%未満



[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・通常期も冬期も、大変スムーズになった。
	・通常期も冬期も、対策後は大型車の通行量が減少したように感じる。追加対策の必要性を感じる渋滞の発生はない。
その他の意見	-

2-5. 主要渋滞箇所のモニタリング(東山北交差点)

ひがしやまきた

特定要件:冬期

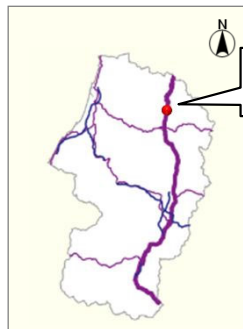
要望有無:一

事業実施主体:山形河川国道事務所

- 対象の流入方向で冬期速度低下率が**速度分析において特定要件から外れる**。
- ⇒東北中央自動車道「泉田道路」の開通が冬期速度低下率改善の一因と考えられる。
- 利用者実感としても、**国道13号の交通量が減少し冬期の渋滞は改善した**という声を確認。
- データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

■位置図

■現地踏査結果



《広域図》



[対策前後における抽出方向の冬期速度・冬期速度低下率]

R13東山北交差点(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:
抽出方向において、冬期の速度低下率が50%未満



[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・交通量が減少し渋滞は解消されている。
	・通常期も冬期も、対策後は大型車の通行量が減少したように感じる。追加対策の必要性を感じる渋滞の発生はない。
その他の意見	-

2-5. 主要渋滞箇所のモニタリング(東山交差点)

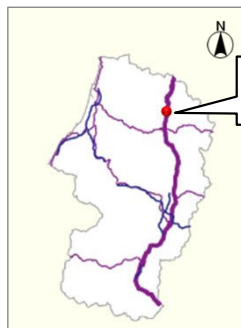
ひがしやま

特定要件: 冬期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形河川国道事務所

- 対象の流入方向で冬期速度低下率が**速度分析において特定要件から外れる**。
- ⇒東北中央自動車道「泉田道路」の開通が冬期速度低下率改善の一因と考えられる。
- 利用者実感としても、**国道13号の交通量が減少し冬期の渋滞は改善した**という声を確認。
- データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

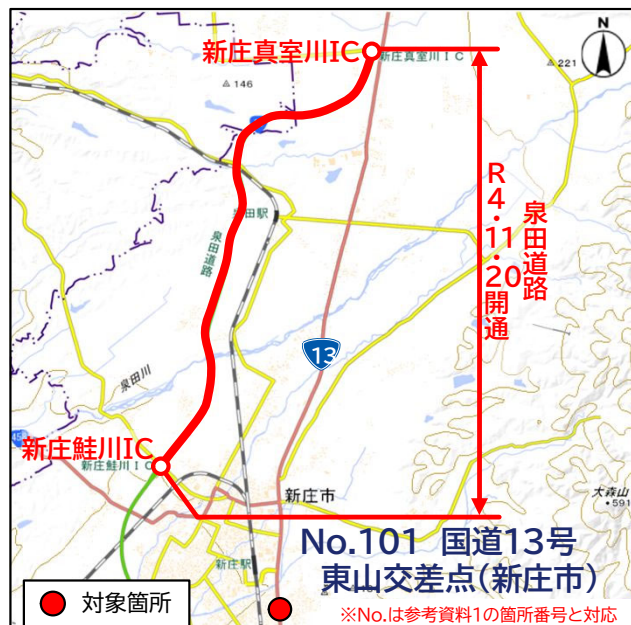
■位置図

■現地踏査結果



①方向で継続的な渋滞が発生したが、20分程度

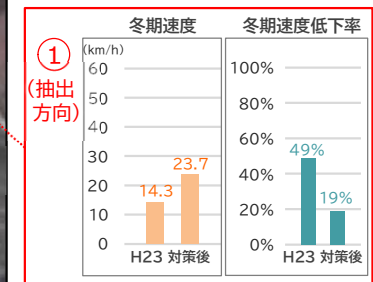
《広域図》



[対策前後における抽出方向の冬期速度・冬期速度低下率]

R13東山交差点(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:
抽出方向において、冬期の速度低下率が50%未満



※H23年度(抽出時)の抽出方向を赤枠で表現

【出典】プローブデータ
(H23年度:
通常期:H23.5~11、H24.4、
冬期:H23.12~H24.3)
(対策後:
通常期:R5.4~11、
冬期:R4.12~R5.3)

渋滞タイプ: 通常期の渋滞(観点②)
抽出方向: ①方向(一般国道13号)

[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・対策前は渋滞がひどかったが、対策後はスムーズに通過できるようになった。
	・交通量が減少し渋滞は解消されている。
	・対策後も通常期では朝夕に渋滞が発生しているが、冬期では渋滞状況がやや改善している。
その他の意見	-

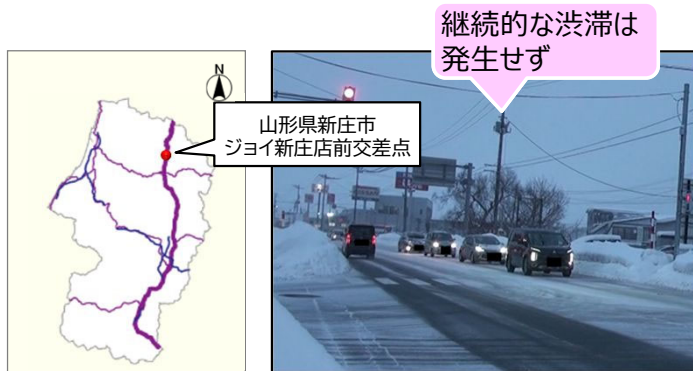
2-5. 主要渋滞箇所のモニタリング(ジョイ新庄店前交差点)

しんじょうてんまえ

特定要件: 冬期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形河川国道事務所

- 対象の流入方向で冬期速度低下率が**速度分析において特定要件から外れる**。
- ⇒東北中央自動車道「泉田道路」の開通が冬期速度低下率改善の一因と考えられる。
- 利用者実感としても、**国道13号の交通量が減少し冬期の渋滞は改善した**という声を確認。
- データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

■位置図 ■現地踏査結果



《広域図》



[対策前後における抽出方向の冬期速度・冬期速度低下率]

R13ジョイ新庄店前交差点(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:
抽出方向において、冬期の速度低下率が50%未満



【出典】プローブデータ
(H23年度:
通常期:H23.5~11、H24.4、
冬期:H23.12~H24.3)
(対策後:
通常期:R5.4~11、
冬期:R4.12~R5.3)

[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・トラックの往来が少なくなり渋滞は無し。
	・対策前は渋滞がひどかったが、対策後はスムーズに通過できるようになった。
その他の意見	-

2-6. 山屋交差点改良に関するモニタリング

特定要件: 通常期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

- 山屋交差点では、泉田道路開通(R4.11)に加え、交差点改良が完了(R5.3)。
○県立新庄病院の移転(R5.10)を考慮し、病院移転による影響をモニタリングにより検証。

【渋滞発生要因】

- ・交差点付近の道路幅員が狭く、すれ違い困難による速度低下。
- ・県立新庄病院開院(R5.10.1)に伴い、交通量の増加が見込まれる。

【対策】

○実施状況: 令和5年3月28日完了 ○内容: 道路拡幅、歩道整備

交差点	特定条件	要望
山屋交差点(富士通ゼネラル前交差点) (新庄市)	通常期	-

《位置図》

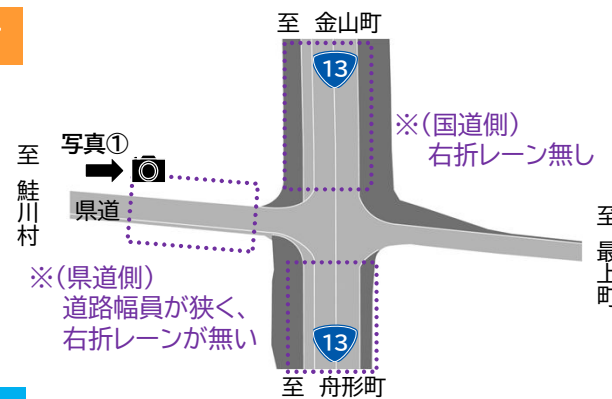


《詳細図》

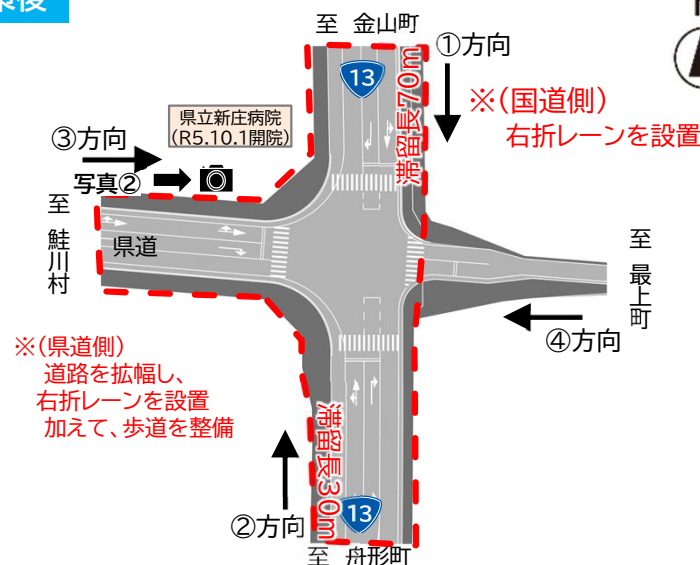


《対策内容》

対策前



対策後



《現場状況写真》

写真①(対策前)



至 鮭川村
R1.7.17

写真②(対策後)



至 鮭川村
R5.3.27

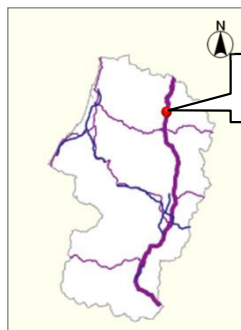
2-6. 山屋交差点改良に関するモニタリング

特定要件: 通常期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

- 山屋交差点について、全流入方向で速度、渋滞継続時間が**速度分析において特定要件から外れる**。
⇒交差点改良(道路拡幅)が速度上昇の一因と考えられる。
○利用者実感としては、**抽出方向の③方向では通常期の渋滞は改善したという声を確認**。
○データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

位置図

現地踏査結果

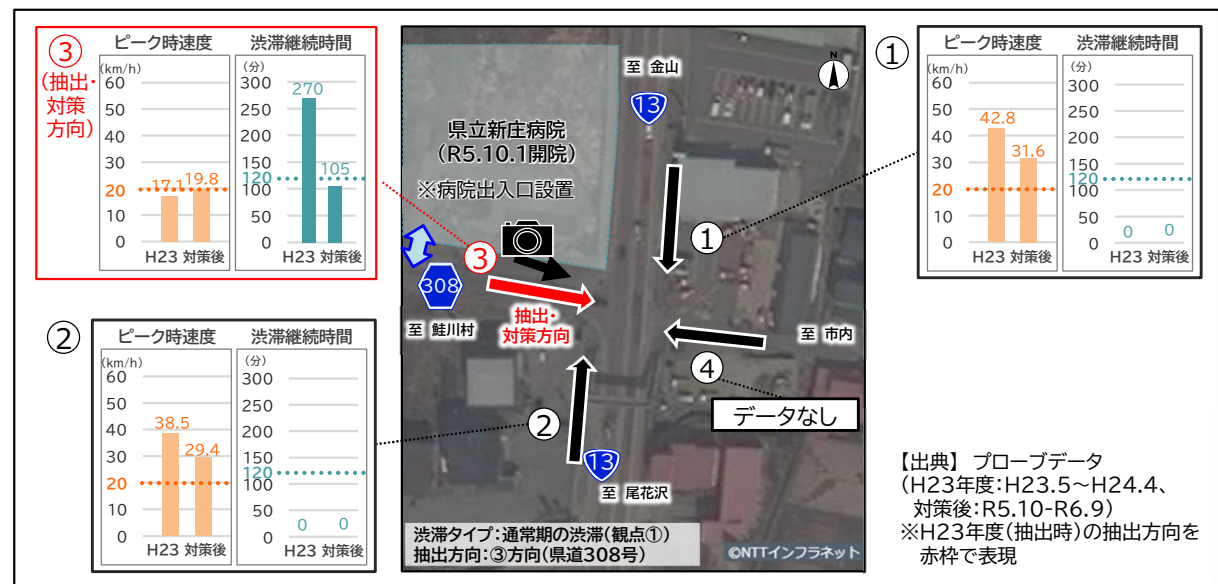


《広域図》



【対策前後における各方向のピーク時速度・渋滞継続時間】

R13山屋交差点(新庄市) 速度分析において特定要件から外れる条件:
全方向において、ピーク時速度: 20km/h以上もしくは渋滞継続時間: 120分未満



【利用者実感の確認結果(抜粋)】

渋滞が改善	・交差点改良により渋滞は解消した。
	・対策の効果は出ていると思う。
	・対策前は渋滞がひどかったが、対策後はスムーズに通過できるようになった。
その他の意見	・信号ができたため、①、②方向(国道13号)で流れが悪くなっているが、渋滞発生には至っていない。

2-7. 門東町交差点改良に関するモニタリング

特定要件: 通常期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

もんとうまち
○門東町交差点における交差点改良事業の効果検証として、モニタリングを実施。

【渋滞発生の要因】

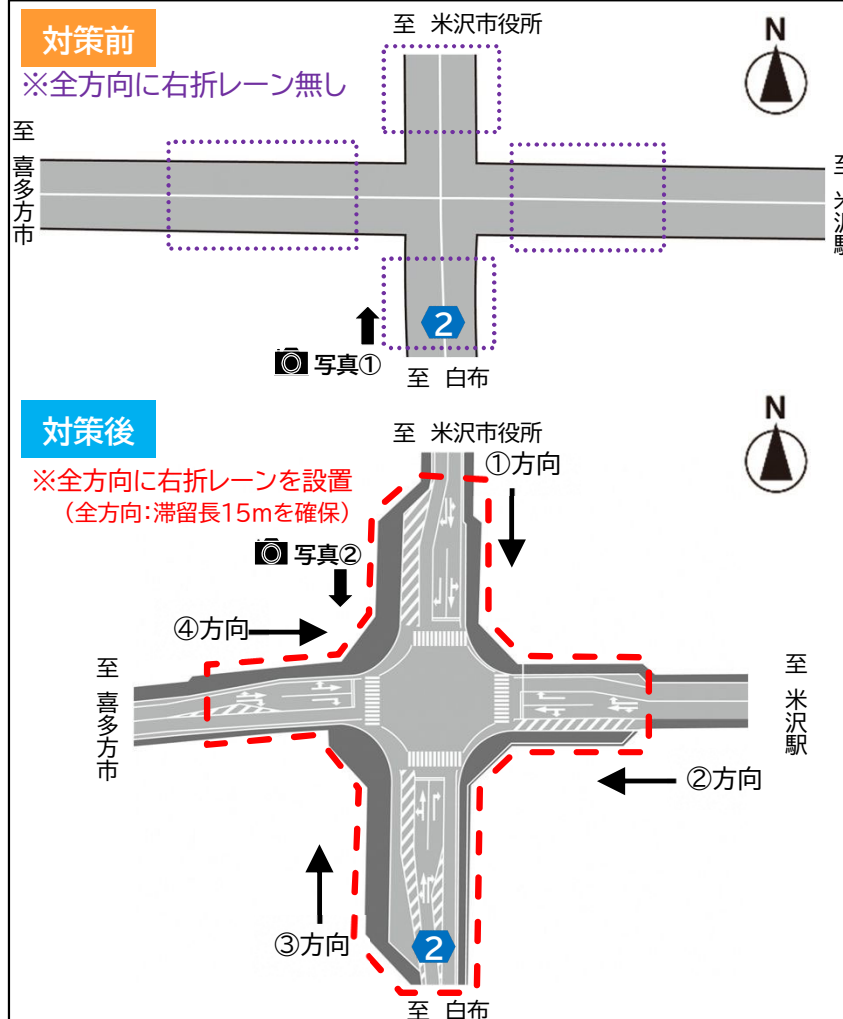
右折車線がなく、後続車の通行を阻害することに起因する速度低下。

【対策】

○実施状況: 令和4年12月23日完了。○内容: 交差点改良(右折レーンの設置)

交差点	特定条件	要望
門東町交差点(米沢市)	通常期	-

《対策内容》



《現場状況写真》



H25.10.13



R4.12.23

《位置図》



《詳細図》



2-7. 門東町交差点改良に関するモニタリング

特定要件: 通常期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

- もんとうまち
- 門東町交差点について、全流入方向で速度、渋滞継続時間が**速度分析において特定要件から外れる**。
 - ⇒交差点改良(右折レーンの設置)が速度上昇の一因と考えられる。
 - 利用者実感としても、**交差点改良により通常期の渋滞は改善した**という声を確認。
 - データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

位置図



《詳細図》



現地踏査結果

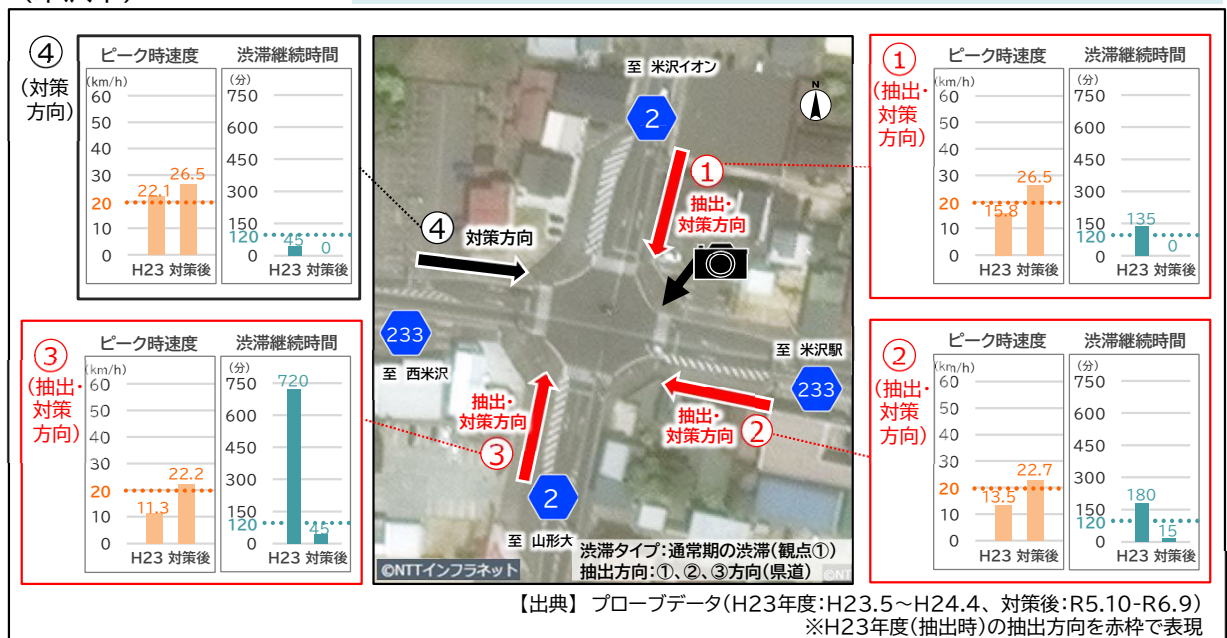


【対策前後における各方向のピーク時速度・渋滞継続時間】

県道2号門東町交差点
(米沢市)

速度分析において特定要件から外れる条件:

全方向において、ピーク時速度: 20km/h以上もしくは渋滞継続時間: 120分未満



【利用者実感の確認結果(抜粋)】

渋滞が改善	・交差点改良のあとは、右折車がいても直進左折車がスムーズに流れるので渋滞が無くなり、とても便利になった。
	・対策後はスムーズに通過できるようになった。特に朝のラッシュ時間帯の渋滞が緩和されたと感じる。
その他の意見	・以前は渋滞がひどく、2回以上信号待ちをすることがあったが、右折レーンが出来てからはスムーズに通行できるようになった。
	-

2-8. 万場町交差点ピンポイント対策に関するモニタリング

特定要件: 通常期
要望有無: -
事業実施主体: 山形県

- 国道458号万場町交差点【新庄市】でピンポイント対策(右折車待機位置の明示)を実施。
○ピンポイント対策事業の効果検証として、モニタリングを実施。(対象期間: R5.11-R6.10)

【渋滞発生の要因】

- ・右折車の滞留が後続車の通行を阻害することに起因する速度低下

【対策】

- 実施状況: 令和5年10月27日完了
- 内容: 区画線により交差点内に右折車待機位置の明示

交差点	特定要件	要望
万場町交差点(新庄市)	通常期	-

《位置図》



《広域図》



《対策内容》



《現場状況写真》

写真①(対策前)



撮影日: R5.6.22



写真②(対策後)



撮影日: R5.11.24

2-8. 万場町交差点ピンポイント対策に関するモニタリング

特定要件: 通常期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

- 万場町交差点について、全流入方向で速度、渋滞継続時間が**速度分析において特定要件から外れる**。
⇒ピンポイント対策(右折車待機位置の明示)が速度上昇の一因と考えられる。
○利用者実感としても、**対策により渋滞は改善した**という声を確認。
○データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

位置図

現地踏査結果



《広域図》

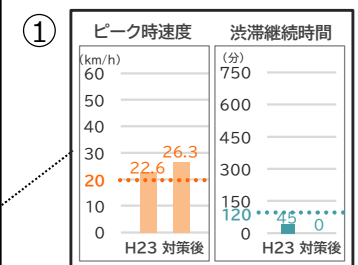
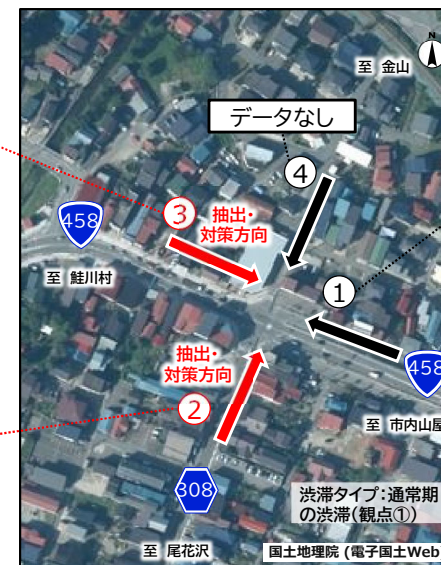
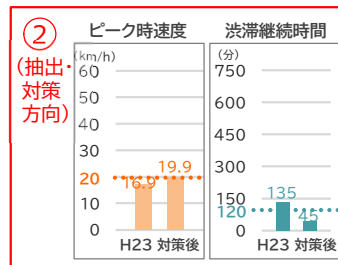
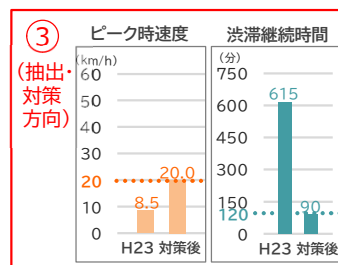


[対策前後における各方向のピーク時速度・渋滞継続時間]

R458万場町交差点
(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:

全方向において、ピーク時速度: 20km/h以上もしくは渋滞継続時間: 120分未満



【出典】プローブデータ
(H23年度: H23.5~H24.4、
対策後: R5.11-R6.10)
※H23年度(抽出時)の抽出
方向を赤枠で表現

[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・対策により渋滞は解消した。
	・以前は東北中央自動車道の終点が新庄鮭川ICだった為、万場町交差点を経由して国道13号に出る車が多く通行していたが、泉田道路が開通した影響もあり、通行量も減少されスムーズに通過できるようになった。
その他の意見	-

2-9. 主要渋滞箇所の解除判定(案)総括

○モニタリング結果、利用者実感、解除判定(案)の項目で整理。

- ・ 8交差点のうち7交差点は解除とし、1交差点はモニタリング継続とする。

事業		対象	特定要件	モニタリング結果	利用者実感	解除判定(案)
東北中央 自動車道	東根～尾花沢 R4.10開通	(1)蟹沢交差点 (東根市)	通常期	【速度・渋滞継続時間】 ⇒全流入方向で速度分析に おいて特定要件から外れる。	渋滞残存かつ未改 善の意見多数	モニタリング継続
	泉田道路 R4.11開通	(2) 五日町交差点 (新庄市)	冬期	【冬期速度低下率】 ⇒抽出方向で速度分析にお いて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除
		(3) 東山北交差点 (新庄市)	冬期	【冬期速度低下率】 ⇒抽出方向で速度分析にお いて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除
		(4) 東山交差点 (新庄市)	冬期	【冬期速度低下率】 ⇒抽出方向で速度分析にお いて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除
		(5) ジョイ新庄店前 交差点(新庄市)	冬期	【冬期速度低下率】 ⇒抽出方向で速度分析にお いて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除
		(6) 山屋交差点 (新庄市)	通常期	【速度・渋滞継続時間】 ⇒全流入方向で速度分析に おいて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除
門東町交差点改良 R4.12完了		(7) 門東町交差点 (米沢市)	通常期	【速度・渋滞継続時間】 ⇒全流入方向で速度分析に おいて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除
山屋交差点改良 R5.3完了		(8) 山屋交差点 (新庄市)	通常期	(6)と同一	(6)と同一	(6)と同一
万場町交差点ピンポイント対策 R5.10完了		(9) 万場町交差点 (新庄市)	通常期	【速度・渋滞継続時間】 ⇒全流入方向で速度分析に おいて特定要件から外れる。	渋滞改善	解除

3. ピンポイント渋滞対策の取り組み

3-1. ピンポイント渋滞対策の実施状況

○令和7年3月現在、山形県内の13箇所においてピンポイント対策事業を実施(次頁に箇所図)。

※国道7号^{ひろのこうや}広野興屋交差点(酒田市)における付加車線整備事業は継続実施中。

※国道121号^{とくまち}徳町交差点(米沢市)における対策を今年度6月に実施済。

▼ ピンポイント対策実施状況

年度	箇所名	道路管理者	対策内容
平成28年度	①国道348号南一番町交差点(村山地域)	山形市	従道路(山形市道)への右折ポケットの設置
平成30年度	②国道112号下条五叉路交差点(村山地域)	山形河川国道事務所	国道112号(上り)右折車待機位置の明示
	③国道112号旅籠町交差点(村山地域)	山形河川国道事務所	国道112号(下り)右折ポケットの設置
令和1年度	④国道13号青田五丁目交差点(村山地域)	山形河川国道事務所	国道13号(上り)右折レーンの延伸
	⑤県道18号山形テレビ前交差点(村山地域)	山形県	従道路への右折車待機位置の明示
令和2年度	⑥国道13号小立交差点(村山地域)	山形河川国道事務所	国道13号(上り)右折レーンの延伸
令和3年度	⑦国道112号江俣交差点(村山地域)	山形河川国道事務所	国道112号(下り)右折レーンの延伸
	⑧国道348号美畑町交差点(村山地域)	山形県・山形市	従道路(山形市道)の右折ポケットの設置 国道348号の停止線前出し 国道348号右折車待機位置の明示 等
令和4年度	⑨国道13号飯田二丁目交差点(村山地域)	山形河川国道事務所	国道13号(上り)右折レーンの延伸
	⑩国道47号本合海交差点(最上地域)	山形県	従道路(国道458号)グルーピング舗装
令和5年度	⑪国道7号広野興屋交差点(庄内地域)	酒田河川国道事務所	従道路右折車線拡幅(1→2車線)
	⑫国道458号万場町交差点(最上地域)	山形県	国道458号 右折車待機位置の明示
令和6年度	⑬国道121号徳町交差点(置賜地域)	山形県	国道121号 右折車待機位置の明示
計	13箇所	山形河川国道事務所:6箇所 酒田河川国道事務所:1箇所 山形県:5箇所※ 市町(山形市):2箇所※ ※1箇所重複(⑧美畑町交差点)	 :個別説明箇所(P.38~44)

3-1. ピンポイント渋滞対策の実施状況

○令和3年度まで「村山地域」山形市において対策を実施し、近年最上・庄内・置賜地域でも対策を実施。



3-2. 令和4年度実施箇所(山形県)

特定要件: 冬期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

○国道47号本合海交差点【新庄市】(冬期)において、ピンポイント対策(グルーピング舗装)を実施。
○ピンポイント対策事業の効果検証として、モニタリングを実施。(対象期間: R5.12-R6.3)
※令和5年度は降雪量が基準を満たしていないため、来年度も引き続きモニタリングを実施予定。

【課題】

冬期の路面凍結等による国道458号の速度低下

【対策】

○実施状況: 令和5年3月30日完了

○内容: 南側流入部(国道458号)のグルーピング舗装

交差点	特定要件	要望
本合海交差点(新庄市)	冬期	-



<現場状況写真>

写真①対策前



当該箇所は登り勾配であるため、路面凍結時は発進が困難であった

写真②対策後(グルーピング舗装施工)



3-2. 令和4年度実施箇所(山形県)

特定要件: 冬期
要望有無: 一
事業実施主体: 山形県

- もとあい
○本合海交差点におけるピンポイント対策の効果検証を実施。(対象期間: R5.12-R6.3)
- 対策を行った方向で冬期速度低下率が速度分析において特定要件から外れる。
- ※ただし、データ分析期間の降雪量が基準を満たしていないため、来年度も引き続きモニタリングを実施予定。
- 利用者からの意見においても、対策によりスムーズな発進が可能となったという意見を確認。
- ⇒グルーピング舗装の効果の発現。
- ⇒整備効果が発現していることを受け、次年度以降、解除の可否についても検討していく。

■位置図



《広域図》



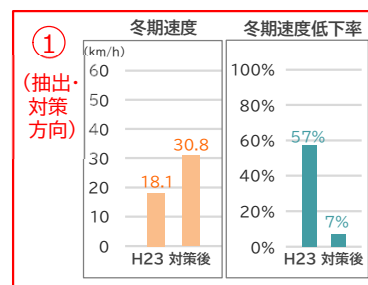
■現地踏査結果



[対策前後における抽出方向の冬期速度・冬期速度低下率] ※参考

R47本合海交差点(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:
抽出方向において、冬期の速度低下率が50%未満



※H23年度(抽出時)の
抽出方向を赤枠で表現



【出典】プロブデータ
(H23年度:
通常期: H23.5~11、H24.4、
冬期: H23.12~H24.3)
(対策後:
通常期: R5.4~11、
冬期: R5.12~R6.3)

[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	冬期は、上り坂の交差点のため、凍結時の発進が困難だったが、改良後はスムーズな発進が可能となり速度低下も抑制できた。
その他の意見	-

3-3.【再掲】令和5年度実施箇所(山形県)

特定要件:通常期
要望有無:一
事業実施主体:山形県

- 国道458号^{ばんばちょう}万場町交差点【新庄市】でピンポイント対策(右折車待機位置の明示)を実施。
○ピンポイント対策事業の効果検証として、モニタリングを実施。(対象期間:R5.11-R6.10)

【渋滞発生の要因】

- ・右折車の滞留が後続車の通行を阻害することに起因する速度低下

【対策】

- 実施状況:令和5年10月27日完了
- 内容:区画線により交差点内に右折車待機位置の明示

交差点	特定要件	要望
万場町交差点(新庄市)	通常期	-

《位置図》



《広域図》



《対策内容》



《現場状況写真》

写真①(対策前)



撮影日: R5.6.22



写真②(対策後)



撮影日: R5.11.24

3-3.【再掲】令和5年度実施箇所(山形県)

特定要件:通常期
要望有無:一
事業実施主体:山形県

- 万場町交差点について、全流入方向で速度、渋滞継続時間が**速度分析において特定要件から外れる**。
⇒ピンポイント対策(右折車待機位置の明示)が速度上昇の一因と考えられる。
○利用者実感としても、**対策により渋滞は改善した**という声を確認。
○データ及び利用者実感において解除条件を満たすため、**解除する方針**。

位置図



現地踏査結果



右折待機位置の
利用を確認

《広域図》

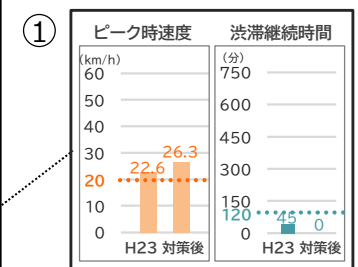
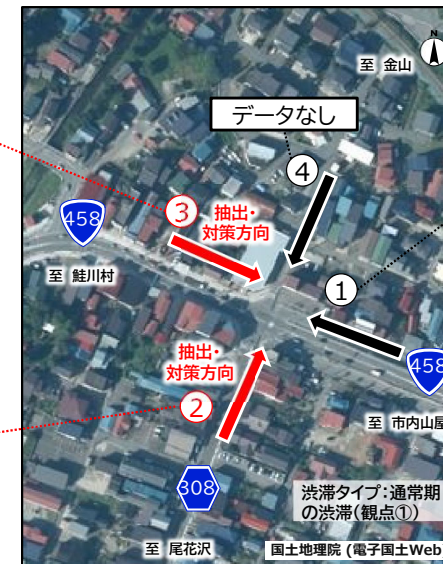
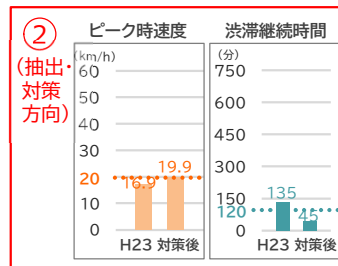
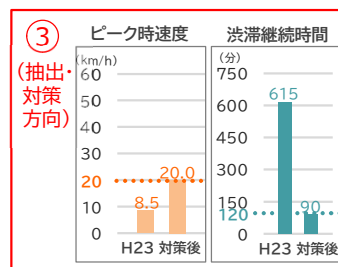


[対策前後における各方向のピーク時速度・渋滞継続時間]

R458万場町交差点
(新庄市)

速度分析において特定要件から外れる条件:

全方向において、ピーク時速度:20km/h以上もしくは渋滞継続時間:120分未満



【出典】プローブデータ
(H23年度:H23.5~H24.4、
対策後:R5.11-R6.10)
※H23年度(抽出時)の抽出
方向を赤枠で表現

[利用者実感の確認結果(抜粋)]

渋滞が改善	・対策により渋滞は解消した。
	・以前は東北中央自動車道の終点が新庄鮭川ICだった為、万場町交差点を経由して国道13号に出る車が多く通行していたが、泉田道路が開通した影響もあり、通行量も減少されスムーズに通過できるようになった。
その他の意見	-

3-4. 令和6年度実施箇所(山形県)

特定要件: 通常期
要望有無: トラック協会
事業実施主体: 山形県

- 国道121号徳町交差点(米沢市)において、ピンポイント対策(右折車待機位置の明示)を実施。
- ピンポイント対策事業の効果検証として、モニタリングを実施。(対象期間: R6.7-R6.10)
- ※対策完了後1年間の走行改善状況を令和7年度に検証予定。

【渋滞発生の要因】

・右折車の滞留が後続車の通行を阻害することに起因する速度低下

【対策】

○実施状況: 令和6年6月4日完了

○内容: 区画線により交差点内に右折車の待機位置の明示

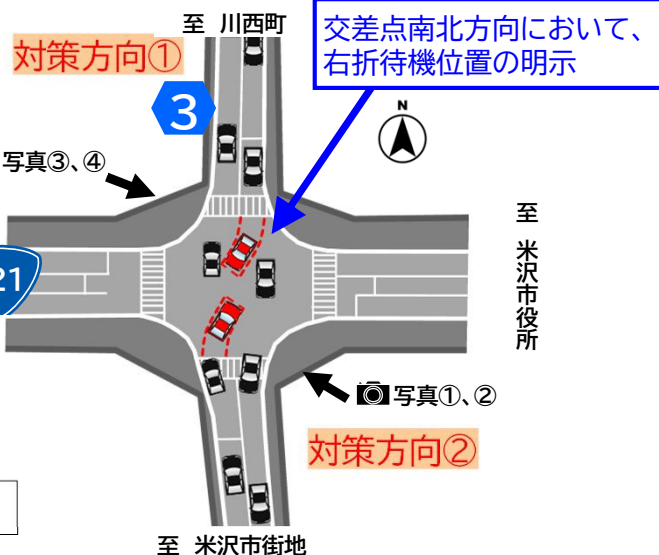
《位置図》



《広域図》



《対策概要》



交差点	特定要件	要望
国道121号 徳町交差点(米沢市)	通常期	トラック協会

対策前

右折待ち車両が直進・左折車両を阻害し渋滞が発生

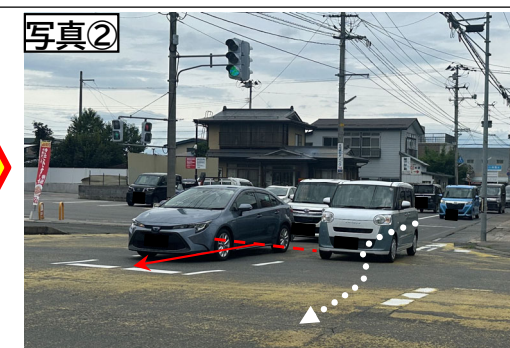
対策方向①



撮影日: 令和5年12月3日

対策後

停車位置を前へ誘導し、後続車のすり抜けスペースを確保することで、直進・左折車のスムーズな走行を促進



撮影日: 令和6年7月4日

対策方向②



撮影日: 令和5年12月3日



撮影日: 令和6年7月4日

3-4. 令和6年度実施箇所(山形県)

特定要件:通常期
要望有無:トラック協会
事業実施主体:山形県

- とくまち
○徳町交差点におけるピンポイント対策の効果検証を実施。(対象期間:R6.7-R6.10)
○対策方向では速度、渋滞継続時間が速度分析において特定要件から外れる。
※評価期間が1年に満たないため、来年度も引き続きモニタリングを実施予定。
○利用者意見では、右折車が1台の場合は改善したが、複数台続くと渋滞するという声を確認。
⇒整備効果の一部発現を確認した。引き続き継続してモニタリングを行う。

■位置図



《広域図》

■現地踏査結果

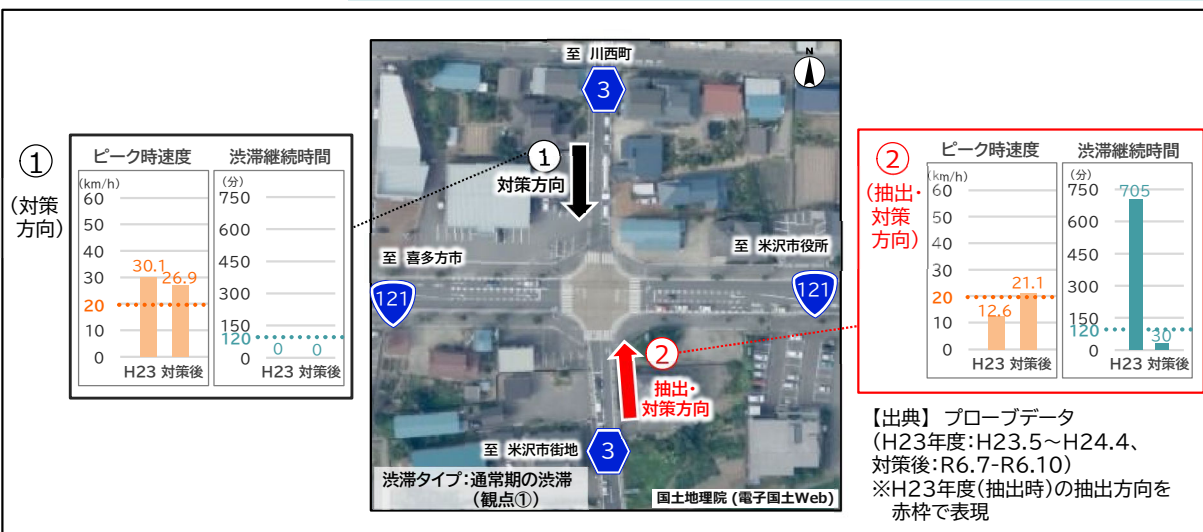


右折待機位置
の利用を確認

【対策前後における対策方向のピーク時速度・渋滞継続時間】※参考

R121徳町交差点
(米沢市)

速度分析において特定要件から外れる条件:
全方向において、ピーク時速度:20km/h以上もしくは渋滞継続時間:120分未満



【利用者実感の確認結果(抜粋)】

渋滞が改善	・対策後は改善が見られる。但し、ドライバーによっては、交差点内に明示された右折車待機位置まで進まずに停止する車がある。
その他の意見	・右折車が1台の場合は、渋滞の発生が減少したと思われるが、右折車が2.3台増えると渋滞が発生する。 ・早朝、深夜以外、渋滞している。特に北から南へ向かう車の右折割合が高い為、3~4台右折車が連続すると直進車がすり抜けできなくなる。

3-5. 令和5年度継続実施箇所(酒田河川国道事務所)

特定要件:通常期
要望有無:トラック協会

- 従道路の右折需要が多く、信号1回で捌けず渋滞が発生。
- 国道の4車線化に合わせて、従道路側の右折車線数を増設予定。

国道7号 広野興屋交差点

従道路右折車線拡幅(1→2車線)

《位置図》



《交通状況》



撮影日:H29.8.24

《説明図》



従道路の右折需要が多く、信号1回で捌けず渋滞が発生



国道の4車線化に合わせて、従道路側の右折車線数を増設することで、円滑な交通を実現

《広域図》



《実施状況》



写真②

撮影日:R6.10.24

3-5.【参考】庄内地域の道路交通課題

(1) 庄内地域の交通現況

- 庄内地域の主要渋滞箇所や道路利用者団体要望箇所は、鶴岡市役所周辺や国道7号三川町酒田市境周辺に多く存在している。
- 国道7号三川町酒田市境においては、広野興屋交差点で付加車線事業を進めている状況である。

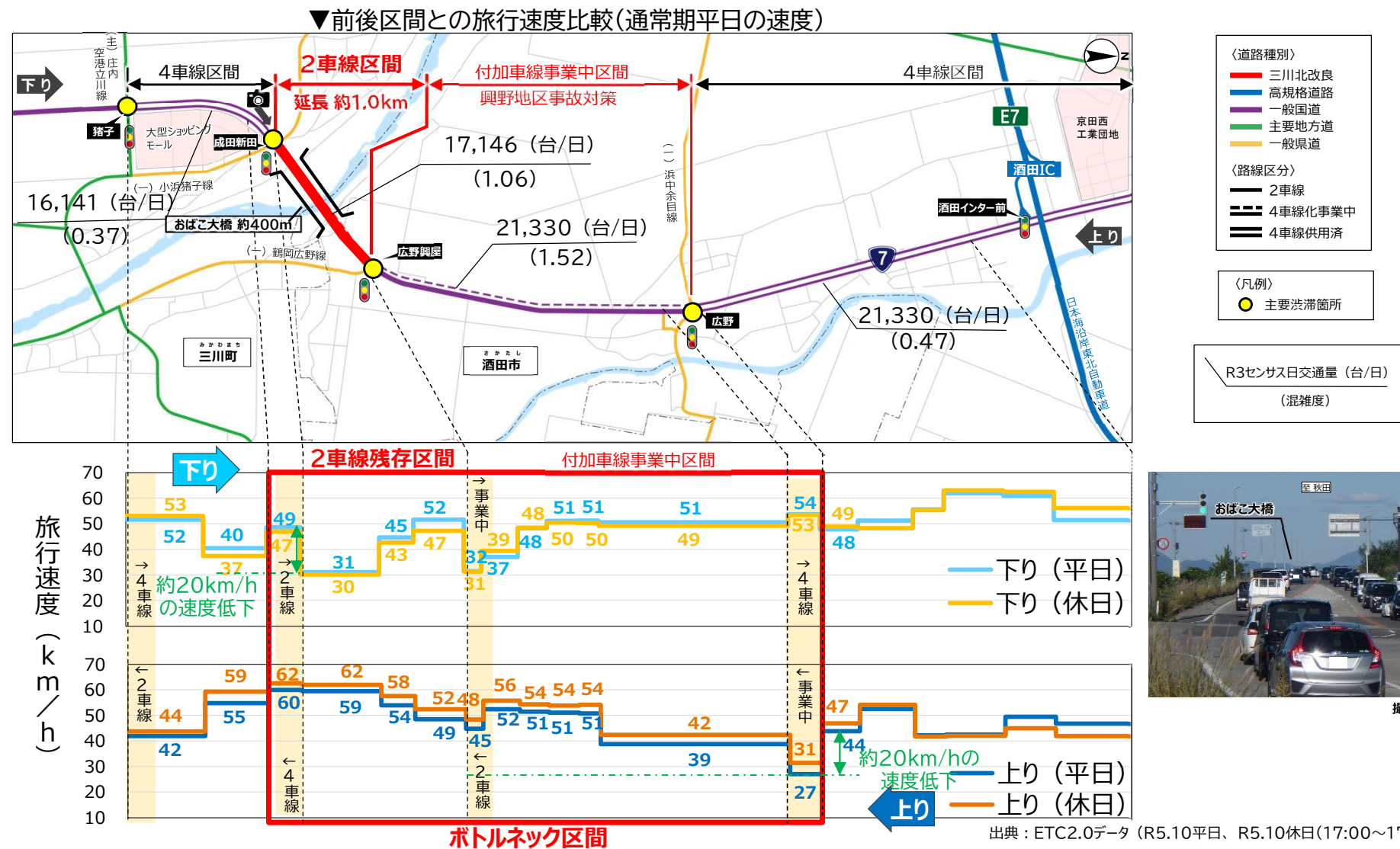
▼主要渋滞箇所・道路利用者団体位置図



3-5.【参考】庄内地域の道路交通課題

(2) 国道7号三川町酒田市境周辺の交通現況(平常時)

○三川町酒田市境は2車線区間であるが、前後区間は4車線整備と**ボトルネック区間**となっている。
○沿線には大型ショッピングモールや京田西工業団地等が立地。交通量は約17,000台/日と多く、ボトルネック区間には**主要渋滞箇所が3箇所存在**しており、平日、休日ともに速度低下が発生している。



撮影日: R5.9.24

出典: ETC2.0データ (R5.10平日、R5.10休日(17:00~17:15))

3-5.【参考】庄内地域の道路交通課題

(3) 2車線区間橋梁部拡幅の必要性

【広野興屋交差点の付加車線整備事業完了後、おばこ大橋を4車線化しない場合の速度推移について】

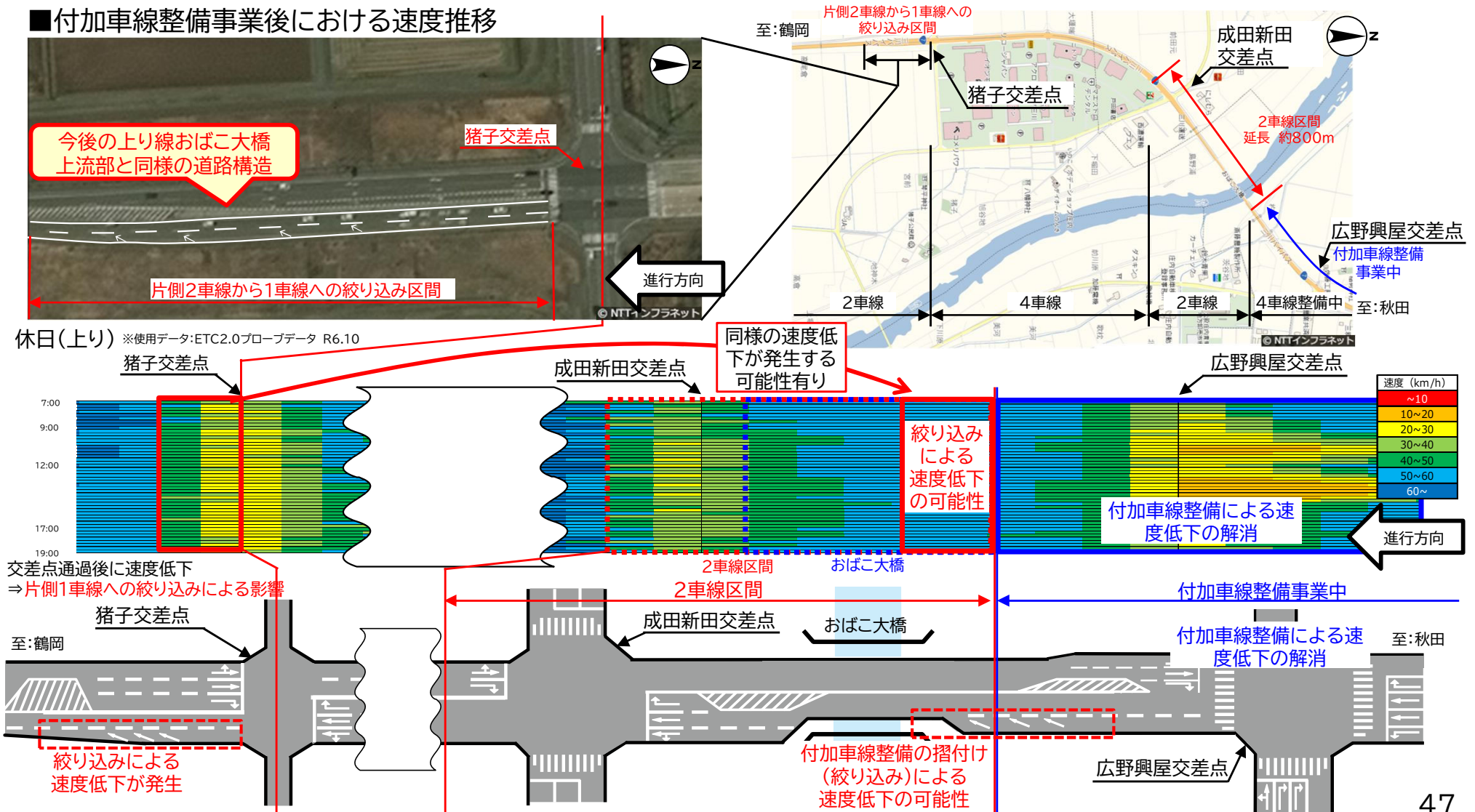
○ 広野興屋交差点での付加車線整備事業完了後、おばこ大橋終点側に猪子交差点流出部と同様に絞り込み区間が設置される。

○ 現状、猪子交差点においては、交差点通過後の絞り込み区間において速度低下が発生。

⇒今後、同様の道路構造となる2車線区間においても、絞り込み区間で速度低下が発生することが予想され、付加車線整備事業の効果を低減させる可能性が考えられる。

⇒おばこ大橋および橋の前後区間でも拡幅を行うことで、区間全体での速度低下の解消が見込まれる。

■付加車線整備事業後における速度推移



3-6. 今後検討箇所(山形河川国道事務所)

特定要件:通常期
要望有無:バス事業者

○今後は、国道112号元木交差点(山形市)において、ピンポイント対策(右折車待機位置の明示)を検討する。

国道112号 元木交差点

右折車待機位置の明示

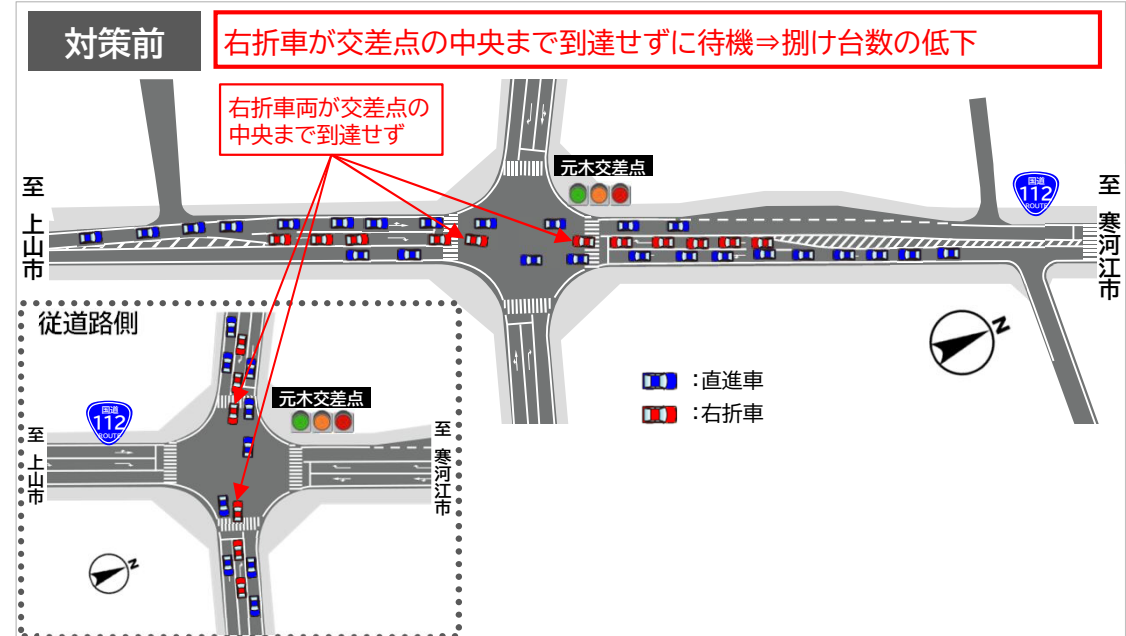
《位置図》



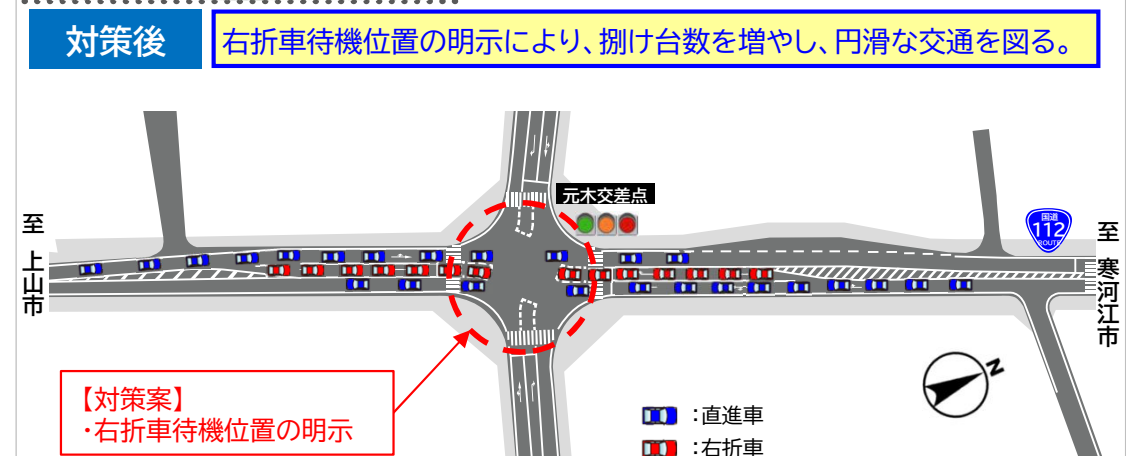
《交通状況》



《説明図》



《広域図》



3-7. ピンポイント対策まとめ

対象箇所	取り組み概要	実施者	実施時期	効果検証結果	今後の方針
①国道47号 本合海交差点 (新庄市)	・ グルーピング 舗装	山形県	R5.3.30完了	【冬期速度低下率】 ⇒対策を行った方向が 速度分析において特定 要件から外れる 【利用者実感】 ⇒対策効果発現を確認	・ R6年度冬期の走行 改善状況をR7年度 に検証予定。
②国道458号 万場町交差点 (新庄市)	・ 右折車待機位 置の明示	山形県	R5.10.2完了	【速度・渋滞継続時間】 ⇒対策を行った方向が 速度分析において特定 要件から外れる 【利用者実感】 ⇒対策効果発現を確認	・ 主要渋滞箇所の解 除。
③国道7号 広野興屋交差点 (酒田市)	・ 従道路右折車 線拡幅(1→2 車線)	酒田河川 国道事務所	R5、R6年度 ※今後も興野地 区事故対策とし て実施を検討	-	・ 今後は引続き、交差 点より北側において 防雪柵工や舗装等 を実施予定。
④国道121号 徳町交差点 (米沢市)	・ 右折車待機位 置の明示	山形県	R6.6.4完了	【速度・渋滞継続時間】 ⇒対策を行った方向が 速度分析において特定 要件から外れる 【利用者実感】 ⇒対策効果の一部発現 を確認	・ 対策完了後1年間の 走行改善状況をR7 年度に検証予定。
⑤国道112号 元木交差点 (山形市)	・ 現地踏査、 簡易作図	山形河川 国道事務所	今後検討	-	・ 今後検討予定。

4. TDM施策の取り組み

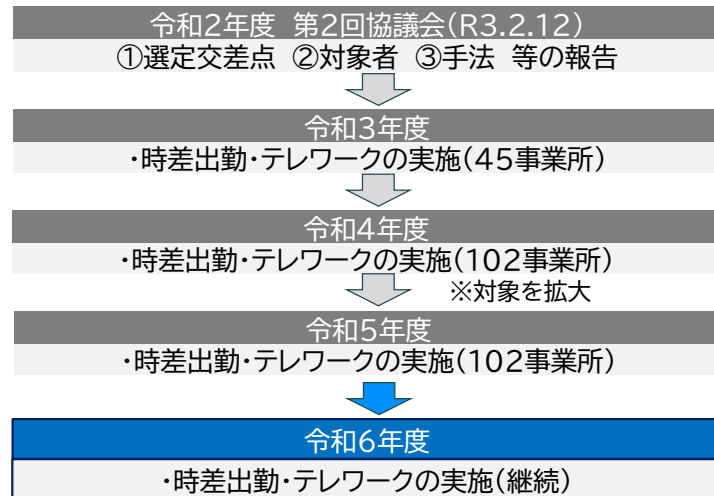
4-1. TDM施策について(米沢市)

令和3年度より継続実施

1. TDM施策の取組背景

- 最上川渡河橋りょう西側の2交差点には交通が集中
- 米沢八幡原中核工業団地に向かい東進する交通が多い
- コロナ禍緊急事態宣言下に交差点東進方向速度改善

2. TDM施策の実施フロー



3. 令和6年度の取組み概要

<渋滞緩和を目指す主要渋滞箇所>

- 米沢市役所前・相生橋西の2交差点
- 工業団地方面に向かい交差点を東進する方向

<取組対象>

- 八幡原中核工業団地、米沢オフィス・アルカディア、米沢駅周辺の102事業所の従業員(約5,300人)

<取組内容>

- 時差出勤・テレワーク※
- ※対象交差点の渋滞発生時間帯(7:30~8:30)を避けた前後時間帯の出勤、またはテレワークを推進

<実施期間>

- 令和6年11月1日~30日の平日
- 取組推進期間【令和6年11月11日(月)~15日(金)の5日間】を設定し周知

<取組の目標>

- 交差点の速度が20km/h以下となる交通量を上回る台数を削減目標として設定
- 削減目標は「米沢市役所前」で145台/h、「相生橋西」は122台/hを目標値として設定

<効果把握>

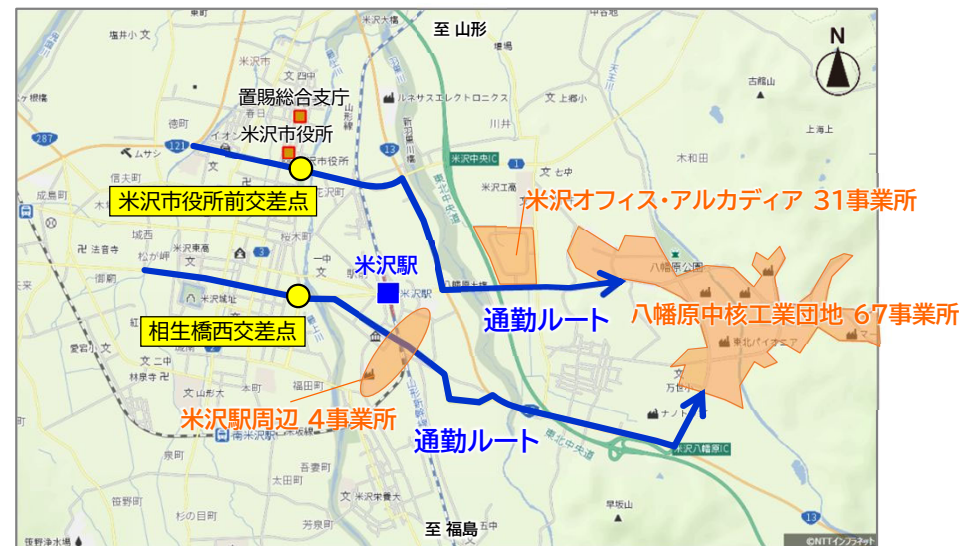
- 11月の1か月間を対象に交通量・旅行速度の変化を整理
- 取組対象者アンケートで状況等確認
- 現地確認を踏まえた課題検証
- 市内主要地点間の所要時間変化を整理

<交通流動把握(NEW)>

- 昨年度、米沢北バイパスが開通したため、米沢市内の交通流動を確認し、主要渋滞箇所の状況把握を行う。



▲TDM施策取組協力案内チラシ(R6年度版)



▲対象交差点と取組の対象事業所位置図

4-1. TDM施策について(米沢市)

令和3年度より継続実施

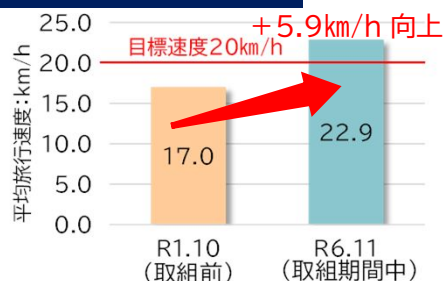
4. 令和6年度の取り組みによる効果

- 今年度の取り組みでは、交通量は目標値には至らなかったものの、速度は目標値を達成。
- 交通量は取組開始前後で減少から横ばいで推移しており、相生橋西交差点では各種TDMの取組による効果や米沢北バイパスの開通による経路変更の効果が限定的であった可能性がある。
- また、現地状況確認においても、信号捌け状況や速度は、概ね問題ないことを確認。

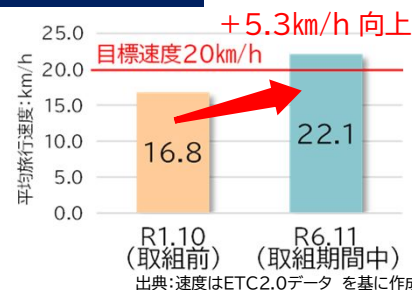
速度(7:30-8:30)の変化

米沢市役所前交差点	取組前:17.0km/h ⇒ 実績:22.9km/h(5.9km/h向上)
相生橋西交差点	取組前:16.8km/h ⇒ 実績:22.1km/h(5.3km/h向上)

<米沢市役所前交差点>



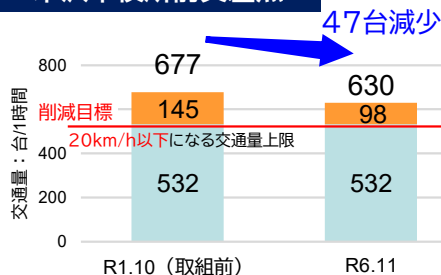
<相生橋西交差点>



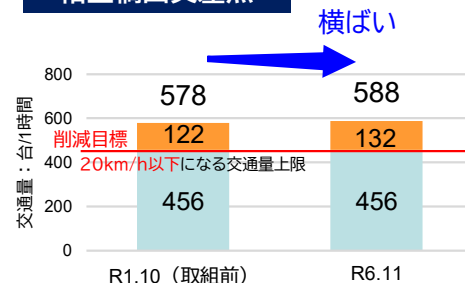
交通量(7:30-8:30)の変化

米沢市役所前交差点	取組前:677台 ⇒ 実績:630台(47台減少)
相生橋西交差点	取組前:578台 ⇒ 実績:588台(横ばい)

<米沢市役所前交差点>



<相生橋西交差点>



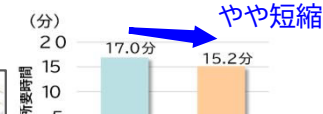
※交通量上限は、R1.10の平均速度が20km/h以下になる交通量から設定
出典:交通量は断面交通量情報(JARTIC)を基に作成

所要時間の変化

- 取組推進期間において、成島交差点から八幡原中核工業団地への所要時間はやや短縮、御廟2丁目交差点から米沢駅西口への所要時間は横ばい。

▼主要地点間ルートによる所要時間の変化

①成島交差点⇒八幡原中核工業団地



②御廟2丁目交差点⇒米沢駅西口

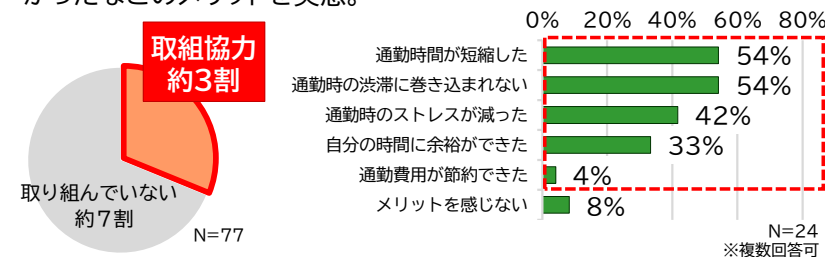


※国土地理院地図を加工して作成

出典:ETC2.0プローブデータ(平日、7:30-8:30)

アンケート結果

- TDM施策の取り組みに約3割から協力が得られた。
- 取組を行った方の半数以上が通勤時間の短縮や渋滞に巻き込まれなかったなどのメリットを実感。



現地状況確認結果

⇒信号捌け状況、速度は概ね問題ないことを確認



▲米沢市役所前交差点東進方向の走行状況(2024/11/11)



▲相生橋西交差点東進方向の走行状況(2024/11/11)

4-1. TDM施策について(米沢市)

令和3年度より継続実施

5. これまでの取り組みによる効果検証結果の総括

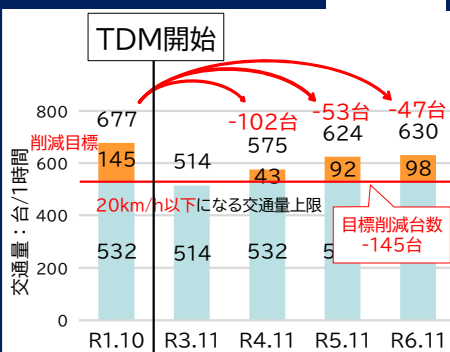
- 4年間の継続的な取り組みにより平均速度は上昇傾向で、今後の取り組み意向は上昇してきている
- 一方で取組への参加状況や取組参加によるメリットの実感は横ばいになっている。

交通状況

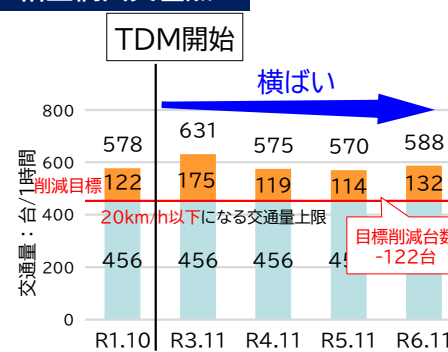
- 取り組みにより、交通量は目標値までの減少に至らなかったものの、速度は上昇・改善傾向にあり令和6年度の取組では目標を達成した。
- また、現地状況確認においても、信号捌けや速度には、概ね問題ないことを確認した。

【交通量の推移】

<米沢市役所前交差点>



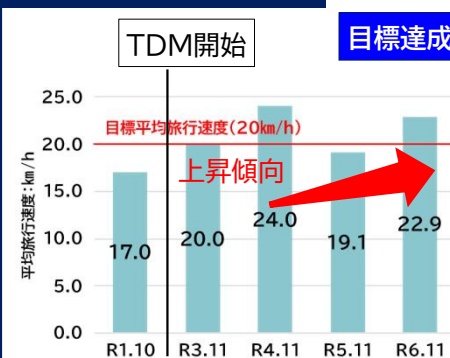
<相生橋西交差点>



※交通量上限は、R1.10の平均速度が20km/h以下になる交通量から設定
出典：交通量は断面交通量情報(JARTIC)を基に作成

【速度の推移】

<米沢市役所前交差点>



<相生橋西交差点>

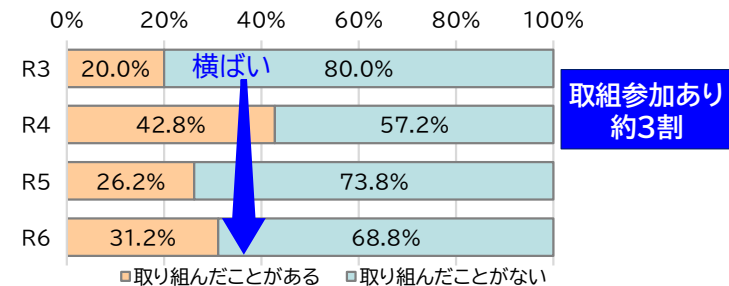


アンケート結果

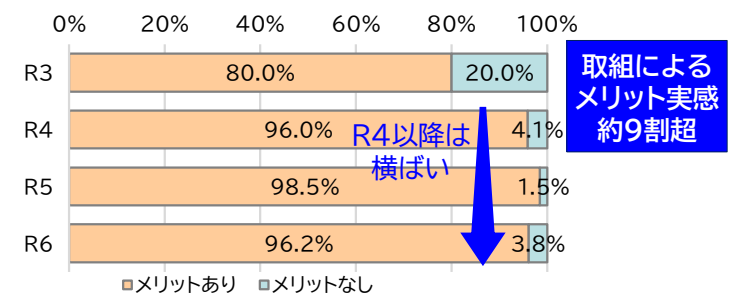
- TDM施策の取り組みへの参加協力は約3割で横ばい。
- 取り組みを行った方の約9割が通勤時間短縮等の効果を実感。
- 今後もTDM施策に取り組む意向がある方が約6割いることが確認できた。

※約5,300人に取組協力依頼。うち、取り組みに参加し回答いただいた方のご意見を集計

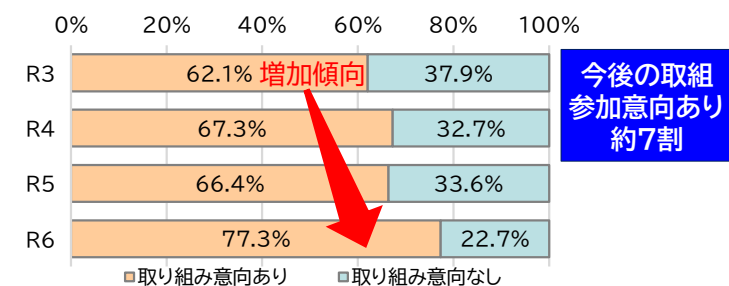
【取り組みへの参加状況】



【参加によるメリットの実感の推移】



【今後の取り組み意向】

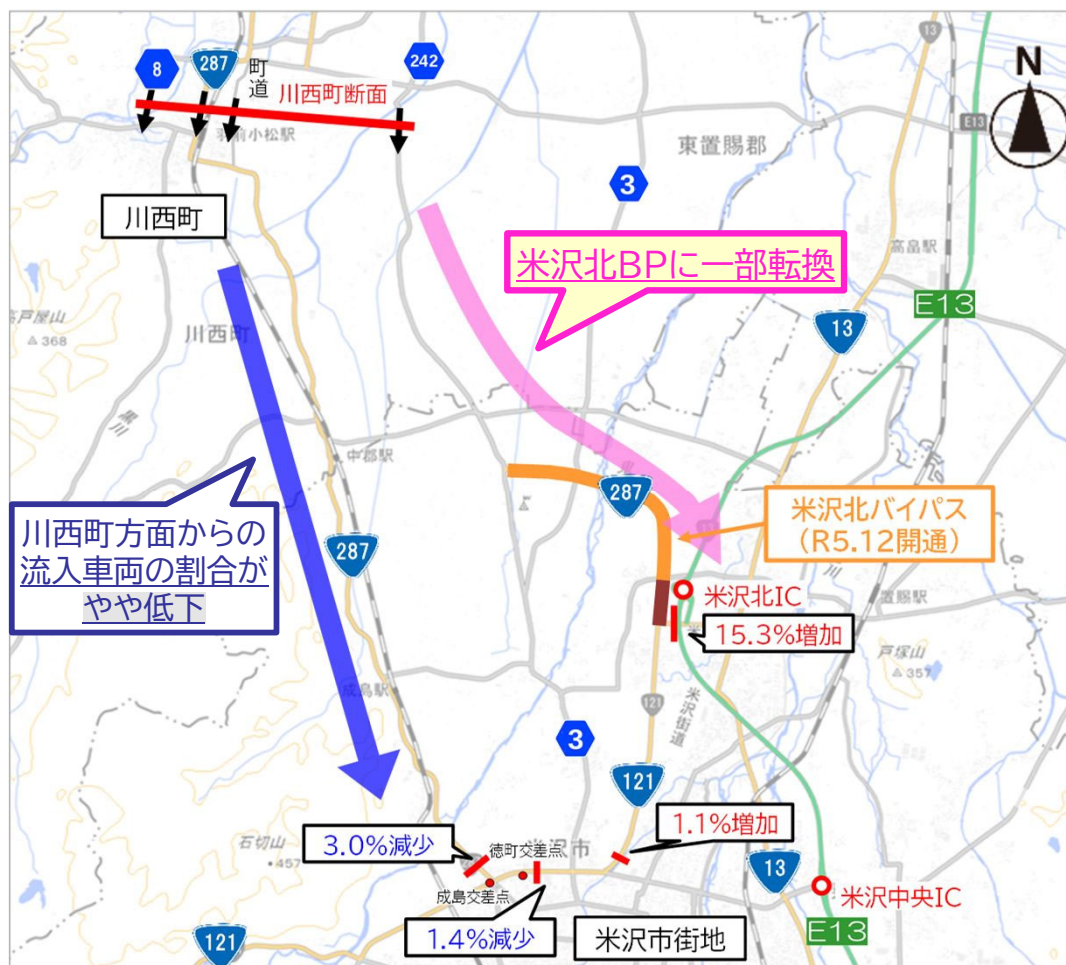


4-1. TDM施策について(米沢市)

令和3年度より継続実施

6. 周辺環境の変化

- 米沢北バイパス開通に伴い、川西町方面から米沢市街地部への交通が国道287号から米沢北バイパス経由に一部転換。
- これにより、米沢市内の主要渋滞箇所においても交通量は一部転換傾向にある。
- 今後も開通の変化を注視しながら、TDM施策を運営していく。



▲川西町断面(南進方向)通過車両の米沢北バイパス供用前後における通過断面の比較

※川西町断面(南進方向)通過車両を100%とした場合の 米沢北バイパス開通前後における割合

資料:ETC2.0データ(様式1-2) 開通前R5.10、開通後R6.10

7. 今後の取り組み予定

令和6年度までの取り組み結果

一定の効果を確認も横ばい傾向

速 度	20km/h以上に上昇傾向
交通量	わずかに減少～横ばい
アンケート結果	約3割協力・約6割取組意向



令和7年度の取り組み

取り組みの継続

- 参加協力の広報の実施
- 速度・交通量データによる効果検証を継続確認
- 交通状況を現地で適時確認

4-2. TDM施策について(山形市)

令和3年度より継続実施

- 令和4年度より、約2,000人の市職員を対象として、ノーマイカー通勤を本格実施。
- 令和6年度も令和5年度と同規模で、引き続きノーマイカー通勤を実施中。
- 令和6年度は新たにノーマイカー通勤の課題となっている事項等を関係部署等と共有。
- 令和7年度以降も引き続きノーマイカー通勤を実施予定。併せて、課題等の解決策を検討し解消を目指す。

1. TDM施策の取組背景

- 山形市地域公共交通計画に基づき、自家用車から公共交通への利用転換を促すとともに渋滞緩和を図るため、山形市の取組みの一つとして、山形市職員によるノーマイカー通勤の取組みを実施。

2. TDM施策の実施フロー

- 令和3年度に試行。(R3.10.4～)
- 令和4年度から本格実施に移行し、令和6年度も継続的に実施。

【令和3年度】

ノーマイカー通勤の実施(試行)※ 実施率 68.4%

※約200人対象

【令和4年度】

ノーマイカー通勤の実施※ 実施率 50.2%

※約2000人対象

【令和5年度】

ノーマイカー通勤の実施※ 実施率 51.9%

※約2000人対象

【令和6年度】

ノーマイカー通勤の実施※
課題となっている事項等の共有、解決策の検討・実施(NEW)

※約2000人対象

実施率は来年度
第1四半期算出予定

3. 令和6年度の取組み概要

▼令和6年度の取組み概要(山形市役所)

項目	概要
取組内容	<概要> ノーマイカー通勤 <対象期間> R6.4.1(月)～R7.3.31(月)
実施対象	市役所職員 約2,000人
実施内容	・実施期間は、公共交通機関、徒歩、自転車の利用に積極的に取り組む ・やむを得ず、マイカーを利用する必要がある場合はエコドライブや相乗りの実施により、マイカーの運転に伴い排出される二酸化炭素の削減に取り組む
数値目標	・実施率70%(毎月第2・4金曜日の実施状況を集約)
広報 (職員向け)	・グループウェアにてSuica対応駅の拡大やMaaSの紹介等、公共交通に関するお役立ち情報を掲載

▼令和6年度の取組の総括

下記のアンケート結果について、関係機関と情報共有。
来年度以降も継続して、解決に向け取り組む予定。

【アンケート結果】ノーマイカー通勤実施のための改善要望

- ・時差出勤制度の改善
- ・通勤手当の改善
- ・通勤時間にあったダイヤ調整
- ・その他(バス停の増設、バス待ち環境の改善、定時退庁ができる業務量の改善等)

4. 令和7年度の取組み予定

- 令和6年度実施率算出
- 課題事項等の検討結果報告

4-3.TDM施策について(酒田市)

今後実施予定

1. TDM施策の実施候補箇所の選定

- 工業団地および大規模施設(ショッピングモール等)周辺の主要渋滞箇所およびETC2.0プローブデータより混雑が確認できる箇所を抽出し、実施候補先を選定。

【候補箇所の選定条件】

- ① 事業予定の箇所ではない
 - ② モニタリング結果で主要渋滞箇所の条件に合致している
 - ③ 渋滞が主道路(国道)側で発生している
- ⇒条件に全て合致している京田交差点を対象に、実施可能性を検討。
⇒京田交差点が位置している国道7号に対して国道112号が並行していることに加え、京田交差点付近に工業団地が2つ位置し、周辺企業の協力を得やすいことから、TDM施策の実施による効果が期待される。

■TDM施策実施候補箇所

▼ 候補箇所(抜粋)

条件に全て合致している箇所を対象箇所とした

No	周辺施設・工業団地	周辺交差点名	①事業予定なし	②モニタリング条件	③国道側の渋滞
A	イオン酒田南店	大宮交差点	○	○	×
B	工業団地：2箇所	京田交差点	○	○	○
C	アクロスプラザ三川、イオンモール三川	猪子交差点 イオン三川前交差点	×	○	○
D	イオンタウン酒田店	ロックタウン酒田店前交差点	○	×	○
E	工業団地：1箇所	余目土堤下交差点	○	×	○
F	ショッピングモール(イオン・ダイソー等)	伊勢原町交差点	○	○	×

■今年度TDM施策実施検討箇所(京田交差点)

通常期* *ETC2.0 R3年度のデータ

▼ 平均旅行速度と渋滞継続時間

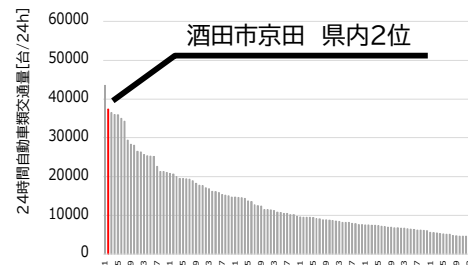
交差点識別	路線名	朝夕ピーク時 平均旅行速度	渋滞継続 時間	R3評価結果
酒田市京田①	国道7号	14.6 km/h	150 分	●
酒田市京田③	国道7号	35.3 km/h	0 分	

主要渋滞箇所の基準値に合致
【基準値】
○朝夕ピーク時平均旅行速度：朝夕平均のいずれかが20km/h以下
○渋滞継続時間：連続120分以上

京田交差点



▲ 京田交差点位置図



▲ 山形県内国管理交通調査区間の交通量昇順
※使用データ：R3道路交通センサ

2. 実施候補箇所の現状整理

- 7:30~8:00の時間帯において京田交差点を通行するまでの時間が大幅に増えていることを確認。
- 7:30~8:00の時間帯に現地の状況を確認すると、右折待機車両に直進車が阻害されている状況や、中央分離帯側の車線の利用が少ないことを確認。
⇒交通量調査においては、7:30~8:20に渋滞が発生していることに加え、右折交通量の増加も確認。

■所要時間分析



▼ 所要時間分析結果

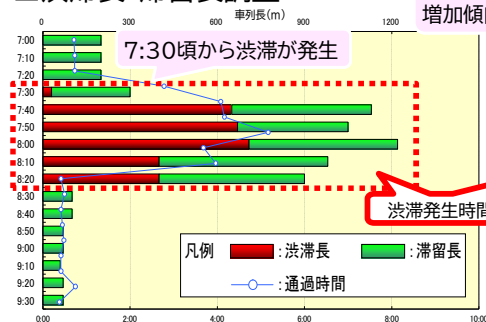
時間	所要時間(分)		7:30-8:00の所要時間との差	
	右折	左折直進	右折	左折直進
7:00~7:30	4:36	5:20	-7:02	-1:13
7:30~8:00	11:38	6:33	-	-
8:00~8:30	6:03	5:27	-5:35	-1:05
8:30~9:00	5:54	6:05	-5:45	-0:28
9:00~9:30	5:53	4:02	-6:03	-2:31
9:30~10:00	4:28	4:34	-7:10	-1:59



▲ 京田交差点 朝の状況(写真①)

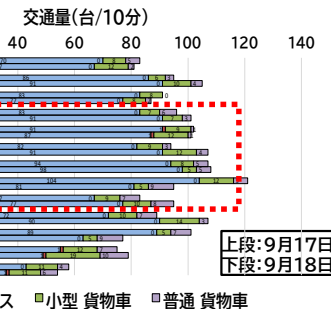
▲ 分析対象

■渋滞長・滞留長調査



▲ 渋滞長・滞留長調査結果

7:00過ぎから交通量は増加傾向にある



▲ 交通量調査結果 右折交通量(車種割合)

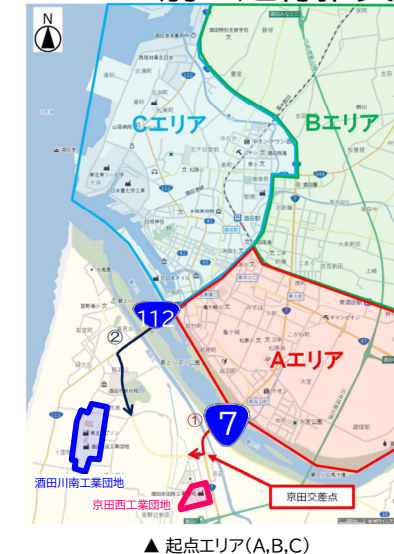
4-3.TDM施策について(酒田市)

今後実施予定

3.TDM施策の実施計画・実施可能性の検討

- TDM施策実施に向け、需要の削減目標および妥当性を確認。
- ＜削減目標＞
 - ・京田交差点の右折車線に収まり、直進車阻害を防ぐことが可能な「1サイクル当たり5台程度＝需要の2割」の削減を目標として設定。
- ＜削減量の妥当性検証＞
 - 1時間あたり120台
 - ・ETC2.0:所要時間・経路分析⇒**交差点利用者の起点・終点の把握**
所要時間の短い時間帯・経路を把握
 - ・アンケート調査:工業団地周辺の企業⇒**実際の利用状況把握**

■エリア別の通行推奨ルートの整理



【Aエリア】推奨経路

- ・京田西工業団地、川南工業団地ともに国道7号京田交差点の通行推奨
⇒ 時差出勤、右折車線利用の案内

【Bエリア】推奨経路

- ・京田西工業団地は全時間帯、国道7号の京田交差点の通行を推奨
⇒ 時差出勤、右折車線利用の案内
- ・川南工業団地は、**7:30～8:10の時間帯に限り、国道112号の通行を推奨**
⇒ 7:30～8:10の時間帯は、京田交差点を通行しない方が早い

【Cエリア】推奨経路

- ・京田西工業団地、川南工業団地ともに国道112号の通行推奨
⇒ 全時間帯、京田交差点を通行しない方が早い

■アンケート調査結果 ✓ 実際の利用状況を把握 n=192

- アンケートに回答いただいた企業だけで、**目標値の約40%に相当**
京田交差点通過⇒京田西工業団地

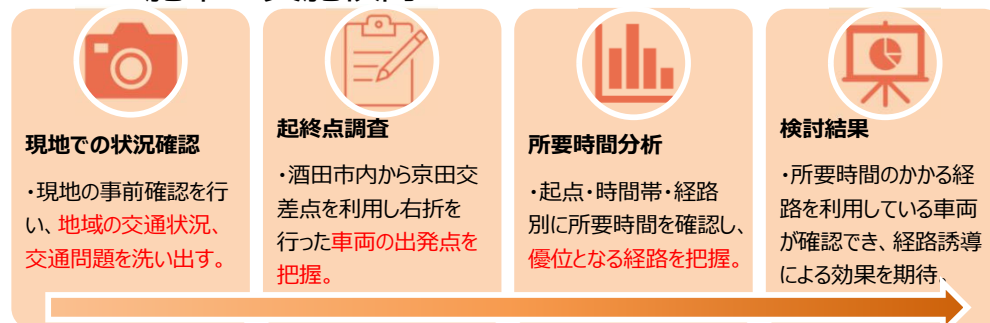
エリア	時間帯	人数 (全時間帯に対する割合)	A・B・Cの 7:30-8:30に対する割合
A	7:30-8:30	45 (12.9%)	23.4%
B	7:30-8:30	42 (12.0%)	21.9%
C	7:30-8:30	6 (1.7%)	3.1%
合計		93 (26.6%)	48%

50人は所要時間の長い経路を利用している

京田交差点通過⇒酒田川南工業団地

エリア	時間帯	人数 (全時間帯に対する割合)	A・B・Cの 7:30-8:30に対する割合
A	7:30-8:30	48 (13.7%)	25.0%
B	7:30-8:00	36 (10.3%)	18.8%
B	8:00-8:30	7 (2.0%)	3.6%
C	7:30-8:30	8 (2.3%)	4.2%
合計		99 (28.3%)	52%

■TDM施策の実施検討フロー



■妥当性検証

✓ 起終点把握



▲ 起点エリアと経路(OD分析)

✓ 所要時間が短い経路・時間帯の把握



▲ 経路別所要時間分析

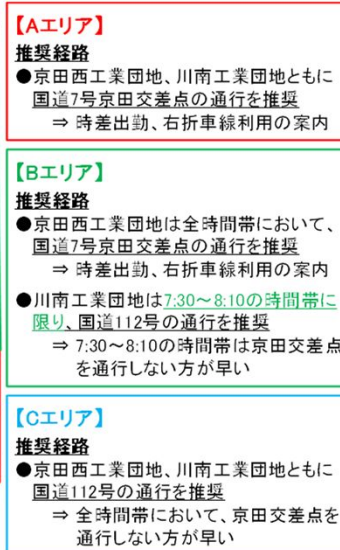
今後実施予定

- 来年度以降の実施に向けた広報方法を整理。
 - ⇒京田西工業団地・酒田川南工業団地エリアの企業全社に集合形式で説明会を実施予定
 - ⇒対象者が理解しやすい施策を展開することで工業団地内の企業に対する周知がしやすくなるようエリア別にTDM施策の実施内容を検討
- 今年度検討した施策については、起点エリア(A、B、C)毎、目的地毎に分割し、対象となる施策がわかりやすいように整理。

【TDMの主な施策内容】

- ①国道7号から国道112号への経路変更
- ②右折車線の偏り解消のための車線誘導

①:京田西工業団地エリアの企業 : 53社
②:酒田川南工業団地エリアの企業 : 6社 合計:59社



4-4. TDM施策まとめ

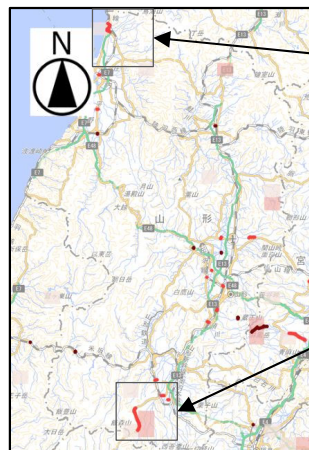
箇所	R6取組内容及び成果	R7取組内容
米沢市 ・米沢市役所前交差点 ・相生橋西交差点	<取組内容> ・取組内容:時差通勤・テレワーク ・対象企業:102事業所程度 ・取組期間:R6.11.1～R6.11.30 <成果> ・状況変化 米沢市役所前交差点:取組前17.0km/h ⇒期間中22.9km/h 相生橋西交差点:取組前16.8km/h ⇒期間中22.1km/h ・参加者意見等:通勤時間が短縮等メリットを実感	・継続実施
山形市 ・山形市役所周辺	・取組内容:ノーマイカー通勤 ・対象者:山形市役所職員(約2,000人) ・取組期間:R6.4.1～R7.3.31	・令和7年度以降も引き続きノーマイカー通勤を実施予定。併せて、課題等の解決策を検討し解消を目指す
酒田市 ・京田交差点(候補)	<取組内容> ・R7年度の実施に向けた整理 <成果> ・目的地ごとの推奨経路の提案 ・TDM施策内容説明＋アンケート調査 ⇒対象:京田交差点付近企業(5社) ・チラシ、看板イラスト作成	・酒田市京田にてTDM施策を実施予定

5. 観光渋滞対策の取り組み

5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

○第1回協議会で提示した令和6年度GWの交通状況の中でも、平日と比べて、GWの混雑が顕著なエリアは、山形県で2箇所。今回、GWの混雑が顕著なエリア2箇所において、検証等を行った。

<広域図>



**国道7号
道の駅鳥海ふらっと付近(遊佐町)**

特に混雑が見られたエリア
(混雑地域と混雑区間が重複するエリア)

国道121号大峠付近(米沢市)

特に混雑が見られたエリア
(混雑地域と混雑区間が重複するエリア)

混雑地域		1割増加地域
		3割増加地域
混雑区間		平日より1.5倍以上時間がかかる混雑区間
		うちGW期間で3日以上混雑

※混雑地域(3割増加地域)、混雑区間(GW 3日以上混雑)、特に混雑が見られたエリアを抜粋して掲載
※メッシュ平均速度データから、所要時間が平常時より1割以上増加した地域を混雑地域とする。
※区間平均速度データから、平均所要時間が平日の1.5倍以上の区間を混雑区間とする。

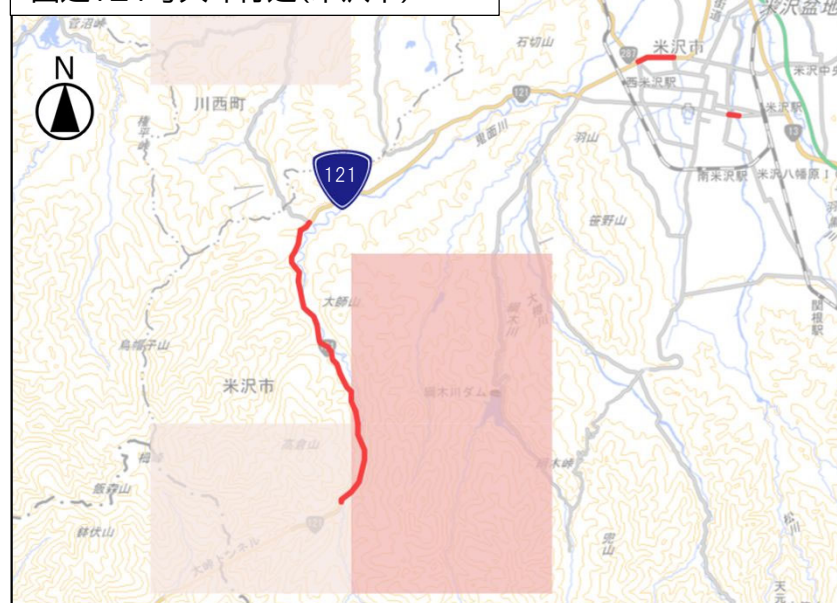
<詳細図>

国道7号道の駅鳥海ふらっと付近(遊佐町)



<詳細図>

国道121号大峠付近(米沢市)



5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

山形県遊佐町
(国道7号
道の駅鳥海ふらっと)

○国道7号の遊佐町付近では、「道の駅 鳥海 ふらっと」等が位置しており、GWやお盆期間において交通量がピークとなる。

○1年間のうち、交通量の上位がGW期間である。(上位5位のうち、1位、2位、4位がGW期間。)

■渋滞エリア概要



▲ 位置図

■遊佐町の観光地・イベント等

道の駅 鳥海ふらっとには、地元の新鮮な海の幸・山の幸が並ぶ産直売店、お食事処などがある。遊佐町の観光入込客数は山形県内で5番目に多い。

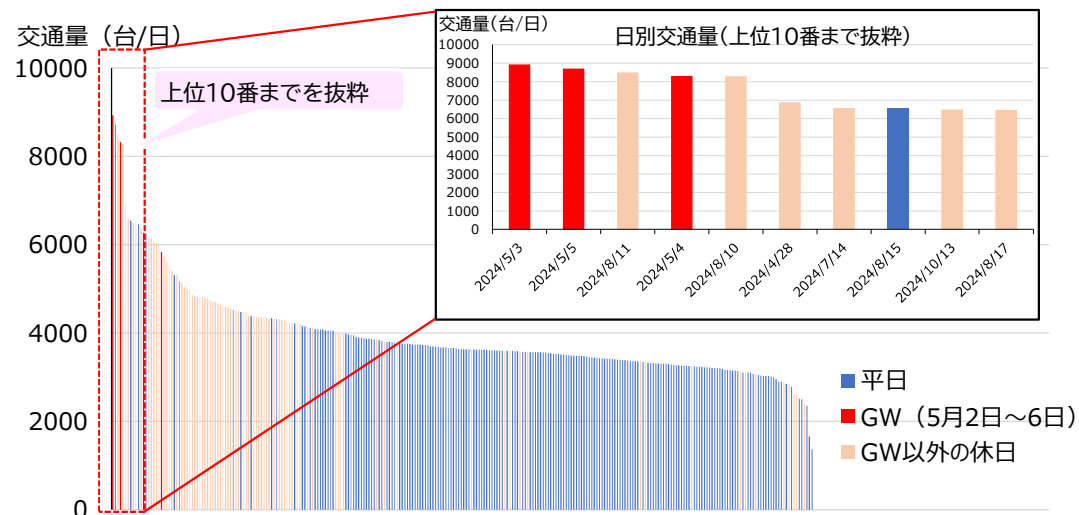


▲ 道の駅 鳥海ふらっと(外観写真)

▼ 4月～8月の観光イベント

開催時期	観光イベント
4月	中山河川公園桜まつり
4月	鳥海ブルーライン開通・春山開き
5月3日・4日・5日	鳥海山太物忌神社蔵岡口之宮例大祭(大御幣祭・花笠舞)
5月15日	諏訪部祭(遊佐四大祭)
7月中旬～8月中旬	十六羅漢岩ライトアップ
7月下旬	十六羅漢まつり
7月下旬	遊佐町民花火大会
8月6日・15日・20日	杉沢比山(国指定重要無形民俗文化財)
8月下旬	鳥海山SEA TO SUMMIT

■日別交通量分析(遊佐比子IC～遊佐菅里IC)



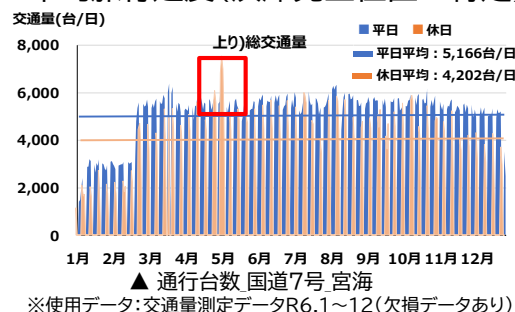
▲ 高速道路通行台数 上下総交通量
※使用データ:交通量測定データR6.1～12(欠損データあり)

5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

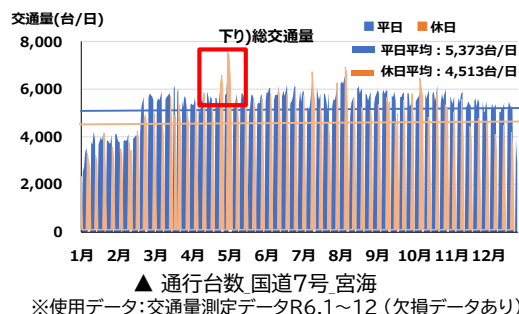
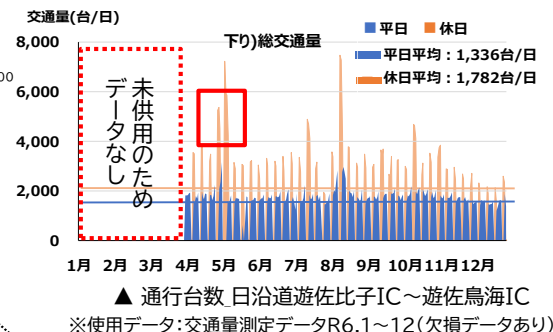
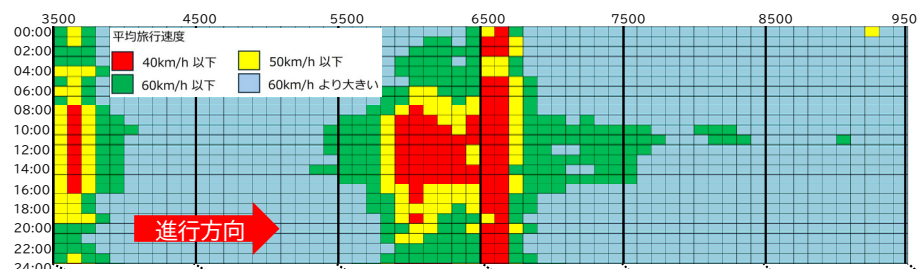
山形県遊佐町
(国道7号
道の駅鳥海ふらっと)

OGW期間は、国道7号・日本海沿岸東北自動車道において上下線ともに交通量が増加傾向にある。
○道の駅付近の区間において、上下線ともに速度低下が発生しているが、上り線側においては
2.5km程度速度低下が延伸している。

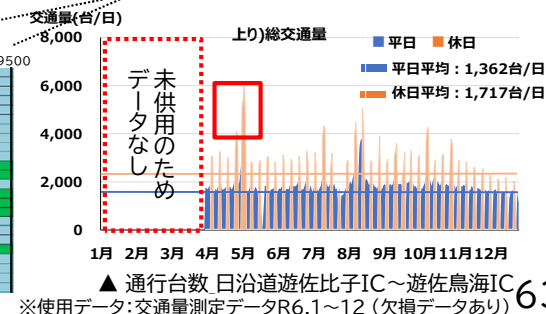
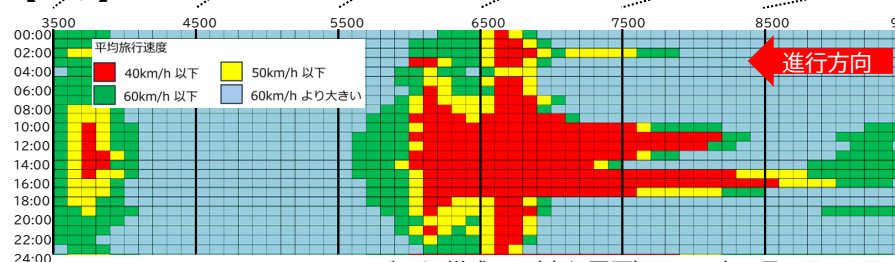
■平均旅行速度(渋滞発生位置の特定)



【下り】



【上り】



※ETC2.0データ 様式1-2(走行履歴) 2024年5月3日~6日

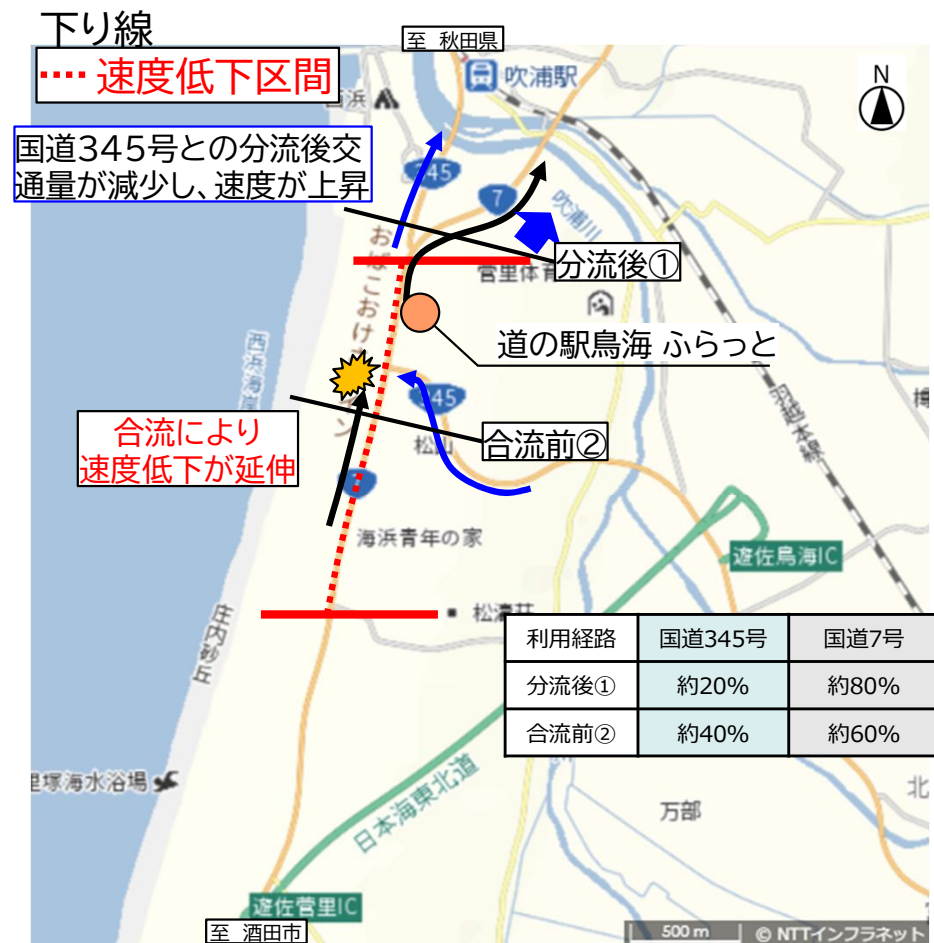
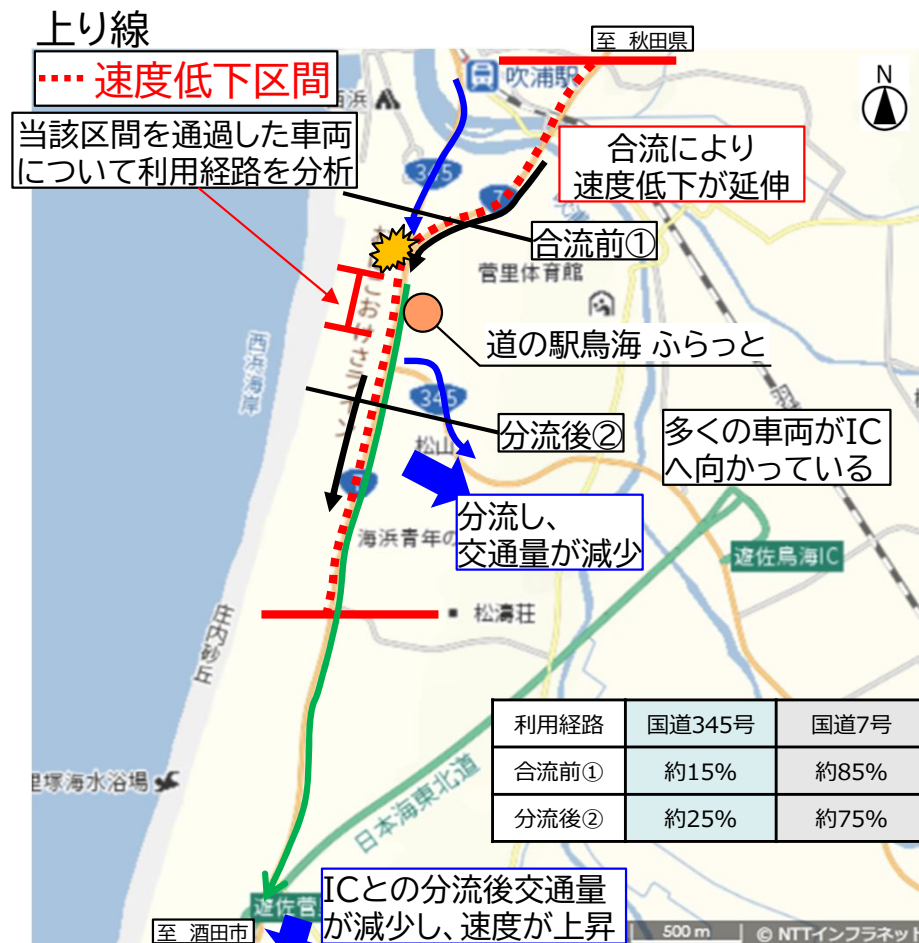
5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

山形県遊佐町
(国道7号
道の駅鳥海ふらっと)

速度低下要因の分析

- 走行履歴を分析すると、道の駅を利用する車両よりも、道の駅の前を通過し、「遊佐鳥海IC」等に向かう車両が多い。(上り線は酒田市・鶴岡市、下り線は秋田県方面へ向かう車両が大半を占めている。)
- 国道7号と国道345号が重複する区間において、GW期間の交通量増加によって速度低下が発生している。
- 上下線とも「国道7号」と「国道345号」の分流後、交通量が分散され速度が上昇。
⇒GW期間中における交通量増加、幹線道路の合流により、道の駅前の区間で速度低下が発生しているものであり、道の駅施設の利用(観光)に起因した速度低下の可能性は低いことが推察される。
- 当該区間周辺では、遊佐象潟道路の事業が進められており、開通(延伸)により、当該区間の速度低下解消の可能性も考えられる。

■ 渋滞発生箇所の要因分析、利用経路分析(10:00)

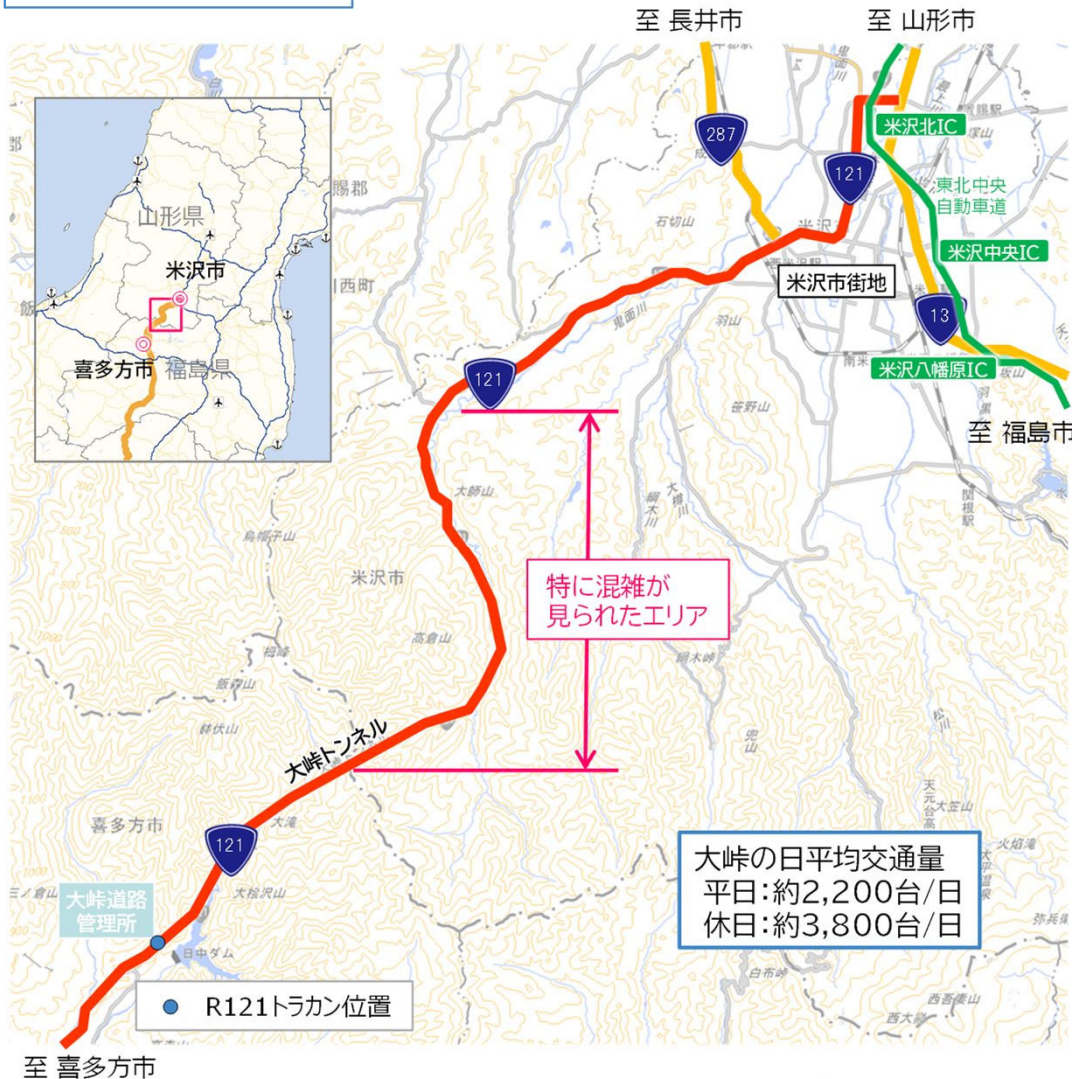


5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

山形県米沢市
(国道121号 大峠)

- 国道121号大峠では、平日よりも休日の交通量の方が多く、GWや秋の行楽シーズンの週末がピークとなっている。
- 特に、上杉まつりは、4月下旬からGWにかけて開催される著名な祭りで、例年約160万人以上が訪れるため、山形県米沢市・福島県喜多方市間の交通が集中し、その時期の休日は年間を通して最も交通量が多い。

■ 混雑エリアの概要



■ 上杉まつり

「上杉まつり」は、米沢上杉家の家祖である上杉謙信を祀る上杉神社、名君上杉鷹山、上杉景勝、直江兼続などを祀る松岬神社の春の例大祭に始まり、市内はまつり一色となる。

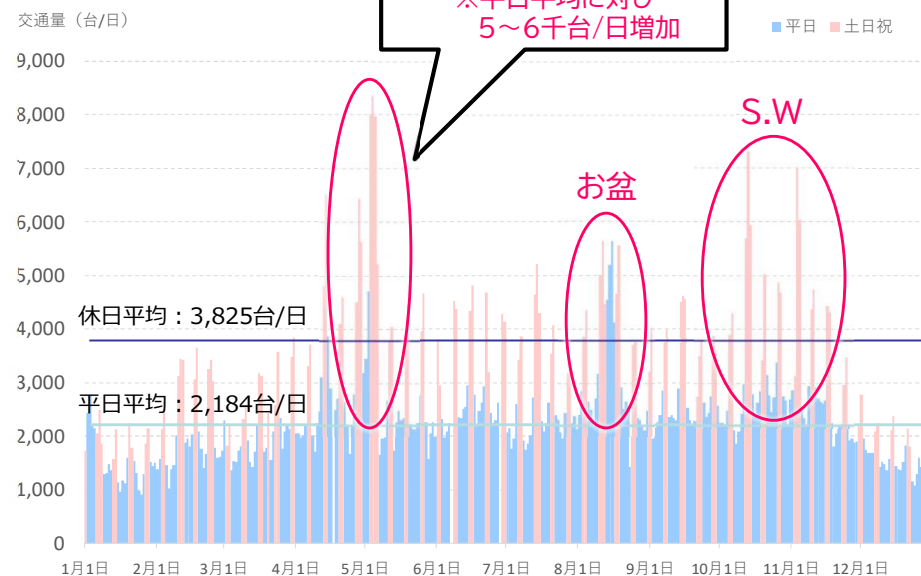
2024年は4月29日から5月3日まで開催され、国内外から約168万人が訪れた。



写真:米沢四季のまつり委員会HP

■ トラカン交通量

大峠(上下計)



※GWおよび前週の時間帯別交通量は次ページ参照

・出典: 国土地理院地図

・出典: R121大峠トラカンデータ 2024年1月1日~2024年12月31日

5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

山形県米沢市
(国道121号 大峠)

- 平日は通勤や物流の影響と考えられる午前中や夕方の交通量の増加が確認できる。
- GWの交通量は、上杉まつり等により、米沢市と喜多方市間で平日と比較して交通量が4倍以上増加している。
- 特に小型車の交通量は平日の5倍以上増加しており、観光等の移動による交通量の増加と推察できる。

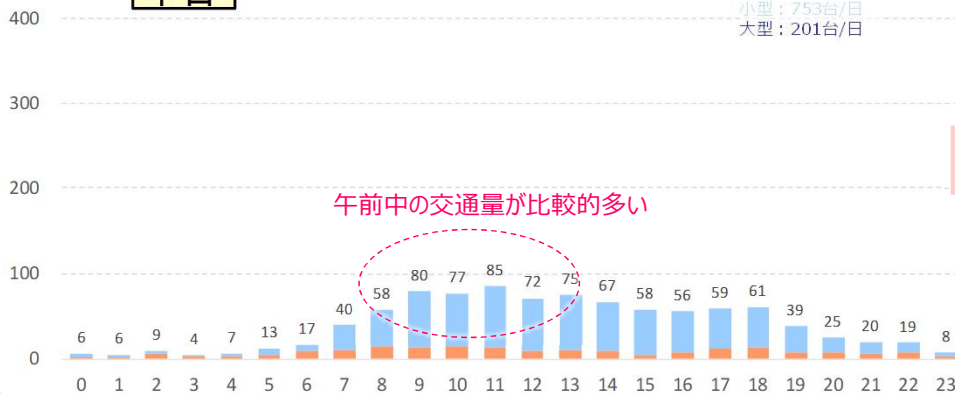
■トラカン交通量

大峠(上り/喜多方⇒米沢)

交通量(台/時) **平日**

24時間平均 954台/日
昼間12時間平均 784台/12h
1時間平均(昼間) 65台/h

小型: 753台/日
大型: 201台/日

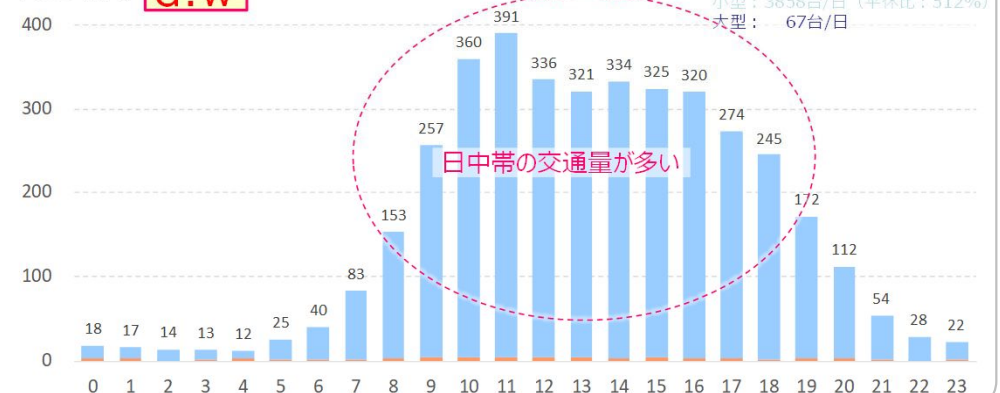


24時間平均交通量: 約3,000台/日増加

交通量(台/時) **G.W**

24時間平均 3,925台/日 (平休比: 411%)
昼間12時間平均 3,398台/12h (平休比: 433%)
1時間平均(昼間) 283台/h (平休比: 435%)

小型: 3858台/日 (平休比: 512%)
大型: 67台/日

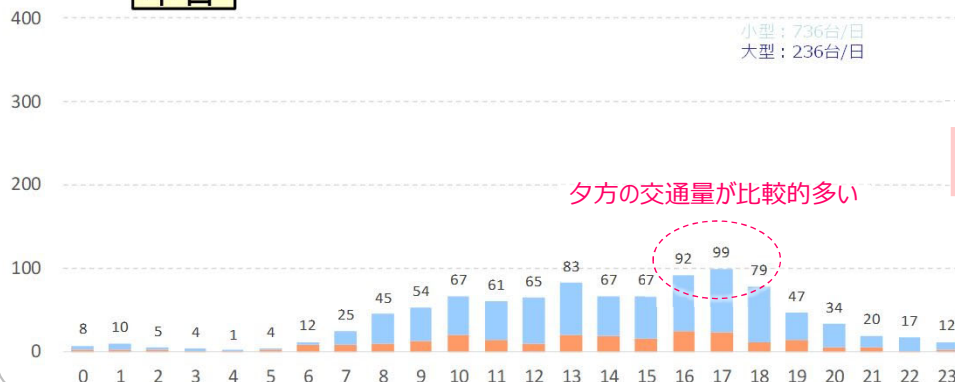


大峠(下り/米沢⇒喜多方)

交通量(台/時) **平日**

24時間平均 971台/日
昼間12時間平均 800台/12h
1時間平均(昼間) 67台/h

小型: 736台/日
大型: 236台/日



24時間平均交通量: 約3,300台/日増加

交通量(台/時) **G.W**

24時間平均 4,271台/日 (平休比: 440%)
昼間12時間平均 3,532台/12h (平休比: 442%)
1時間平均(昼間) 294台/h (平休比: 439%)

小型: 4188台/日 (平休比: 569%)
大型: 83台/日



5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

山形県米沢市
(国道121号 大峠)

- GWにおける大峠では、上杉まつり等に向かう交通が集中。しかしながら、日交通容量のうえでは問題無し。
- 令和4年8月豪雨の災害復旧事業による交通規制(片側交互通行)も速度低下の影響と考えられる。
- 来年度引き続き、速度分析等を行い、速度分析結果や道路利用者の声等も踏まえ、今後の情報案内のあり方を検討。

■ 混雑エリアの概要



■ 大峠の混雑要因

- ✓ GW中は、上杉まつり等により、米沢・喜多方間の交通が 大幅に増加
⇒上り・下り方向ともに平日よりも3千台程度増加
- ✓ 米沢市入田沢地区で災害復旧事業中(R7.12完成予定)
⇒工事による交通規制実施(R4.10.24~片側交互通行)※交通規制も混雑を助長している可能性有
- ✓ 当該区間は市街地(観光地)から約25kmと離れているため、観光による混雑では無く、GWにおける一時的な交通量の増加と考えている。

■ 来年度予定

- ✓ 速度分析を行い、道路構造(道路線形等)の影響などを確認
- ✓ 速度分析結果や道路利用者の声等も踏まえ、情報案内のあり方を検討

【対策案(イメージ)】

混雑情報の案内による、出発日、出発時間の分散 等

5-1. 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況

山形県米沢市
(国道121号 大峠)

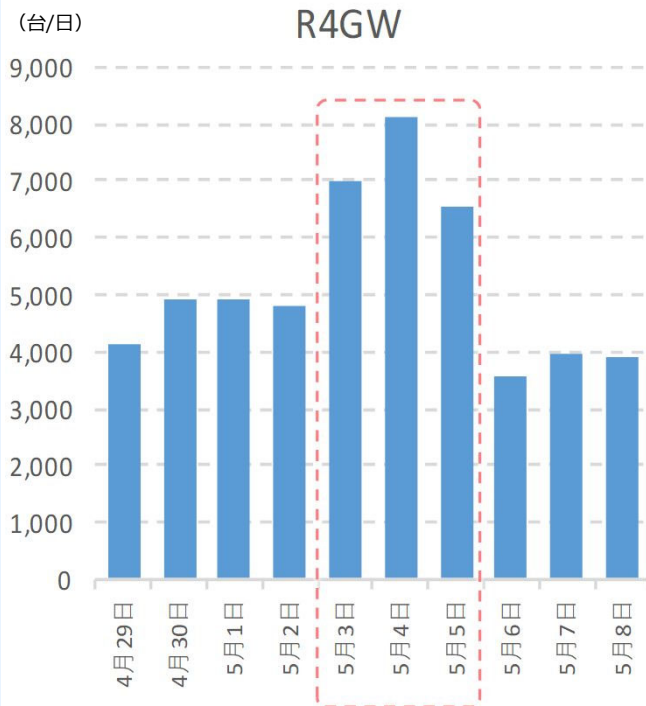
■ 参考

・R4～R6(3ヶ年)におけるGWの交通量

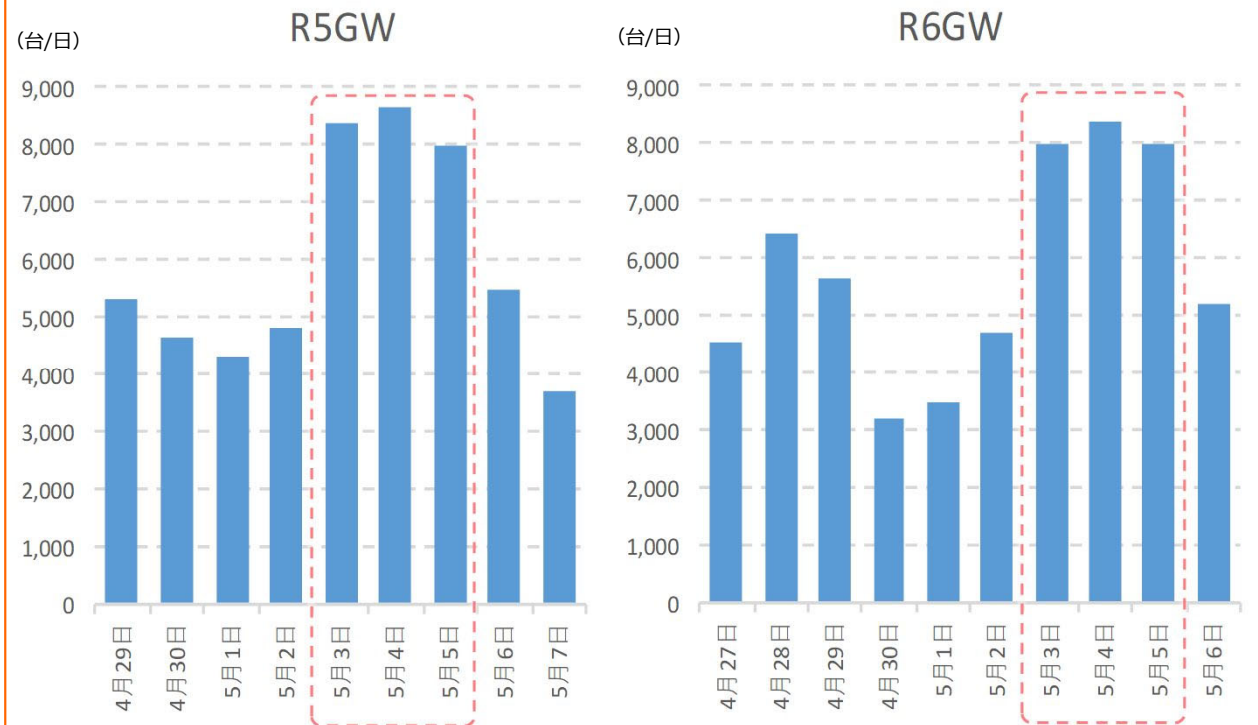
◆R4～R6の3ヶ年において、GW期の交通量は、交通量が増加傾向にある。

◆米沢市入田沢地区における災害発生前後で、この傾向に大きな変化はない(R4.10.24～片側交互通行)。

災害発生前



災害発生後



※R4.10.24より災害復旧事業により、片側交互通行を行っているが、交通規制前から交通量が多いことを確認

5-2. 庄内地域における国道112号観光渋滞対策(赤川花火大会)

1. 赤川花火大会開催時における所要時間・交通量分析(来場時)

OR6年大会は、8月17日にR5年同様の座席数5万人分で実施。
 OR6年の渋滞対策は、広報チラシ・渋滞注意喚起看板・SNSでの情報発信を行った。
 OR6年は、R5年と比べ、5時間で659台の差(約132台/h)があるが、所要時間はR5年と比較しても同程度であり、渋滞は発生していない。

■花火大会の概要

	第30回 赤川花火記念大会	第31回 赤川花火大会
開催日時	令和5年8月19日(土)	令和6年8月17日(土)
観覧席数	5万人	5万人



■花火大会時の渋滞対策内容



▲チラシ

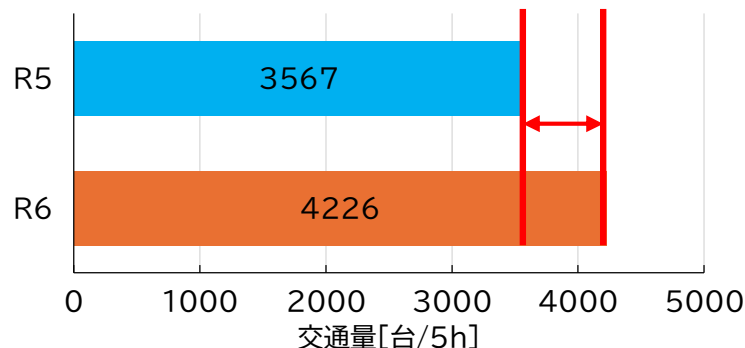


▲渋滞注意喚起看板



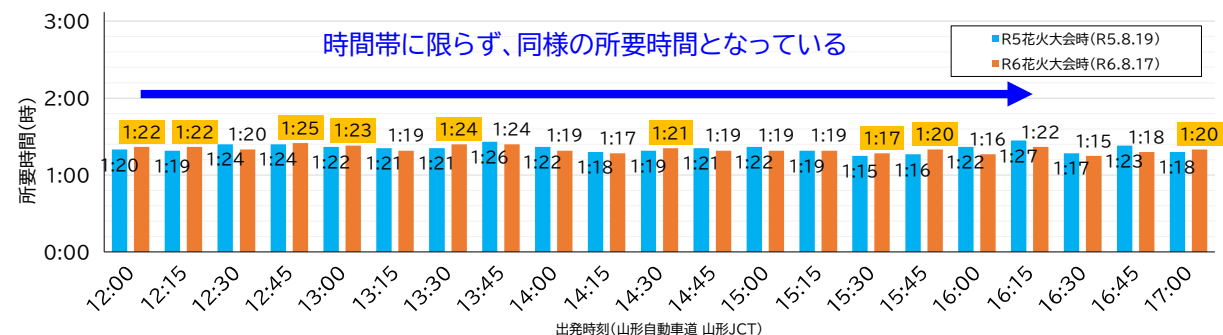
▲SNS

■下り交通量分析 (12:00~17:00合計)



※使用データ: 月山道路車両感知器データ
R5.8、R6.8

■来場時(下り線)所要時間分析(山形JCT→鶴岡駅)※使用データ: ETC2.0プローブデータ R5.8、R6.8



5-2. 庄内地域における国道112号観光渋滞対策(赤川花火大会)

2. 赤川花火大会開催時における所要時間・交通量分析(帰宅時)

○帰りの時間帯: 上り線側において、月山道路で渋滞が発生。所要時間: R5年と比べR6年の方が長い。

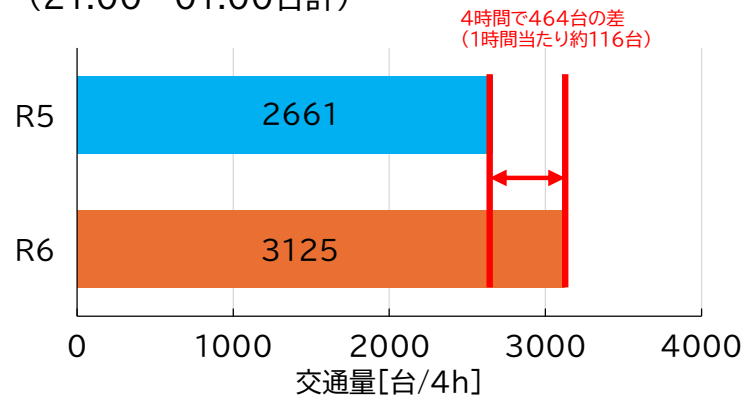
【渋滞要因分析】

○R6年はR5年と比べ、4時間で464台(約116台/時)の車両増加が月山道路で見られ、渋滞の要因と考えられる。

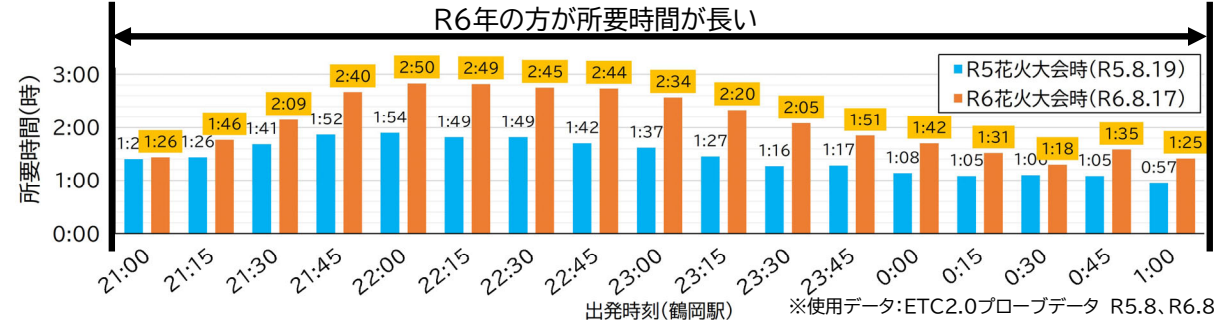
○交通量が増加した要因としては、国道47号が豪雨災害により片側交互通行になった影響で、通常国道47号を利用するドライバーが国道112号を利用したためと推察。

○国道112号の利用増加に伴い、湯殿山IC出口付近で山形道利用車との合流摩擦によりが渋滞が発生したと推察。

■上り交通量分析 (21:00~01:00合計)

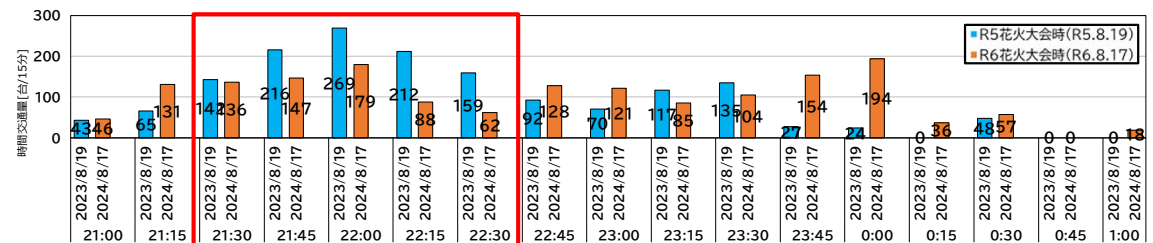


■帰宅時(上り線)所要時間分析(鶴岡駅→庄内あさひIC→湯殿山IC→月山道路→月山IC→山形JCT)

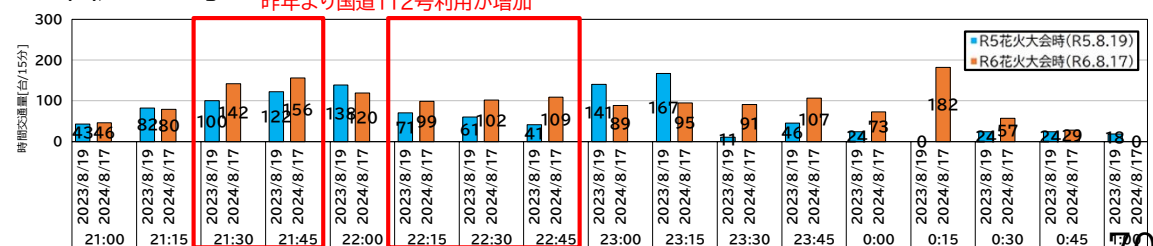


■山形道・国道112号利用率比較分析_上り線

○高速道路(山形道) ※使用データ: ETC2.0プローブデータ R5.8, R6.8
月山道路車両感知器データ R5.8, R6.8



○国道112号



■高速道路渋滞情報

○22時00分に投稿

NEXCO東日本(東北) @e_nexco...・2時間
【東北地方 高速道路渋滞情報】
21時55分現在 21:55に
E48山形道(上り線) 湯殿山IC付近(庄内あさひIC→湯殿山IC方面)を先頭に渋滞1km
要因: 交通集中
最新の交通状況▼drivetraffic.jp/?area=02&lv=1 #渋滞



○22時15分に投稿

NEXCO東日本(東北) @e_nexco...・1時間
【東北地方 高速道路渋滞情報】
22時08分現在 約15分後には
E48山形道(上り線) 湯殿山IC付近(庄内あさひIC→湯殿山IC方面)を先頭に渋滞6km
要因: 交通集中
最新の交通状況▼drivetraffic.jp/?area=02&lv=1 #渋滞



出典: NEXCO東日本(東北) Xより

5-3. さくらんぼ期における国道48号渋滞対策(仙台市上愛子地区)

○令和6年度の主な実施メニューは以下のとおり。5月31日～7月7日まで実施。

時間分散

入園料金割引

「さくらんぼ観光果樹園」
早め 9:00～10:00 または
遅め 14:00～15:00 の入園で、
1人500円割引!

快適なさくらんぼ狩りは「早め」と「遅め」!!

東根市観光物産協会加盟のさくらんぼ観光果樹園に
早め 9時～10時 or 遅め 14時～15時
の入園で! 入園の際にスマホで入場登録すると

6/15(土)・16(日)・22(土)・23(日)・29(土)・30(日)の6日間
入園料 **500円OFF!** 果樹王国ひがね
観光ガイド ひがねとこむ

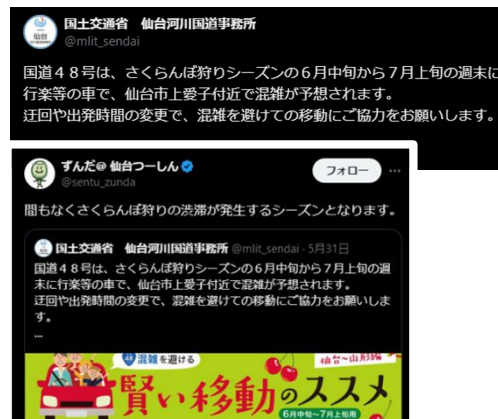
※6/15～6/30の土日のみ実施

広報

広報チラシ(WEB)



SNS



各種HP



事務所HPのほかに、
観光関連機関等のHPに
おいて情報発信を強化

経路分散

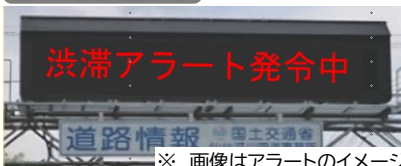
道路情報板

宮城県内12箇所
山形県内 5箇所



※道路情報板での案内は5/31(金)～
7/7(日)まで実施

渋滞アラート



※渋滞アラートは、6/15(土)～
6/30(日)の土日に実施

現地案内看板

30箇所

※案内看板は5/31設置、
7/8撤去
※R5は22箇所実施、
R6は8箇所追加



横断幕

10箇所



リアルタイム情報板

R6新規

宮城県内 2箇所



※リアルタイム情報板での案内は、
6/15(土)～7/7(日)の土日に実施



リアルタイム
動画の発信

特設HP

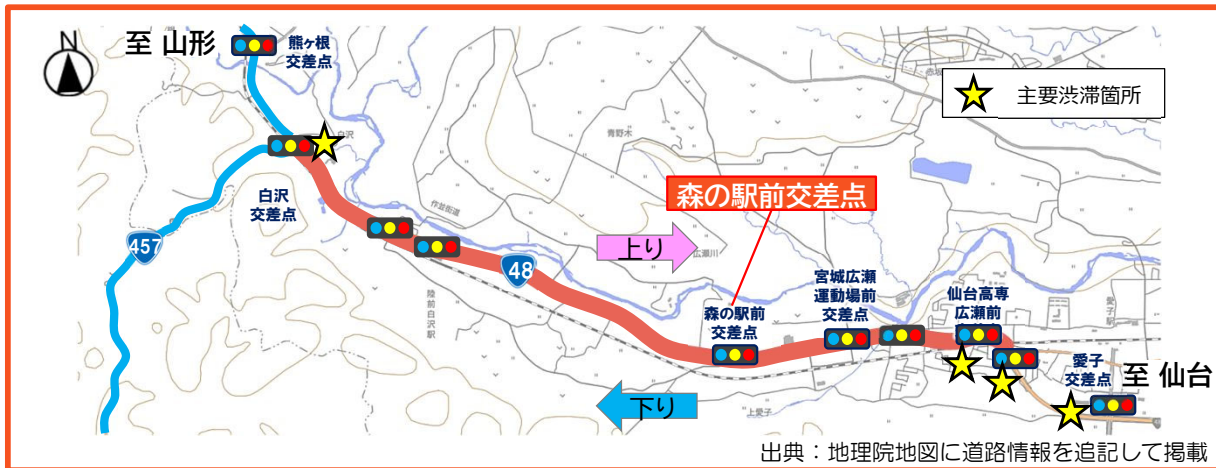
R6新規

リアルタイム通過
時間の発信



5-3. さくらんぼ期における国道48号渋滞対策(交通量・渋滞長)

- 令和6年の交通量は、令和5年と比較し若干の減少傾向。山形県内のさくらんぼの不作が要因とも考えられる。
- 令和6年の渋滞長は、令和5年と比較して減少。



さくらんぼ観光果樹園入込数

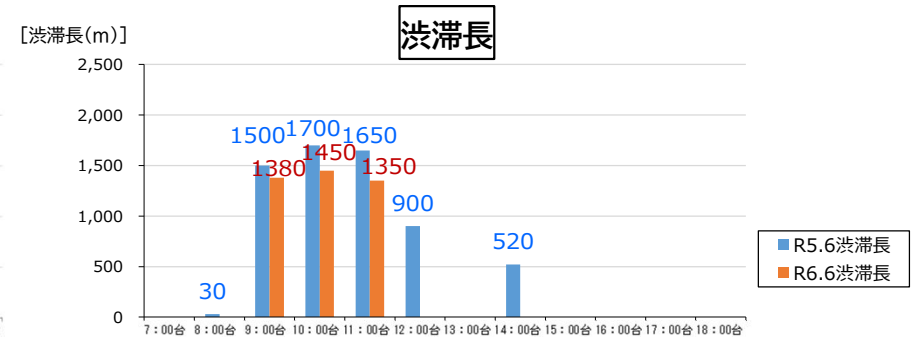
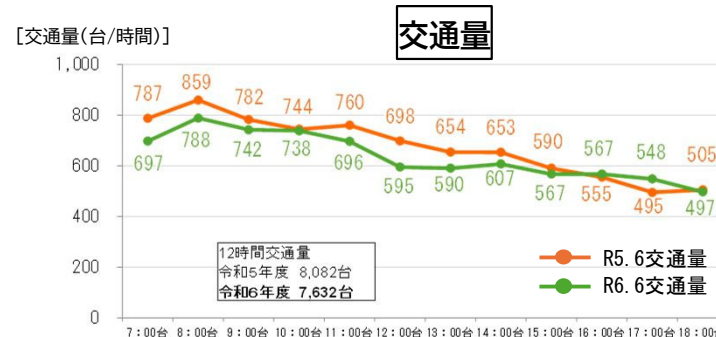
	入込数(単位:千人)			過年度比	
	令和6年度	令和5年度	令和元年度	令和5年度比	令和元年度比
県内客	29.1	36.5	59.2	79.7%	49.1%
県外客	173.3	205.9	371.9	84.2%	46.6%
合計	202.4	242.4	431.1	83.5%	47.0%

さくらんぼの不作により
観光果樹園への需要が
減少したと考えられる。

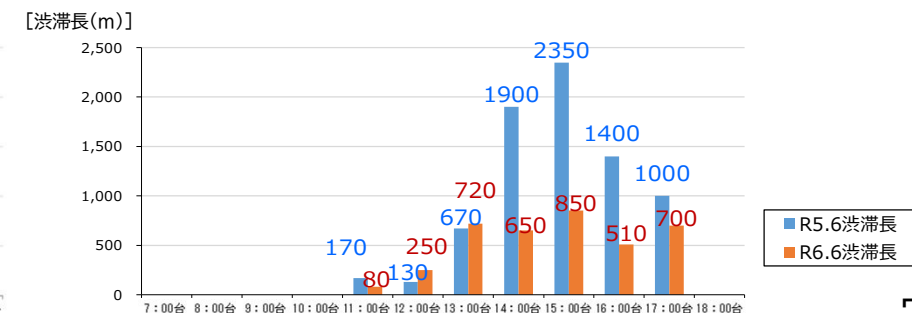
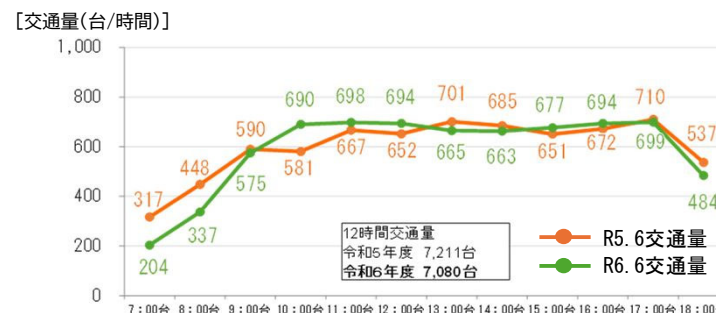


森の駅前交差点における交通量・渋滞長 出典:各年度の交通量調査結果 R5.6.17(土)、R6.6.16(日)

下り(山形方面)



上り(仙台方面)



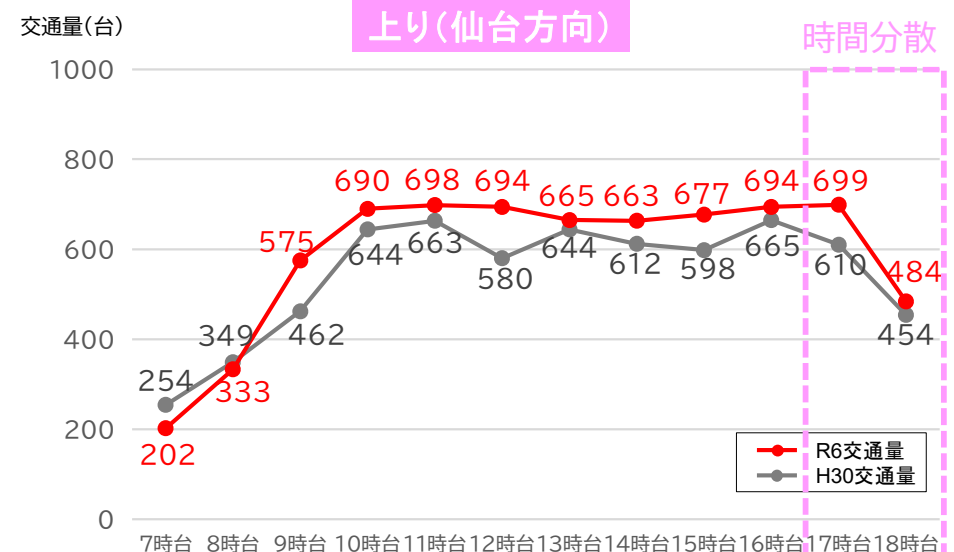
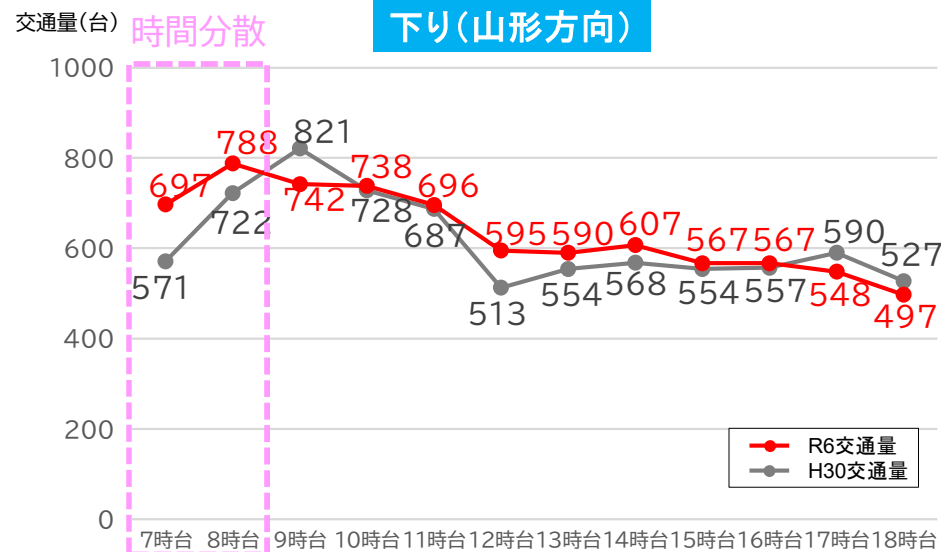
5-3. さくらんぼ期における国道48号渋滞対策(時間分散)

○下り(山形方向)は7時台～8時台、上り(仙台方向)は17時台～18時台において、過年度から交通量が増加しており、交通の時間分散の定着が確認される。



出典:R6, H30交通量調査(森の駅前交差点)
H30年6月17日(日)、R6年6月16日(日)

森の駅前交差点 時間帯別交通量(昼間12時間)



5-3. さくらんぼ期における国道48号渋滞対策(経路分散)

○リアルタイム情報板で国道48号の所要時間が80分以上を示したのち、国道48号の経路利用率は令和5年よりも減少し、同時に山形自動車道の利用率が若干増加している。

⇒リアルタイム情報提供により、混雑状況に反応して、若干の経路変更が行われた可能性がある。

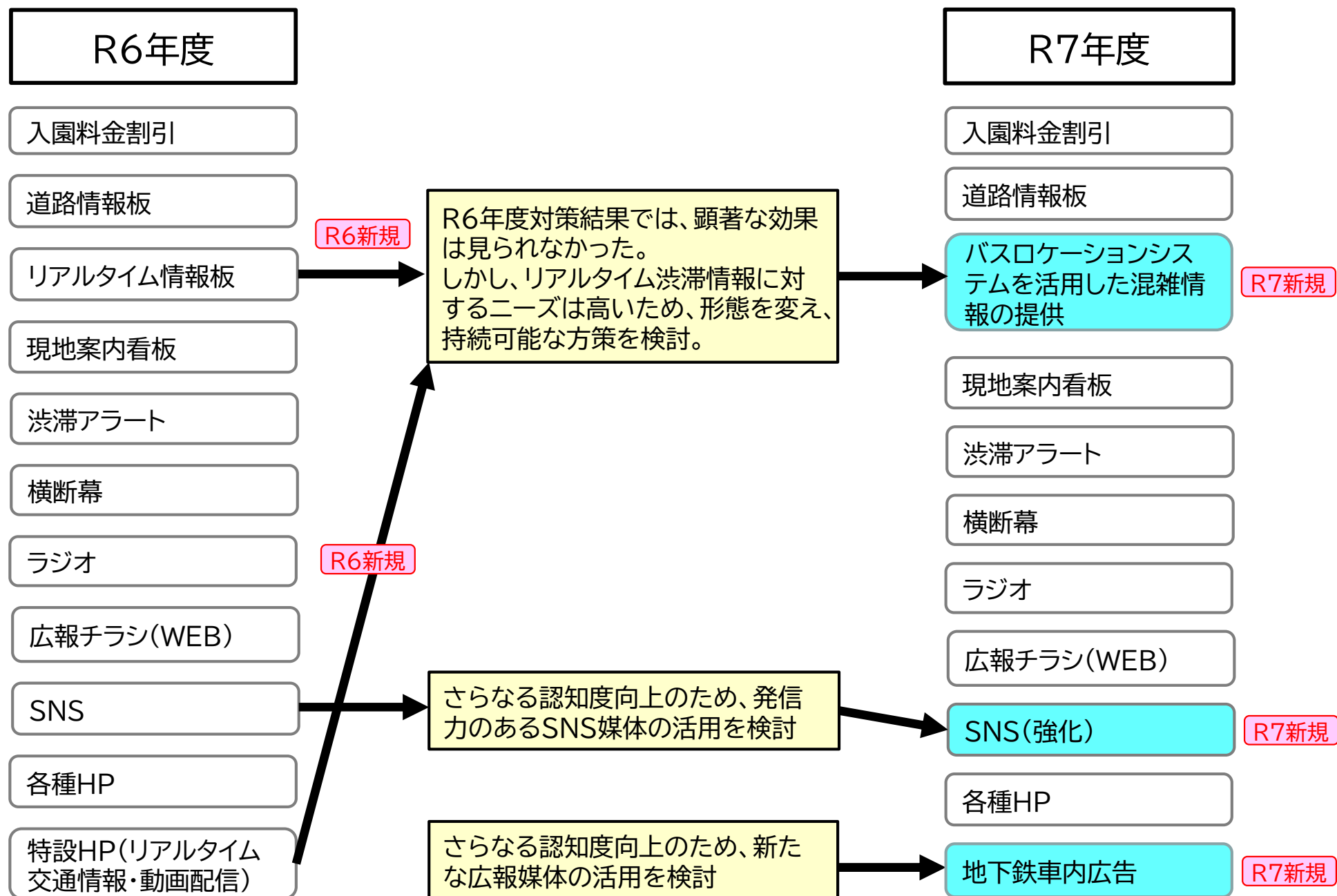


*R6.6.15とR5.6.17の比較

表示内容 (国道48号の 所要時間)	経路利用率の 集計時刻	経路利用率の差分(R6-R5)*		期待する効果の発現
		山形自動車道	国道48号	
75分	09:00-09:15	-5%	-1%	
80分	09:15-09:30	-10%	8%	
75分	09:30-09:45	0%	0%	
75分	09:45-10:00	-7%	2%	
80分	10:00-10:15	-1%	0%	
80分以上	10:15-10:30	-6%	12%	
80分以上	10:30-10:45	-3%	1%	
80分以上	10:45-11:00	13% ↑	-12% ↓	◎
80分以上	11:00-11:15	-8%	0%	
80分	11:15-11:30	5% ↑	-6% ↓	◎
80分以上	11:30-11:45	9% ↑	-5% ↓	◎
80分	11:45-12:00	-10%	4%	
80分	12:00-12:15	5% ↑	-14% ↓	◎
80分	12:15-12:30	-1%	2%	
80分	12:30-12:45	7% ↑	2%	
80分	12:45-13:00	3%	0%	
75分	13:00-13:15	23% ↑	-22% ↓	◎

国道48号の利用率が減少し、迂回路(山形自動車道)の利用率が増加

5-3. さくらんぼ期における国道48号渋滞対策(R7年度の対策検討)



5-3. さくらんぼ期における国道48号渋滞対策(R7年度の対策案)

■バスロケーションシステム を活用した混雑情報の提供



上愛子地区におけるバスの遅れ時間を算出し、特設HP上でリアルタイム動画とともに配信を実施。

■SNS(強化)



広告会社などと連携し、情報配信を実施。

■地下鉄車内広告



地下鉄車内広告等を活用し、ホリデーライバー(休日しか運転しない人)に向けた情報発信を強化。

※【さくらんぼ渋滞対策】詳細な資料については、仙台河川国道事務所HPの宮城県渋滞対策連絡協議会のサイトから確認出来ます。(R6年度 第2回宮城県渋滞対策連絡協議会)

http://www1a.thr.mlit.go.jp/Bumon/J74101/douro/mzyutai_kyo/index.html

6. 山形都市圏の道路交通課題

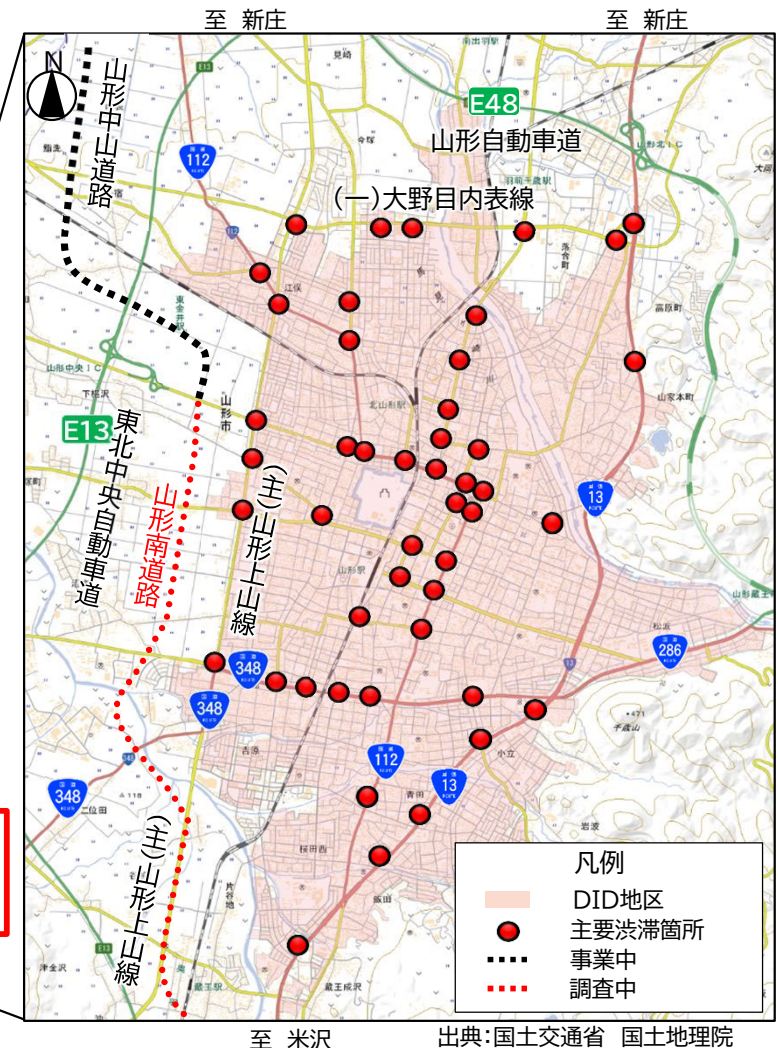
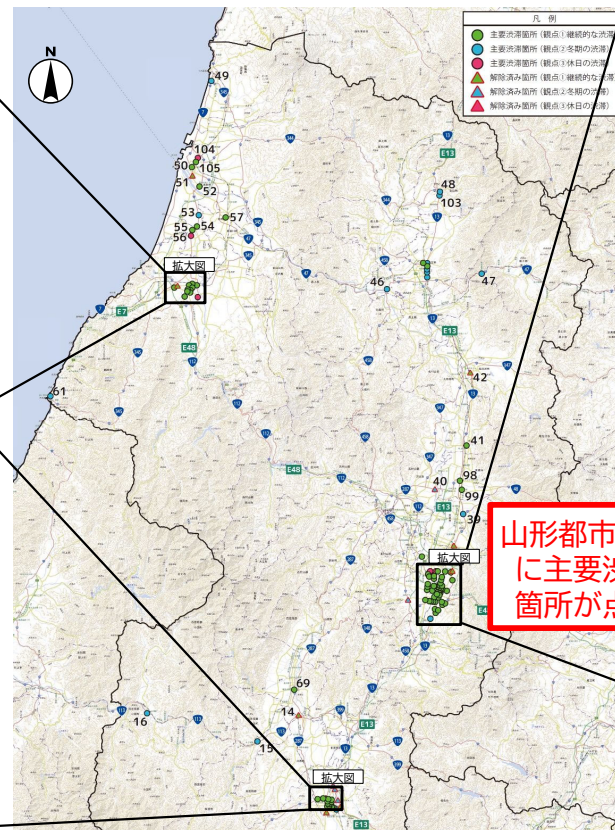
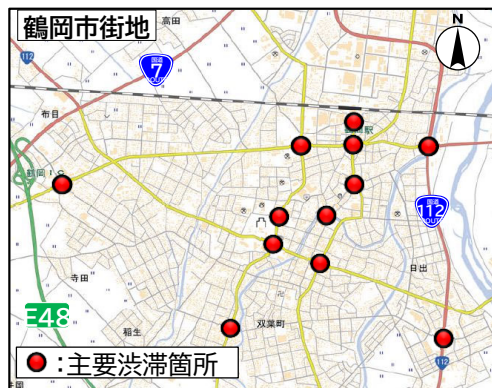
6-1. 山形都市圏の道路交通課題について

- 山形県内の主要渋滞箇所(102箇所)のうち、山形都市圏に46%(47箇所)が集中。
- 面的に広がる渋滞に対し、ハード・ソフト施策等の多様な対策を関係機関と連携し推進。
- 山形市内における対策状況について、3事例を報告。

▼山形県内の主要渋滞箇所(102箇所、R7.3現在)

村山地方	51箇所(うち山形都市圏47箇所)
置賜地方	18箇所(うち米沢市街地15箇所)
庄内地方	23箇所(うち鶴岡市街地12箇所)
最上地方	10箇所

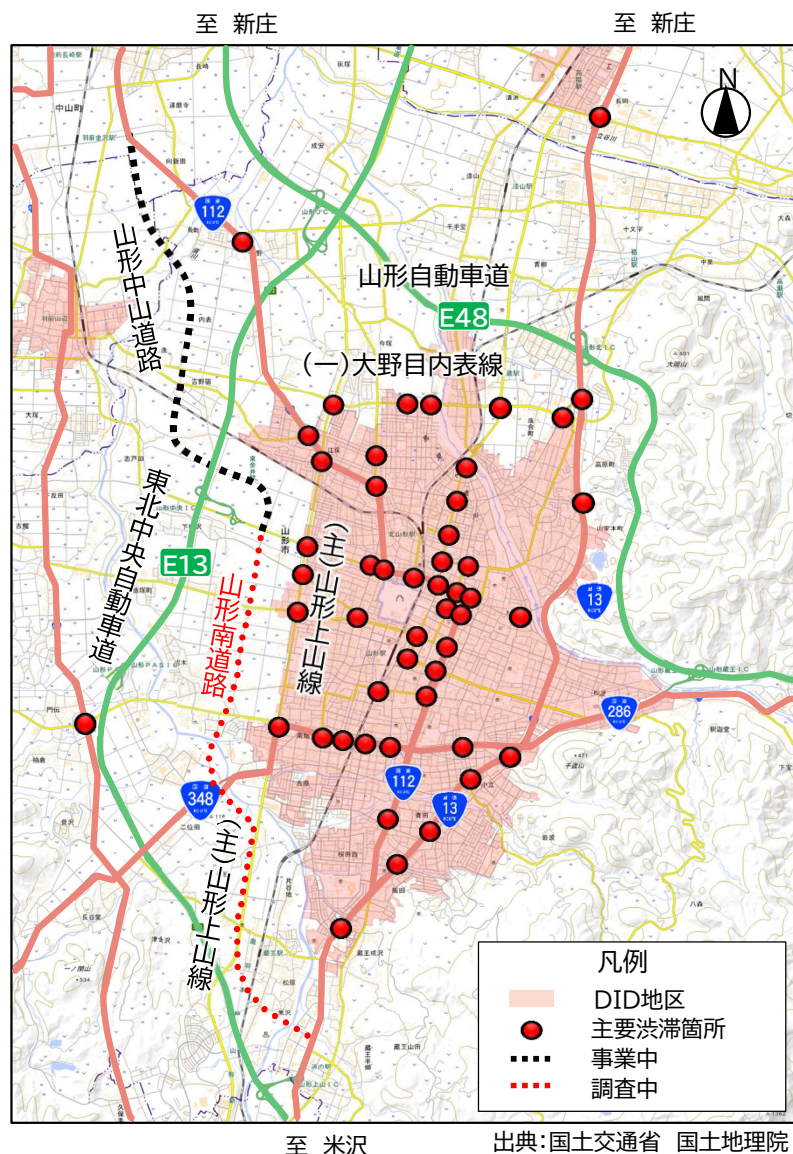
県内主要渋滞箇所の
46%が
山形都市圏に集中



▲山形都市圏の主要渋滞箇所分布 (R7.3現在)

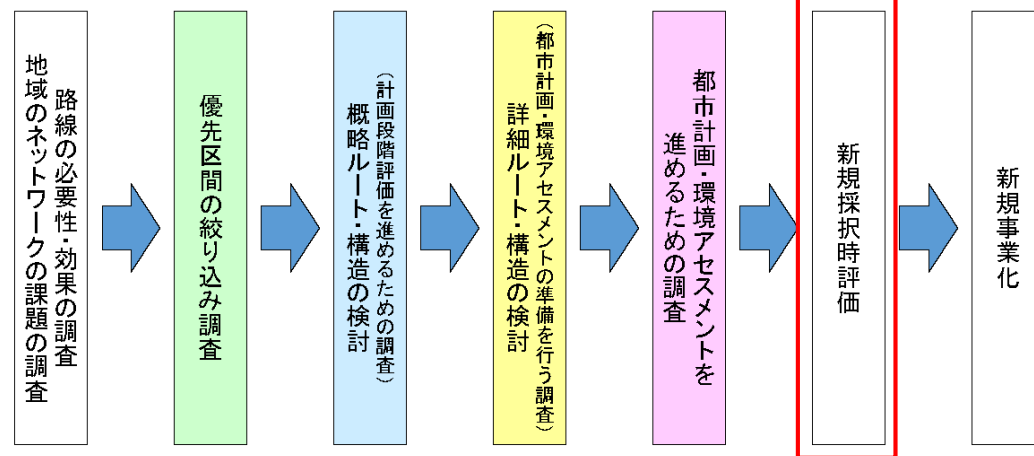
6-2. 山形南道路の概要と検討状況

○現在、新規事業化へ向けて手続き中。



▲山形都市圏周辺の高規格道路の概略位置図

<道路調査の流れ>



現在の位置づけ

新規事業化に向けて手続き中

<山形南道路のポイント>

- バイパス整備により交通容量の拡大を図る。
- 現道交通がバイパスに転換することで、現道交通の円滑化を図る。
- 盛土構造とすることにより、沿道出入りの影響を抑制し、バイパス交通の円滑化を図る。
- 大部分をバイパス整備とすることにより通過交通と発着交通を分散し、利用交通の分担を図る。
- 道路規模に応じた必要幅員を設定し、通常期・冬期を問わず円滑な救急搬送ルート、物流ルートを確保する。
- 一部現道活用とすることにより、施設・文化財等への影響を極力回避。

現在事業中の「山形中山道路」とネットワークが形成されると、山形市内の通過交通がバイパスに転換し、山形市内の渋滞緩和が期待される。

6-3. 銅町交差点の混雑緩和に向けた社会実験(山形県)

特定要件: 通常期
要望有無: -

○(都)美畑天童線<(主)山形天童線> 銅町交差点において、渋滞緩和に向けた社会実験を実施。

【実験期間】 令和6年6月～令和7年3月

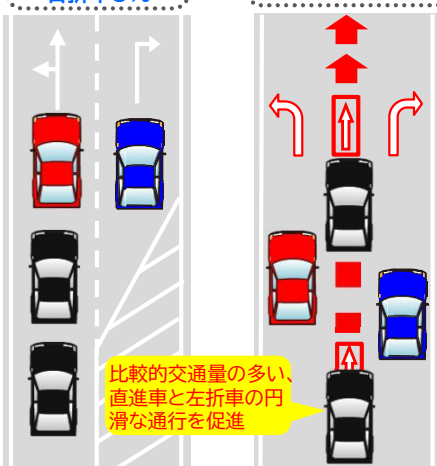
【対策内容】 ①A(南進)方向をフリーレーンに変更、②B・D(東西)方向で右折誘導線の明示、
③D(東進)方向で直進・左折、右折ポケットの設置



フリーレーンのイメージ

左折車34%
直進車61%
右折車5%

走行車線の区別がなくし、直進車の走行誘導矢印を表示

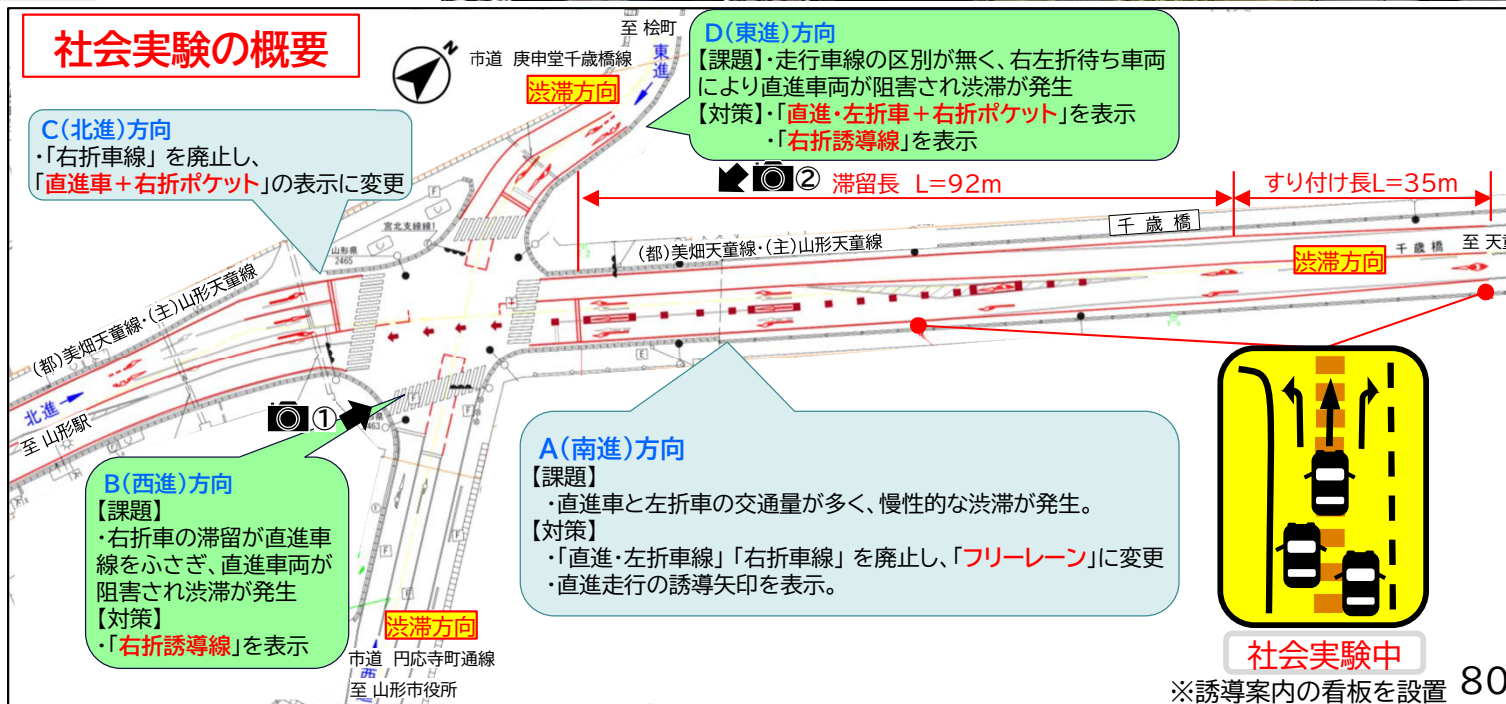


旧

新

比較的交通量の多い、直進車と左折車の円滑な通行を促進

社会実験の概要



6-3. 銅町交差点の混雑緩和に向けた社会実験(山形県)

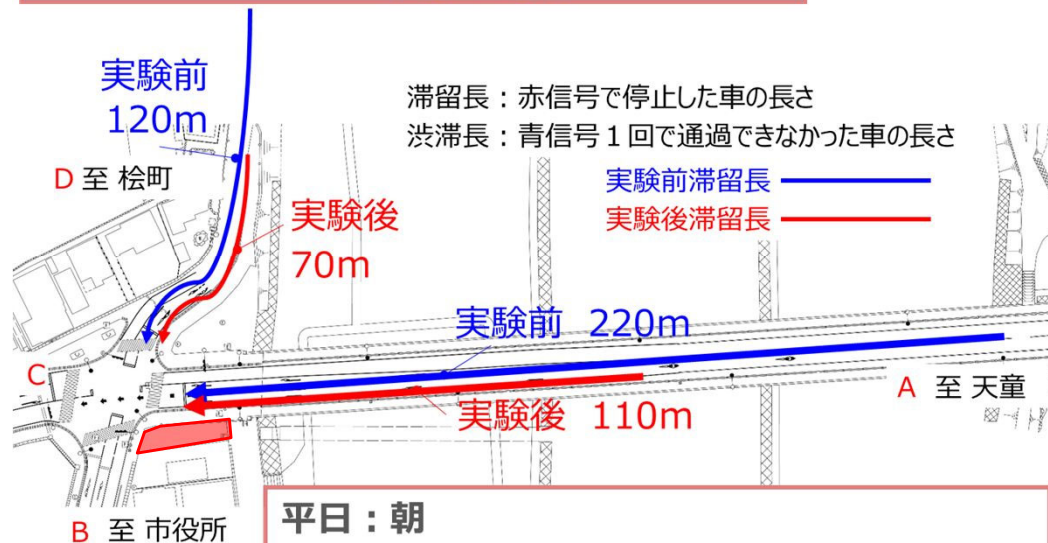
特定要件: 通常期
要望有無: -

社会実験の結果(交通量: 滞留長・渋滞長、アンケート)及び今後の課題

1. 結果(交通量: 滞留長・渋滞長)

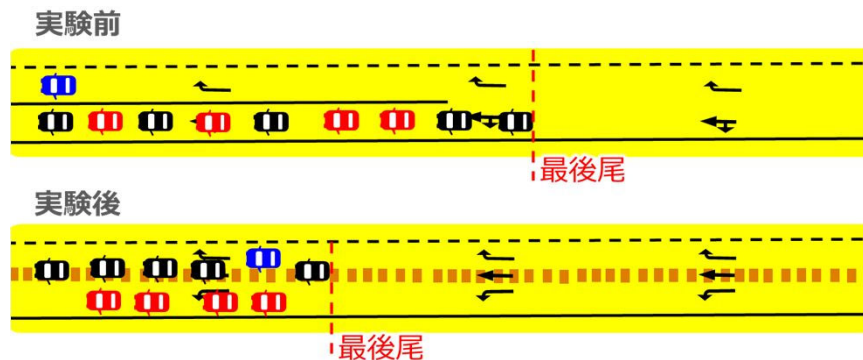
平日: 夕方

D方向 滞留長: 120m → 70m (40%減)
渋滞長: 50m → 0m



平日: 朝

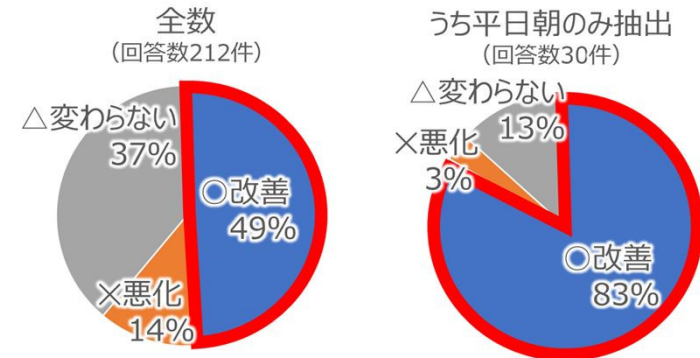
A方向 滞留長: 220m → 110m (50%減)
渋滞長: 10m → 0m



直進・左折が並んで停止することで、滞留長の短縮を図る。

2. 結果(アンケート)

Q フリーレーンに対して、混雑は改善されたと感じますか。



3. 今後の課題

A方向

渋滞改善の一定の効果が見られた一方で、アンケートでは、フリーレーンが狭い、3台が並べない等の意見が多かった。

→交差点付近のフリーレーン沿いに県道敷(左図赤着色部)があり、そのスペースを活用して左折レーンの設置等を検討していく。

B方向

渋滞の解消には至らなかった。アンケートでは、右折信号が欲しいという意見があった。

(滞留長 朝: 70m → 100m 夕方: 170m → 130m
渋滞長 朝: 40m → 60m 夕方: 110m → 50m)

→この実験の結果について、交通管理者の山形警察署、道路管理者の山形市と共有すると共に、渋滞の発生要因を分析し、対策を検討していく。

6-4. 山形市における公共交通施策の事例

○山形市では、マイカー利用から公共交通へのシフトを目指し、公共交通の利便性向上等に取り組市中。

■やまがたMaaS「らくのる」

○公共交通での移動が楽になり、気軽に街なかへ足を運ぶことができ、公共交通を利用するほど回遊などを楽しむことができるサービス
・令和5年2月1日からサービスを開始、順次、サービスを拡充中

便利な乗車券一覧！

2024.12NEW

山寺蔵王定額タクシー
山寺駅と蔵王温泉の指定乗降場所間を移動できる片道乗車券
1台11,900円

紅パスweekday (平日限定)
大人：650円/子供：330円

紅パスholiday (休日・祝日限定)
大人：500円/子供250円

ベニちゃんバスと山交バスの山形市内特定区間が1日利用可能な共通チケット

やまがた1日乗車券

山交バスの特定エリア1日利用可能な共通チケット

大人：1,200円
子供：600円



紅パス空港シャトル

ベニちゃんバス1日乗車券と空港シャトル往復がセットになったお得な商品
大人：3,140円/子供：1,570円



紅パスcycling

ベニちゃんバスとシェアサイクルが1日利用可能な共通チケット

大人：1,300円



紅パス蔵王温泉Green/Winter

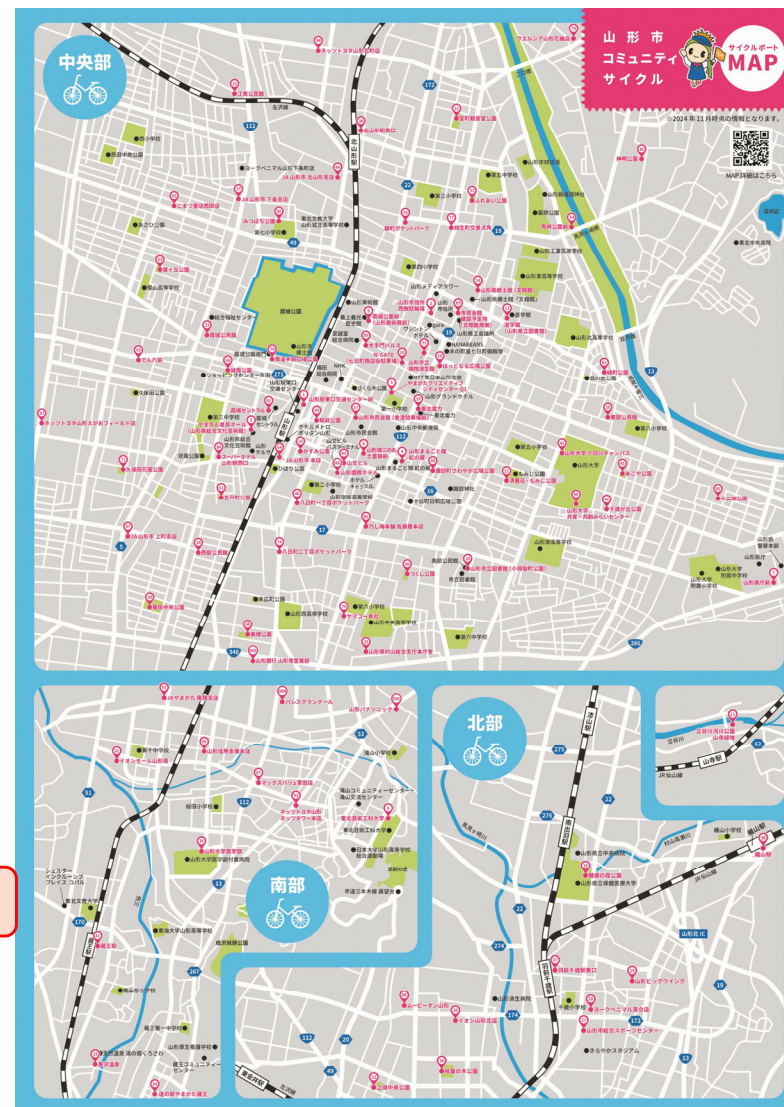
ベニちゃんバス1日乗車券と山交バスの蔵王温泉往復が利用可能な共通チケット
◆グリーン季(4月～11月)

大人：2,700円/子供：1,350円

◆冬季(12～3月)
大人：2,900円/子供：1,450円

■山形市コミュニティサイクル

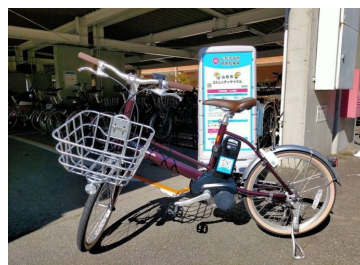
○市内各所にサイクルポート(駐輪場)を設置し、ポート間で電動アシスト自転車を自由に利用できるサービス



■山形市交通結節点整備事業

○「交通軸」と「交通結節点」の整備による公共交通ネットワークの構築を目指す。

- ・「地域公共交通計画」に新駅を位置づけ
- ・令和4年6月「交通結節点整備方針」を策定し、新駅など6箇所の整備優先箇所を選定
- ・令和5年6月、イオンモール山形南付近など3箇所の「整備基本構想」を策定
- ・令和6年3月、「交通軸」や「交通結節点」の具体的な整備を推進するため、「都市・地域総合交通戦略」を策定
- ・市街地南部において重要な交通結節点となる「新駅」設置に向け、利用者数等の需要予測や整備効果の検証などを実施



▼サイクルポート：91箇所
自転車：288台 ※2/25現在



6/1時点より
サイクルポート：8箇所増
自転車：2台増

7. 来年度の予定

7. 来年度の予定

- 今年度同様、来年度も年2回の地域ワーキング及び協議会開催を予定。
- 関係機関ごとに対策の推進・各種検討を実施予定。

<対策の推進・検討予定の内容>

①主要渋滞箇所のモニタリング

- ・新庄古口道路開通やその他道路事業に伴う主要渋滞箇所の解除候補箇所について、解除するか継続するかを検討

②ピンポイント渋滞対策

- ・国道47号本合海交差点の走行改善状況について効果を検証
- ・国道121号徳町交差点の走行改善状況について効果を検証

③TDM施策の取り組み

- ・各都市圏におけるTDM施策を継続的に実施し、効果を検証

④観光渋滞対策の取り組み

- ・ゴールデンウィークの交通状況について報告
- ・国道112号赤川花火大会に関する取り組みについて効果を検証
- ・国道48号さくらんぼ渋滞対策に関する取り組み等の状況について報告

⑤山形都市圏の道路交通課題

- ・山形都市圏の道路交通課題に関する取り組み等の状況について報告

⑥冬期の道路交通課題

- ・今回はR5年度の降雪量が少ないため分析等を見送ったが、来年度は引き続き、道路交通課題に関する取り組み等の状況について報告

⑦災害時交通マネジメント検討会

- ・災害時交通マネジメント検討会に関する状況について報告